

平成 24 年 3 月 28 日  
気象庁地震火山部

配信資料に関する技術情報（地震火山編）第 354 号  
～平成 24 年 4 月版「地震・津波・火山に関する情報のコード電文解説資料」について～  
（配信資料に関する技術情報（地震火山編）第 341 号 関連）

気象庁が配信する地震火山関連のコード電文のフォーマットについては、個々の電文の修正が行われる都度、技術情報等により電文利用者の皆様にその詳細をお示しするほか、原則として年 1 回、それまでの修正を反映させた「地震・津波・火山に関する情報のコード電文解説資料」を作成し、提供しております。

平成 24 年 4 月版の「地震・津波・火山に関する情報のコード電文解説資料」は別添のとおりです。震度観測点等パラメータの変更（平成 24 年 2 月 24 日付お知らせ）、緊急地震速報の区域等の変更（平成 22 年 11 月 29 日付技術情報第 330 号関連お知らせ）、新たな活火山の選定に伴う火山名コードの運用（平成 23 年 6 月 8 日付技術情報第 342 号）等を反映し、平成 24 年 3 月 31 日時点で作成しています。平成 24 年度に予定している、津波警報及び噴火警報の改善に伴う電文の変更については含んでおりません。

地震・津波・火山に関する情報の  
コード電文解説資料

平成 24 年 4 月

気象庁地震火山部

## ■ 目 次

1. 共通事項
2. 電文別コード体系とフォーマット
  - 2-1 津波関連電文
  - 2-2 地震関連電文
  - 2-3 東海地震関連電文
  - 2-4 火山関連電文

## ■ 発行履歴

平成 17 年 11 月	平成 17 年度版発行
平成 19 年 4 月	平成 19 年度版発行
平成 20 年 10 月	平成 20 年度版発行
平成 21 年 10 月	平成 21 年度版発行
平成 22 年 4 月	平成 22 年度版発行
平成 23 年 5 月	平成 23 年度版発行
平成 24 年 4 月	平成 24 年度版発行

# 1 共通事項

## ■ 目次

1. 電文の基本事項	・・・ 共通-1
① コード部を含まない電文	共通-1
② コード部を含む電文	共通-1
2. コードの共通項目	・・・ 共通-3
① aa：電文種別コード	共通-3
② bb：発信官署コード	共通-5
③ nn：電文の種類	共通-5
④ y <sub>i</sub> y <sub>j</sub> m <sub>i</sub> m <sub>j</sub> d <sub>i</sub> d <sub>j</sub> h <sub>i</sub> h <sub>j</sub> m <sub>i</sub> s <sub>i</sub> s <sub>j</sub> ：発信時刻（年月日時分秒）	共通-5
⑤ Cnf：電文通数	共通-6
3. 複数に分割された電文の具体例	・・・ 共通-7
① コード+漢字かな文の電文が、漢字かな文で分割された場合	共通-7
② コード電文が分割される場合	共通-9
4. 複数に分割された電文の処理について	・・・ 共通-10
① 複数電文であるかの識別方法	共通-10
② 同一情報の電文を選別する方法	共通-10
③ 「1通目」の電文であるかの識別方法	共通-10
④ 「2通目」以降の電文であるかの識別方法	共通-11
⑤ 「最終通」であるかの識別方法	共通-11
⑥ 電文の順序及び電文数	共通-12

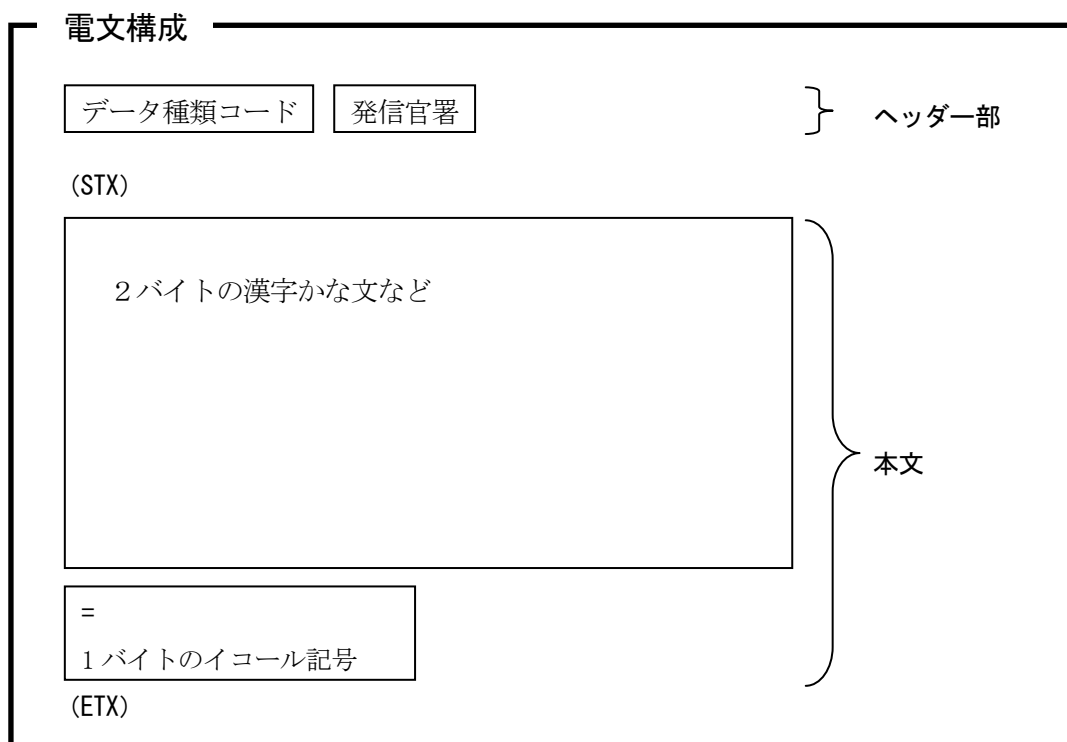
## ■ 変更履歴

平成 17 年 11 月 22 日	全面改訂
平成 18 年 10 月 12 日	電文種別コードに緊急地震速報追記
平成 19 年 4 月 2 日	津波予報にツヨク 6 を追記
平成 19 年 12 月 1 日	気象業務法の一部改正に対応（「津波予報」→「津波警報・注意報」、緊急地震速報にキョウシ 3, 4 を追記）
平成 20 年 8 月 1 日	廃止予定電文の説明を記述 「4. 複数に分割された電文の処理について」を追記
平成 21 年 10 月 1 日	廃止した電文の説明を削除
平成 22 年 8 月 1 日	発信官署コードの説明を修正

## 1. 電文の基本事項

### ① コード部を含まない電文

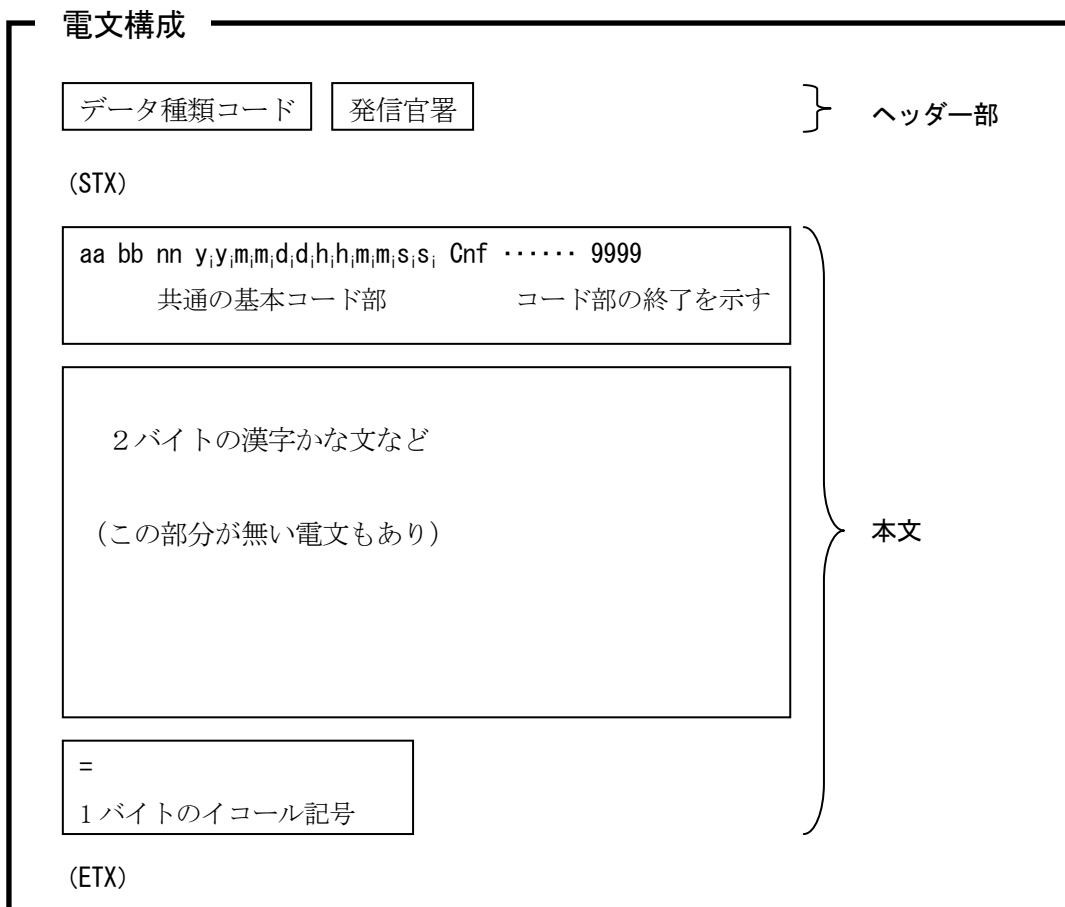
- ・ 電文はヘッダー部と本文から構成されている。
- ・ 各行の行末には改行コードが入る。
- ・ 1行は69バイトを超えない。
- ・ スペースは(20)H。改行コードは(0A)H。STXは(02)H。ETXは(03)H。電文の最終行の末尾には半角(1バイト)の"="を付加する。
- ・ 部外向けに提供している電文：ｶﾞﾝゲﾝｼヨ1



### ② コード部を含む電文

- ・ 電文はヘッダー部と本文から構成されている。
- ・ 本文は、1バイト英数字によるコード部と、2バイトの漢字かな文字を組み合わせ、例えば「コード部と漢字かな部」「コード部のみ」から構成されている。
- ・ コード部は計算機処理を目的としたものであり、情報内容を1バイト英数字のコードで表したものである。
- ・ コード部は共通項目と電文別項目から構成されている。
- ・ コード部の各要素はスペースまたは改行コードで区切られる。
- ・ コード部では、一つの要素が複数行にまたがることはない。
- ・ 漢字かな部は情報内容を「2バイトの漢字かな文字」により表したものである。

- 各行の行末には改行コードが入る。
- 1行は69バイトを超えない。
- コード部は1バイトの英数字で構成されるが、一部の電文では末尾に非定型付加文を2バイトの漢字かな文字で挿入することがある(ただしコード部終了の識別子の後に挿入する形態としている)。
- スペースは(20)H。改行コードは(0A)H。STXは(02)H。ETXは(03)H。電文の最終行の末尾には半角(1バイト)の"="を付加する。
- 部外向けに提供している電文：2. ①で後述



## 2. コードの共通項目

コード部の基本的な構成は「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf …… 9999」となっており、「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf」は共通の基本部であり、最後の「9999」はコード部の終了を示す符号である。

なお、以下のコード部の説明では、識別符号を表すものは大文字で表記する。

### ① aa：電文種別コード

電文の種別を番号で示したもので、現在以下のように割り当てている。

#### ■ 津波警報・注意報

01=ツヲヨク 1、ツヲヨク 3、ツヲヨク 6（近地地震に伴う津波警報・注意報）

02=ツヲヨク 1、ツヲヨク 3、ツヲヨク 6（遠地地震に伴う津波警報・注意報）

03=ツヲヨク 1、ツヲヨク 3、ツヲヨク 6（近地・遠地地震両方に伴う津波警報・注意報）

注）通常は 03 を使用。

#### ■ 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報

04=ツヲヨク 1、ツヲヨク 3

（近地地震に伴う津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）

05=ツヲヨク 1、ツヲヨク 3

（遠地地震に伴う津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）

06=ツヲヨク 1、ツヲヨク 3

（近地・遠地地震の両方に伴う津波到達予想時刻・予想される高さに関する情報）

注）通常は 06 を使用。

#### ■ 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報（遠地・近地の区別はしない）

10=ツヲジ ヨク 1、ツヲジ ヨク 3

#### ■ 津波観測に関する情報（遠地・近地の区別はしない）

11=ツヲジ ヨク 1、ツヲジ ヨク 3

#### ■ 津波に関するその他の情報、津波予報（遠地・近地の区別はしない）

12=ツヲジ ヨク 1

#### ■ 津波に関するデータ（遠地・近地の区別はしない）

16=ツヲカソクイケン 3（津波観測に関する一覧データ）

■ 東海予知関連

- 17=トウカイヨチ 1 東海地震予知情報  
18=トウカイヨチ 1 東海地震注意情報  
19=トウカイソク 1 東海地震に関連する調査情報（臨時発表時）

■ 地震火山に関する運用連絡電文

- 26=サイモオソレ 1 地震火山に関するお知らせ。関連全気象官署、部外機関に配信。

■ 緊急地震速報

- 35=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 最大予測震度のみの緊急地震速報（発表パターン 1:後述）  
36=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 マグニチュード（以下、「M」と記述。）、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報（発表パターン 2:後述）  
37=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報（発表パターン 3:後述）  
38=ナウキヤストテスト 1、ナウキヤストテスト 91 テスト電文  
39=ナウキヤスト 3、ナウキヤスト 4 キャンセル（取り消し）情報  
47=キンキウジ シン 3、キンキウジ シン 4 一般向け緊急地震速報  
48=キンキウジ シン 3、キンキウジ シン 4 キャンセル報

■ 噴火警報・予報及び火山情報

- 40=カザ シン ヨウホク 1 噴火警報・予報  
43=カザ シン カイセツ 1 火山の状況に関する解説情報

■ 震度速報

- 53=シンド シン ヨウホク 3 震度速報

■ 本邦及びその周辺の海域で発生した地震に対する地震情報・津波情報（全国版）

- 84=ゼンコクサイモ 1、ゼンコクサイモ 3 地震情報（震源・震度に関する情報）  
87=ゼンコクサイモ 1 地震情報（その他の情報）  
91=チイキチンソク 3 各地域・市町村及び各地の震度に関する情報

■ 震源速報

- 89=シンゲ シン ヨウホク 1 地震情報（震源に関する情報）

■ 外国で発生した地震に対する地震情報・津波情報（全国版）

- 94=インチサイモ 1、インチサイモ 3 地震情報（震源・震度に関する情報）  
97=インチサイモ 1 地震情報（その他の情報）



## ② bb : 発信官署コード

発信官署コードは以下のとおり。

a) 0b=通常

01=札幌、02=仙台、03=東京、04=大阪、05=福岡

b) 1b=本庁・各管区（以下中枢と呼ぶ）が他の中枢の電文を代行発信

本来発信すべき中枢が何らかの理由により、電文を発信することが不可能な場合には他の中枢が代行発信する。ここで示す一の位のbは通常が発信官署の番号の一の位を表す。例えば仙台が本庁の代行発信を行う場合はbb=12となる。

現運用での発信官署番号は以下の通り

地震・津波関連電文

03：東京（本庁）（全国版）

04：大阪（全国版）

火山関連電文

01：札幌（自管内火山の発表時）

11：札幌（自管外火山の発表時）

02：仙台（自管内火山の発表時）

12：仙台（自管外火山の発表時）

03：東京（本庁）  
（自管内火山の発表時）

13：東京（本庁）  
（自管外火山の発表時）

05：福岡（自管内火山の発表時）

15：福岡（自管外火山の発表時）

なお、火山関連電文において、特定の管内の火山を参照したい場合はヘッダ一部の発信官署を参照されたい。

## ③ nn : 電文の種類

00=通常、01=訓練、10=通常を取り消し、11=訓練を取り消し

20=通常形式の電文による配信試験 ただし緊急地震速報では、参考情報またはテスト電文

30=コード部の共通の基本部のみ形式による配信試験、ただし緊急地震速報はコード部全体の配信試験となる。

## ④ y<sub>i</sub>y<sub>m</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>h</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> : 発信時刻（西暦年下2桁、月、日、時、分、秒）

電文の発信時刻。かならずしも情報の発表時刻と一致しない。

## ⑤ Cnf : 電文通数

電文長の最大が 3800 バイトであるため、1つの情報が複数の電文に分かれる場合の判断に使用する。

**C** : 電文通数を示す識別符号。

**n** : この電文を含め、電文があと何通あるかを示す。

1~9 の数字の後に **A~Z** の英字を使用する。

従って順序は小さい方から「1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z」とする。

例) **Z** の場合、残りの電文はこの電文を含めて 35 通である。

**f** : この電文でコード部が終わりか、あるいはさらに続くかを示す。

1 の時終わり、0 の時続くとする。

例えば 1 通のみで終わる時には **C11** となる。

本文で 2 通に分割される時には 1 通目が **C21**、2 通目が **C11** となる。

コード部で 2 通に分割される場合は 1 通目が **C20**、2 通目が **C11** となる。

2 電文目以降の電文は、コード部の共通部 (**aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf**) を必ず付ける。この共通部は **Cnf** を除いて 1 電文目と共通である。

### 3. 複数に分割された電文の具体例

#### ① コード+漢字かな文の電文が、漢字かな文で分割された場合

##### 電文例 (1 通目)

ツミジヨルナ1キヨ  
(STX)

```
11 03 00 070817082903 G21 E1 0708170806 0708160841 946 /// // ///  
1135 10767 030 79 T 0B 0708170825 P10001 ////////////// // 0708170652  
001L P10002 ////////////// // 0708170753 001L P10101 ////////////// //  
0708170820 002L P10102 0708170534 00000 0708170604 001L P20101  
0708170635 00000 0708170716 001L P21001 0708170523 00000 0708170738  
001L P21003 0708170556 00000 0708170656 001L P31001 0708170550 10000  
0708170751 0000 P31101 0708170559 00000 0708170729 0000 P32006  
0708170656 00000 0708170751 001L P32101 0708170725 0001L 0708170747  
001L P40002 0708170611 00000 0708170806 001L P53002 0708170506 10000  
0708170709 001L P61003 0708170708 00000 0708170744 0000 P76002  
0708170713 00000 0708170744 0000 P77205 0708170738 00000 0708170805  
0000 T FN 100 62 101 62 102 62 201 62 210 62 220 62 250 62 300 62  
310 62 311 62 320 62 321 62 330 62 380 62 390 62 400 62 530 62 580  
62 600 62 610 62 751 62 760 62 770 62 771 62 772 62 800 62 801 62  
802 62 A1000450010 9999
```

津波情報 (津波観測に関する情報)  
平成19年 8月17日08時29分 気象庁発表

[各地の検潮所で観測した津波の観測値]  
場所によっては検潮所で観測した津波の高さよりさらに大きな津波が到達していることが考えられます  
今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます

17日08時25分現在、検潮所での観測値は次のとおりです

釧路	第1波		(第1波識別不能)
	最大波	17日06時52分	0.1m
根室市花咲	第1波		(第1波識別不能)
	最大波	17日07時53分	0.1m
浦河	第1波		(第1波識別不能)
	最大波	17日08時20分	0.2m
十勝港	第1波	17日05時34分 (+)	微弱
	最大波	17日06時04分	0.1m
八戸	第1波	17日06時35分 (+)	微弱
	最大波	17日07時16分	0.1m

(途中省略)

[現在津波注意報を発表している沿岸]  
<津波注意>  
津波情報7号(1/2)つづく  
=  
(ETX)

電文例 (2 通目)

ツミジヨウホク1 キヨウ

(STX)

11 03 00 070817082903 C11 9999

北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、  
青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、  
千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、小笠原諸島、  
相模湾・三浦半島、静岡県、愛知県外海、三重県南部、和歌山県、  
徳島県、愛媛県宇和海沿岸、高知県、大分県豊後水道沿岸、宮崎県、  
鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、  
沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方

これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配  
はありません

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください

[震源、規模]

きのう16日08時41分頃地震がありました

震源地は、南米西部（南緯13.5度、西経76.7度）で、震源の深さは  
約30km、地震の規模（マグニチュード）は7.9と推定されます

津波情報7号（2/2）

=

(ETX)

## ② コード電文が分割される場合

### 電文例 (1 通目)

チキチンソト 3 キヨウ  
(STX)

91 03 00 080324124442 G20 0803241240 289 /// // /// 0371 01415 040  
53 EI // BI S4 311 S3 250 251 300 301 310 S2 220 221 222 252 321  
330 331 340 341 350 360 S1 210 211 212 213 242 243 320 332 342 351  
352 361 371 372 411 412 421 440 CI S4 31115 S3 25001 25036 25039  
25100 25102 25103 25104 25105 25107 25108 25109 25115 30000 30001  
30002 30003 30005 30031 30032 30155 30161 31002 31116 S2 22010  
22052 22053 22057 22107 22108 22110 22111 22116 22117 22119 22205

(途中省略)

3011131 3011200 3011220 3012030 3012530 3015031 3015300 3015400  
3015420 3015520 3015600 3015830 3015931 3016032 3016100 3016131  
3100031 3100200 3100230 3101130 3101431 3101433 3110000 3110420  
3110520 3110620 3110630 3111330 3111400 3111530 3111730 3112730  
9999=  
(ETX)

### 電文例 (2 通目)

チキチンソト 3 キヨウ  
(STX)

91 03 00 080324124442 C11 3113600 3113630 3113730 3113731 3211230  
3300030 3300530 3300800 3300820 3303430 3303730 3310720 3310730  
3310740 3311130 3314031 3314930 3400531 3400730 3403400 3403420  
3403430 3403431 3410930 3410931 3411000 3411030 3411130 3411301  
3412230 3412730 3412830 3412930 3413031 3500000 3501450 3501451  
3501730 3501750 3600841 S1 2100420 2110130 2110220 2120000 2120021

(途中省略)

3601820 3601940 3602000 3602040 3602140 3602340 3602341 3602730  
3602900 3603430 3603530 3603730 3610130 3610132 3610140 3610143  
3610200 3610431 3610630 3611530 3710630 3713800 3724430 4114935  
4115120 4115220 4120630 4210733 4211230 4400000 4401933 A170000  
9999=  
(ETX)

コードの共通の基本部「91 03 00 080324124442 C11」の後には、1 電文目からのコード部の続きを報ずる。

#### 4. 複数に分割された電文の処理について

複数に分割された電文（以下、複数電文）を処理するためには、同一情報の電文のすべてを受信し、電文の順序を正して連結処理する必要がある。このため、複数電文であるかの識別、電文数（「1 通目」の電文に記載）、電文の順序などをコード部から解析する必要がある。ここで、「1 通目」の電文とは、分割された電文中の最初の電文のことを意味する。

なお、複数電文は必ずしも通番どおりに入電するとは限らないことに留意する必要がある。

以下に、参考として、電文の識別方法等を記載する。

##### ①複数電文であるかの識別方法

コードの共通項目「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf ……」のうち、電文通数を示すコード（Cnf）に着目し、以下の二つの場合は複数電文である。

- ・残通数を示す n が 2 以上の場合。
- ・残通数を示す n が 1 で、かつ、「1 通目」の電文でない場合。

（「1 通目」の電文であるかの識別方法は③項参照）

##### ②同一情報の電文を選別する方法

コードの共通項目「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf ……」のうち、電文種別番号(aa)、発信官署(bb)及び発信時刻(y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub>)が同一である。

##### ③「1 通目」の電文であるかの識別方法

- (1) 津波関連電文 [電文種別番号：01, 02, 03, 04, 05, 06, 10, 11, 16] のうち、コード部を含む電文。(〇〇〇〇、〇〇〇〇 1、〇〇〇〇 3 電文。1. 電文の基本事項を参照のこと)

「1 通目」のみ、コードの共通項目の後に、同一種別の津波関連電文の最初の発表であるかの判別を示すコード (Ee yymddhmm) が入る。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf Ee yymddhmm ……」

E：最初の発表であるか否かを示す部分であることの識別子（いつも E）。

e：最初の発表であるか否かを示す。

(0：最初の発表、1：すでに発表されている)

yymddhmm：過去最新の発表時刻。e が 0 の場合は「//////////」。

- (2) 地震関連電文、東海関連電文、火山関連電文 [電文種別番号：17, 18, 19, 40, 43, 53, 84, 91, 94] のうち、コード部を含む電文。(〇〇〇〇、〇〇

〇〇1、〇〇〇〇3電文。1. 電文の基本事項を参照のこと)

「1通目」のみ、コードの共通項目の後に、地震の発現時刻（地震関連電文）または情報発表時刻（東海関連電文、火山関連電文）を示すコード（yymmddhhmm）が入る。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm ……」

### (3) 上記以外の電文

基本コード部のみで構成されているため、コード部のみで何通目であるかを判断することができない。これらの電文では、複数電文となった場合に、配信する順に並べても混乱のないよう、通数をしめす文字（1/2、2/2等）を本文中に入れることとしている。

## ④ 「2通目」以降の電文であるかの識別方法

(1) 津波関連電文 [電文種別番号：01, 02, 03, 04, 05, 06, 10, 11, 16] のうち、コード部を含む電文。（〇〇〇〇、〇〇〇〇1、〇〇〇〇3電文。1. 電文の基本事項を参照のこと）

コードの共通項目の後に、同一種別の津波関連電文の最初の発表であるかの判別を示すコード（Ee yymmddhhmm）は入らない。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf……」

↑

ここに「Ee yymmddhhmm」は入らない。

(2) 地震関連電文、東海関連電文、火山関連電文 [電文種別番号：17, 18, 19, 40, 43, 53, 84, 91, 94] のうち、コード部を含む電文。（〇〇〇〇、〇〇〇〇1、〇〇〇〇3電文。1. 電文の基本事項を参照のこと）

コードの共通項目の後に、地震の発現時刻（地震関連電文）または情報発表時刻（東海関連電文、火山関連電文）を示すコード（yymmddhhmm）は入らない（数字が10バイト続くようなコードは入らない）。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf……」

↑

ここに「yymmddhhmm」は入らない。

### (3) 上記以外の電文

上記③(3)と同様。

## ⑤ 「最終通」であるかの識別方法

コードの共通項目「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf ……」のうち、電文通数を示すコード（Cnf）がC11となる。

なお、本文が次電文に続くがコード部終了の場合は、 $n$  が 1 より大きくても  $f=1$  となる（例えば、C31 など）ので、コード部のみを使用する場合は、 $f=1$  となった電文のうち、 $n$  が一番大きいものを最終通とみなせばよい。

## ⑥電文の順序及び電文数

電文の順序は、コードの共通項目「aa bb nn  $y_i y_i m_i m_i d_i d_i h_i h_i m_i m_i s_i s_i$  Cnf ……」のうち、電文通数を示すコード（Cnf）において、残通数を示す  $n$  の大きい順となる（「1 通目」の  $n$  が一番大きい）。電文の分割数は、「1 通目」の電文の  $n$  で示される。

### 参考）電文連結手順例

以下に、電文連結手順の一例を参考までに示す。

- ①受信した電文が複数電文であるかどうかを識別する。
- ②複数電文の場合は、全電文が揃うまで一時保存する（※）。
- ③複数電文は順番どおりに入電する保証がないため、上記②のタイミングで、同一情報の電文がすべて入電したか確認処理を行う。
- ④同一情報の電文がすべて入電したことが確認されたら、連結の際に不要なコード等を削除し、残通数の大きい電文順に連結する。

（※）複数電文を一時保存する際には、同一情報の電文であることがすぐに識別できるように、例えば、電文種別（aa）、発信官署（bb）、発信時刻（ $y_i y_i m_i m_i d_i d_i h_i h_i m_i m_i s_i s_i$ ）、電文通数（Cnf）などをファイル名とする。



## 2-1 津波関連電文

### ■ 目次

1. 津波警報・注意報	・・・津波-1
2. 震源要素を付加した津波警報・注意報	・・・津波-12
3. 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	・・・津波-24
4. 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	・・・津波-30
5. 津波観測に関する情報	・・・津波-37
6. 津波に関するその他の情報（津波予報、等）	・・・津波-42
7. 津波観測に関する一覧データ	・・・津波-44
別表1 津波警報・注意報の{T HD …}で用いる地域名のコード番号	・・・津波-47
別表2 津波予報区のコード番号	・・・津波-49
別表3 津波警報・注意報の{T HR …}{T HN …}で用いる領域のコード番号	・・・津波-50
別表4 津波情報で用いる地点のコード番号	・・・津波-51
別表5 津波情報の震源要素で用いる地点のコード	・・・津波-60

### ■ 変更履歴

平成17年11月22日	全面改訂
平成18年3月22日	別表4の更新
平成19年3月1日	別表4の更新
平成19年3月15日	震源要素を付加した津波予報の追加
平成19年4月2日	別表4の更新
平成19年6月29日	別表5の更新
平成19年12月1日	政令改正による更新（津波警報・津波注意報・津波予報の開始） 津波に関するその他の情報の追加
平成20年4月1日	別表1、別表2、別表4の更新 震源要素の不明について追加
平成20年7月1日	別表4の更新
平成21年4月1日	津波電文デコード文変更による更新（津波警報・注意報・津波 情報・津波予報（若干の海面変動）） 別表4の更新
平成22年4月1日	津波警報・注意報・情報電文での予報内容の関係について付記 電文の発信時刻と情報の発表時刻の関係について付記 別表4の更新
平成22年7月1日	別表4の更新
平成23年5月12日	別表1、別表2、別表3、別表4の更新
平成23年10月11日	別表4の更新

平成 24 年 1 月 5 日 別表 4 の更新  
平成 24 年 3 月 27 日 別表 4 の更新

## 1. 津波警報・注意報 (aa : 01、02、03)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1s1s1 Cnf Ee yymmddhhmm y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 {T IN …} {T HD …} {T FR …} {T AR…} {T FN …} {T OP …} {T HR …} {T HN …} {T QF} (CH {T FN …} {T OP …} {T HN …}) 9999
```

注)

- ・ ()、{} はコードには含まれない。
- ・ ()内は、取り消しの場合のみ付ける。
- ・ {T IN …} {T HD …} {T FR …} {T AR…} {T FN …} {T OP …} {T HR …} {T HN …} {T QF} のコード構成は以下で説明する。
- ・ {T AR …} {T FN …} {T HR …} {T HN …} {T QF} のコードはつかないことがある。
- ・ 取り消し時は、{T HD …} から CH までが取り消すべき電文の内容、CH 以後が取り消し後の津波警報・注意報の発表状況を示す。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee yymmddhhmm    最初の津波警報・注意報の判別

E : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す

0 : 現在津波警報・注意報が発表されていない (つまり、最初の津波警報・注意報電文である)

1 : 現在津波警報・注意報が発表されている (つまり、以前発表した津波警報・注意報の追加・解除・切り替え・取り消しである。)

yymmddhhmm : 過去最新の津波警報・注意報の発表時刻。

通常 (nn が 00 または 01) の場合、e が 1 の場合は過去最新の津波警報・注意報電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示し、e が 0 の場合は“//////////”とする。取り消しの場合は、取り消すべき津波警報・注意報電文の発表時刻を示す。

#### ③    電文タイトル

電文タイトルの漢字かな文への記述については、「津波警報・注意報の概略」{T IN …} における警報・注意報内容の概略、「津波警報・注意報の本文」{T FR …} における発

表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等の内容により判別を行い動的表現とする。

- ・津波警報・注意報の発表時（{T IN・・・}にてnが0）は、発表後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・津波警報・注意報の切り替え、一部解除時（{T IN・・・}にてnが1、2または3）は、切り替え、一部解除後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする。
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN・・・}にてnが4）は、解除時の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・取り消し時（基本コード部での電文の種類mnが10または11）は、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類（CH識別子以前のTFR項における $f_2f_2$ ）による総和表現とする。

例)

- ・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時（{T IN・・・}にてnが0、1、2または3）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に51、52、62がある場合 「津波警報・注意報」
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN・・・}にてnが4）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に60のみがある場合 「津波注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時（基本コード部での電文の種類mnが10または11）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に62のみがある場合 「津波注意報」  
となる

この結果、「電文タイトル」の漢字かな文への記述は、  
「津波警報・注意報」  
「津波警報」  
「津波注意報」  
のいずれかとなる。

#### ④ $y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$

#### 津波警報・注意報の発表時刻

$y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$ ：津波警報・注意報の発表時刻。

基本コード部の電文発信時刻と基本的には同時刻であるが、津波警報・注意報の発表時刻を分単位、電文発信時刻を秒単位で与えていることから、発信のタイミングによっては両者の分の値が異なることもあり得る。取り消し時は“////////”とする。

#### ⑤ {T IN n }

#### 津波警報・注意報の概略

注) {}はコードに含まれない。

T IN：警報・注意報内容の概略を示す部分の識別子。

n：警報・注意報内容の概略を示す

0：最初の津波警報・注意報である。

1：津波警報・注意報の切り替えあるいは追加のみが含まれる。

2：津波警報・注意報の切り替えあるいは追加に加えて、津波警報・注意報の解除が

含まれる。

3:津波警報・注意報の解除のみが含まれる。津波警報・注意報はまだ一部に残る。

4:津波警報・注意報は全て解除される。

5~9:予備

津波警報・注意報の概略の漢字かな文への記述については、「基本コード部」の電文の種類、「見出し情報」{T HD …}の漢字かな文への記述の有無、「津波警報・注意報の概略」{T IN …}における警報・注意報内容の概略、「津波警報・注意報の本文」{T FR …}における発表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等の内容により判別を行い動的表現とする。

通常 (nn が 00 または 01) の場合、見出し情報が記載されていない時 ({T HD …}にて p が 0) に、漢字かな文に記載する (見出し情報が記載されている時 ({T HD …}にて p が 1) には、記載しない)。

- ・津波警報・注意報の切り替え、一部解除時 ({T IN …}にて n が 1、2 または 3) は、切り替え、一部解除後の各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) による総和表現とする
- ・津波警報・注意報を全て解除する時 ({T IN …}にて n が 4) は、解除時の各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) による総和表現とする (最初の津波警報・注意報である時 ({T IN …}にて n が 0) には、必ず見出し情報を記載しており ({T HD …}にて p が 1)、津波警報・注意報の概略は記載しない)

取り消し (nn が 10 または 11) の場合、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類 (CH 識別子以前の T FR 項における  $f_2f_2$ ) による総和表現とする。

例)

- ・津波警報・注意報の切り替え、または一部解除時 ({T IN …}にて n が 1、2 または 3)、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある場合 「津波警報・注意報」
- ・津波警報・注意報を全て解除する時 ({T IN …}にて n が 4)、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 60 のみがある場合 「津波注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある場合 「津波警報・注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある場合 「津波注意報」

となる

この結果、「津波警報・注意報の概略」の漢字かな文への記述は、

「津波警報・注意報の切り替えをお知らせします。」

「津波警報・注意報の一部解除をお知らせします。」

「津波警報・注意報の解除をお知らせします。」

「津波警報の切り替えをお知らせします。」

「津波警報の一部解除をお知らせします。」

「津波警報の解除をお知らせします。」

「津波注意報の切り替えをお知らせします。」

「津波注意報の一部解除をお知らせします。」

「津波注意報の解除をお知らせします。」

「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報・注意報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報を取り消します。」  
「〇〇日〇〇時〇〇分の津波注意報を取り消します。」  
のいずれかとなる。

⑥ {T HD p w rrr ff x rrr ff x ...} 見出し情報

注) {}はコードに含まれない。

T HD: 見出し情報の部分であることを示す識別子。

p: 見出し情報を漢字かな文に記述するかどうかを示す。

0: 記述しない

1: 記述する

w: 見出しに記述する津波警報・注意報の種類を示す。

1: 大津波・津波の津波警報

(本文への記述は「大津波・津波の津波警報を発表しました」)

2: 津波の津波警報 (本文への記述は「津波警報を発表しました」)

3: 津波注意報 (本文への記述は「津波注意報を発表しました」)

4: 津波警報・注意報の種類の低い方への切り替えのみのため、見出しのコードは空  
({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)

5: 津波警報・注意報の解除のみのため、見出しのコードは空

({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)

6~9: 予備

rrr: 見出し情報に用いる地域名(別表1)を示す

ff: 津波警報・注意報の種類を示す。

51: 津波の津波警報

52: 大津波の津波警報

62: 津波注意報

x: 津波が直ちに到達するかどうかを示す(当面使用不可とする)

0: しない

1: する

⑦ {T FR rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x ...} 津波警報・注意報の本文

注) {}はコードに含まれない。

T FR: 津波警報・注意報の本文の部分であることを示す識別子。

rrr: 予報区番号(別表2)を示す。

(予報を新たに発表する予報区、あるいは予報を変更する予報区のみを記述する。)

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub>: 発表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等を示す。

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>が前の警報・注意報、右のf<sub>2</sub>f<sub>2</sub>が現在の津波警報・注意報の種類を示す。ただし、津波警報・注意報が発表されていない予報区(すでに解除された予報区を含む)

に新たに津波警報・注意報を発表する場合は、左の  $f_1f_1$  は 00 とする。

50:津波警報解除

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

60:津波注意報解除

61:津波なしの津波注意報 (※現在は使用していない)

62:津波注意報

x : 津波が直ちに到達するかどうかを示す

0:しない

1:する

### ⑧ {T AR rrr rrr ...}

#### 直ちに来襲する予報区

注) {}はコードに含まれない。

該当する予報区がない場合はこの部分のコードはつかない。該当する予報区は、{T FR}で x を 1 にした予報区を改めて並べたものである。

T AR:直ちに津波が来襲すると予想される予報区を示す部分であることを示す識別子。

rrr : 予報区番号 (別表 2) を示す。

### ⑨ {T FN rrr ff rrr ff ...}

#### 現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。

T FN : 各予報区の現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

全国分の予報区を対象とする。

rrr : 予報区番号 (別表 2) を示す

ff : 発表されている津波警報・注意報の種類を示す。

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

62:津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況 {T FN ...} での、各予報区についての津波警報・注意報の種類 (ff) の内容により判別を行い、動的表現 (総和表現) とする

例)

・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時、津波警報・注意報の種類 (ff) に 51、52、62 がある場合 「津波警報・注意報」

となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、「現在津波警報・注意報を発表している沿岸は次のとおりです」

「現在津波警報を公表している沿岸は次のとおりです」  
「現在津波注意報を公表している沿岸は次のとおりです」  
のいずれかとなる

⑩ {T OP n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>}

付加情報

注) {}はコードに含まれない。

T OP：津波警報・注意報に関する付加情報であることを示す識別子。

n<sub>1</sub>：津波警報・注意報の概略を示す

0：最初の津波警報・注意報である。

1：津波警報・注意報の切り替えあるいは追加のみが含まれる。

2：津波警報・注意報の切り替えあるいは追加に加え、津波警報・注意報の解除が含まれる。

3：津波警報・注意報の解除のみが含まれる。津波警報・注意報はまだ一部に残る。

4：津波警報・注意報は全て解除される。

5～9：予備

n<sub>2</sub>：津波警報・注意報解除後の海面変動の程度を示す付加文。

0：何も示さない。

1：「今後若干の海面変動があるかもしれません」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください」

2：「今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください」

3：「今後もしばらく海面変動が続くと思われます」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください」

4：「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等を行う（改行）

際は注意してください」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください」

5：「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際は注意（改行）

してください」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください」

6～9：予備

n<sub>3</sub>：見出し情報に対する付加文を示す。管区版では常に0とする。

0：付加文なし

1：「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」（改行）

「なお、これ以外に津波注意報を公表している沿岸があります」

2：「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」

3：「なお、これ以外に津波注意報を公表している沿岸があります」

4～9：予備

n<sub>4</sub>：津波警報に対する付加文

（新たに津波警報が発表される予報区と、津波注意報から津波警報に切り替えられる予報区に対する付加文）

0：付加文なし



- 1: 「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」  
 2~9: 予備
- $n_5$ : 津波注意報に対する付加文  
 (新たに津波注意報が発表される予報区と、津波警報から津波注意報に切り替えられる予報区に対する付加文)  
 0: 付加文なし  
 1~9: 当面は予備
- $n_6$ : 津波警報・注意報の発表状況に対する付加文を示す。  
 0: 付加文なし  
 1: 「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配(改行)  
 はありません」(改行)  
 「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください」  
 2: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(全解除時に使用する)  
 3: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(取り消し時に使用する。)  
 4~9: 予備
- $n_7$ : (部内コード)  
 津波警報・注意報の発表状況({T FN …}及び、この $n_6$ から成る)の部分を漢字かな文に記述するかどうかを示す。  
 0: しない  
 1: する({T FN …}と{T OP …}の $n_6$ を変換)  
 2: する({T OP …}の $n_6$ のみを変換)
- $n_8$ : 内容欠如についての付加文を示す。  
 0: 付加文なし(内容の欠如なし)  
 1: 「なお、札幌管区気象台管内の内容は含まれていません」  
 2: 「なお、仙台管区気象台管内の内容は含まれていません」  
 3: 「なお、東京管区気象台管内の内容は含まれていません」  
 4: 「なお、大阪管区気象台管内の内容は含まれていません」  
 5: 「なお、福岡管区気象台管内の内容は含まれていません」  
 6: 「なお、沖縄気象台管内の内容は含まれていません」  
 7: 「なお、2箇所以上の津波予報中枢の内容が含まれていません」
- $n_9$ : 予備

⑪ {T HR rrr  $f_1f_2f_2$  x rrr  $f_1f_2f_2$  x...}

津波警報・注意報の変更

注) {}はコードに含まれない。

領域内の最大の津波警報・注意報の種類に変更がある場合にのみ、このコードがつく。  
 このコードは漢字かな文には記述しない。

T HR: 領域内の最大の津波警報・注意報の種類の変更を表す部分であることを示す識別子。

rrr: 領域番号(別表3)を示す。

$f_1f_2f_2$ : 領域内で発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

$f_1f_1$ が前の津波警報・注意報におけるもの、右の $f_2f_2$ が現在のものを示す。ただし、

今回新たに発表する領域については、左の  $f_1f_1$  は 00 とする。新たに発表する場合、あるいは変更がある領域のみ記述する。

50:津波警報解除

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

60:津波注意報解除

61:津波なしの津波注意報 (※現在は使用していない)

62:津波注意報

x:津波が直ちに到達するかどうかを示す

0:しない

1:する

## ⑫ {T HN rrr ff rrr ff ...}

### 領域内の最大の津波警報・注意報

注) {}はコードに含まれない。

この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。

このコードは漢字かな文には記述しない。

T HN: 領域内の最大の津波警報・注意報の種類を示す部分。

rrr: 領域番号 (別表 3) を示す

ff: 領域内に発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

62:津波注意報

## ⑬ {T QF Rrrr ff $y_1y_2$ yymmddhhmm x cccc Rrrr ff $y_1y_2$ yymmddhhmm x cccc ...}

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の {T QF} と同一構成であり、内容に変更があるときには「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」をあわせて発表する。

この部分は、漢字かな文には記述しない。

T QF: 予報区に対する津波到達予想時刻・予想される津波の高さの部分であることを示す識別子。

Rrrr: R は予報区番号を報ずることを示す。rrr は予報区番号 (別表 2)。

ff: 発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

62:津波注意報

$y_1y_2$ : 津波到達予想時刻の欄の本文の表現、津波到達予想時刻に変更があるかどうかを示す。

$y_1$  は津波到達予想時刻の本文の表現を示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にこの部分を記述することはないので、ここではこの部分のコードを利用する場合は、という意味である。)

0:時刻を記述する。津波到達予想時刻の欄に#はつけない。

1:時刻を記述する。#をつける。

2:「既に津波到達と推測」と記述する。#はつけない。

3:「既に津波到達と推測」と記述する。#をつける。

4:「津波到達を確認」と記述する。#はつけない。

5:「津波到達を確認」と記述する。#をつける。

$y_2$ は①津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の予報区名の左に#をつけるどうか、を示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。)

0:下記以外

1:津波到達予想時刻を早い方に更新する予報区であることを示す。

(前回発表の情報で時刻を//////////とし、今回具体的な時刻をコードで示す場合を含む。)

2:津波到達予想時刻を遅い方に更新する予報区であることを示す。

3:警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する予報区であることを示す。

予報区名に#をつける。

yyymmddhhmm:津波の到達予想時刻(年月日時分)。不明の場合は//////////とする。

x:①予想される津波の高さに変更があるかどうか、②漢字かな文の高さの欄の左に#をつけるかどうかを示す。

(津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。)

0:下記以外、#はつけない。

1:予想される津波の高さを高い方に変更

(前回発表していない予報区の場合( $y_2$ を3にした場合)と、前回高さを////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む)し、且つ、津波警報・注意報の種類(ff)もより高い方に変更されている。#をつける。

2:予想される津波の高さを高い方に変更

(前回高さを////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む)し、且つ津波警報・注意報の種類(ff)は変更されていない。#をつける。

3:予想される津波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類(ff)もより低い方に変更されている。#をつける。

4:予想される津波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類(ff)は変更されていない。#をつける。

5:予想される津波の高さに変更はないが、津波減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えを行った予報区である。#はつけない。この時高さは////とする。

cccc:予想される津波の高さ(cm単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合(ccc/の形)が「以上」、/が先頭に入る場合(/cccの形)が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合、あるいは津波の減衰に伴う切り替えを行った場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m

10L/:10m 以上

⑭ CH {T FN …} {T OP …} {T HN …} 取り消し内容、および取り消し後の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

このコードは取り消しの場合にのみ付く。

CH: 取り消し内容、および取り消し後の、津波警報・注意報の発表状況であることを示す識別子。

取り消し電文の場合は、{T HD …}から CH までが取り消す内容であることを合わせて示している。

T FN …: 発表状況

T OP …: 付加情報

T HN …: 最大の津波警報・注意報

それぞれ⑧、⑨、⑪項で説明したものと同様である。

ただし、T OP …については、 $n_1$ 、 $n_2$ 、 $n_3$ 、 $n_4$ 、 $n_5$ 、 $n_8$ は常に0とする。

取り消し内容の漢字かな文への記述については、CH 識別子以前の「津波警報・注意報の本文」{T FR …}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) の内容により判別を行い、動的表現 (総和表現) とする

例)

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある時 「津波警報・注意報」

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある時 「津波注意報」  
となる

この結果、「取り消し内容」の漢字かな文への記述は、

「以上の津波警報・注意報を取り消します」

「以上の津波警報を取り消します」

「以上の津波注意報を取り消します」

のいずれかとなる。

⑮ 9999

コード部の終了

9999: コード部の終了を示す。

■ 津波警報・注意報の例

ツミヨク 1 キヨク

03 03 00 930712222114 C11 E0 // 9307122220 T IN 0 T HD 1 1  
192 52 1 102 51 0 120 51 0 292 52 1 493 51 0 692 51 0 T FR 110 0052 1  
111 0052 1 200 0052 1 102 0051 0 120 0051 0 230 0051 0 240 0051 0 340  
0051 0 341 0051 0 360 0051 0 370 0051 0 500 0051 0 520 0051 0 540  
0051 0 550 0051 0 551 0051 0 700 0051 0 101 0062 0 202 0062 0 201  
0062 1 350 0062 0 361 0062 0 711 0062 0 731 0062 0 T AR 110 111 201  
200 T FN 110 52 111 52 200 52 102 51 120 51 230 51 240 51 340 51 341  
51 360 51 370 51 500 51 520 51 540 51 550 51 551 51 700 51 101 62 202  
62 201 62 350 62 361 62 711 62 731 62 T OP 001101000 T HR 192 0052 1  
292 0052 1 191 0051 0 193 0051 0 493 0051 0 692 0051 0 291 0062 1 792  
0062 0 T HN 192 52 292 52 191 51 193 51 493 51 692 51 291 62 792 62 T  
QF R110 52 20 9307122220 0 06LL R111 52 20 9307122220 0 10L/ R200  
52 20 9307122220 0 03LL R102 51 00 9307122230 0 01LL R120 51 00  
9307122340 0 01LL R230 51 00 9307122230 0 01LL R240 51 00 9307122250  
0 01LL R340 51 00 9307122250 0 01LL R341 51 00 9307122250 0 02LL R360  
51 00 9307122300 0 02LL R370 51 00 9307122340 0 01LL R500 51 00  
9307122340 0 01LL R520 51 00 9307122340 0 01LL R540 51 00 9307122350  
0 01LL R550 51 00 9307130000 0 01LL R551 51 00 9307122340 0 02LL R700  
51 00 9307130050 0 01LL R101 62 00 9307122240 0 005L R202 62 00  
9307122310 0 005L R201 62 20 9307122220 0 005L R350 62 00 9307122310  
0 005L R361 62 00 9307122330 0 005L R711 62 00 9307130120 0 005L R731  
62 00 9307130050 0 005L 9999

津波警報・注意報

平成 5年 7月 12日 22時 20分 気象庁発表

\*\*\*\*\* 見出し \*\*\*\*\*  
大津波・津波の津波警報を発表しました  
北海道日本海沿岸、北海道太平洋沿岸西部、オホーツク海沿岸、  
東北地方日本海沿岸、北陸地方、近畿中国地方日本海沿岸  
これらの沿岸では、直ちに安全な場所へ避難して下さい  
なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*  
津波警報を発表した沿岸は次のとおりです  
<大津波>  
\* 北海道日本海沿岸北部、\* 北海道日本海沿岸南部、\* 青森県日本海沿岸  
<津波>  
北海道太平洋沿岸西部、オホーツク海沿岸、秋田県、山形県、  
新潟県上中下越、佐渡、石川県能登、福井県、京都府、兵庫県北部、  
鳥取県、島根県出雲・石見、隠岐、山口県日本海沿岸  
これらの沿岸では、直ちに安全な場所へ避難して下さい

津波注意報を発表した沿岸は次のとおりです  
<津波注意>  
北海道太平洋沿岸中部、陸奥湾、\* 青森県太平洋沿岸、富山県、  
石川県加賀、福岡県日本海沿岸、壱岐・対馬

以下の沿岸（上記の\*印で示した沿岸）では直ちに津波が来襲すると予想さ  
れます  
北海道日本海沿岸北部、北海道日本海沿岸南部、青森県太平洋沿岸、  
青森県日本海沿岸

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*  
<大津波の津波警報>  
高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してくだ  
さい  
<津波の津波警報>  
高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒してください  
<津波注意報>  
高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください  
=

## 2. 震源要素を付加した津波警報・注意報のコード (aa : 01、02、03)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee yymddhhmm y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymddhhmm kkk xxx yy zzz  
nddd ndddd hhh mm {T IN ...} {T HD ...} {T FR ...} {T AR...} {T FN ...} {T OP ...} {T HR ...} {T  
HN ...} {T QF} (CH {T FN ...} {T OP ...} {T HN ...}) 9999
```

注)

- ・ ()、{} はコードには含まれない。
- ・ ()内は、取り消しの場合のみ付ける。
- ・ {T IN ...} {T HD ...} {T FR ...} {T AR...} {T FN ...} {T OP ...} {T HR ...} {T HN ...} {T QF} のコード構成は以下で説明する。
- ・ {T AR ...} {T FN ...} {T HR ...} {T HN ...} {T QF} のコードはつかないことがある。
- ・ 取り消し時は、{T HD ...} から CH までが取り消すべき電文の内容、CH 以後が取り消し後の津波警報・注意報の発表状況を示す。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf 基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee yymddhhmm 最初の津波警報・注意報の判別

E : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初の津波警報・注意報電文であるか否かを示す

0 : 現在津波警報・注意報が発表されていない (つまり、最初の津波警報・注意報電文である)

1 : 現在津波警報・注意報が発表されている (つまり、以前発表した津波警報・注意報の追加・解除・切り替え・取り消しである。)

yymddhhmm : 過去最新の津波警報・注意報の発表時刻。

通常 (nn が 00 または 01) の場合、e が 1 の場合は過去最新の津波警報・注意報電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示し、e が 0 の場合は“//////////”とする。取り消しの場合は、取り消すべき津波警報・注意報電文の発表時刻を示す。

#### ③ 電文タイトル

電文タイトルの漢字かな文への記述については、「津波警報・注意報の概略」{T IN ...} における警報・注意報内容の概略、「津波警報・注意報の本文」{T FR ...} における発

表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等の内容により判別を行い動的表現とする。

- ・津波警報・注意報の発表時（{T IN …}にて n が 0）は、発表後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・津波警報・注意報の切り替え、一部解除時（{T IN …}にて n が 1、2 または 3）は、切り替え、一部解除後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする。
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）は、解除時の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする
- ・取り消し時（基本コード部での電文の種類 mn が 10 または 11）は、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類（CH 識別子以前の T FR 項における  $f_2f_2$ ）による総和表現とする。

例)

- ・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時（{T IN …}にて n が 0、1、2 または 3）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 51、52、62 がある場合 「津波警報・注意報」
- ・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 60 のみがある場合 「津波注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時（基本コード部での電文の種類 mn が 10 または 11）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 62 のみがある場合 「津波注意報」  
となる

この結果、「電文タイトル」の漢字かな文への記述は、  
「津波警報・注意報」  
「津波警報」  
「津波注意報」  
のいずれかとなる。

#### ④ $y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$

#### 津波警報・注意報の発表時刻

$y_2y_2m_2m_2d_2d_2h_2h_2m_2m_2$ ：津波警報・注意報の発表時刻。

基本コード部の電文発信時刻と基本的には同時刻であるが、津波警報・注意報の発表時刻を分単位、電文発信時刻を秒単位で与えていることから、発信のタイミングによっては両者の分の値が異なることもあり得る。取り消し時は“////////”とする。

#### ⑤ $yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd nddd hhh mm$

#### 震源要素

$yymmddhhmm$ ：発現時刻（年月日時分）

$kkk$ ：震央地名コード番号

$xxx$ ：地点のコード番号（別表 5）を示す

$yy$ ：16 方位

$zzz$ ：距離

$ndddd$ ：震央の緯度（単位：0.1 度、北緯は  $n=0$ 、南緯は  $n=1$ ）

ndddd：震央の経度（単位：0.1度、東経はn=0、西経はn=1）

hhh：震源の深さ（単位：km）。不明の場合は“///”。

mm：マグニチュード（単位：0.1）。不明の場合は“//”。

震源要素を示す。ただし、不明あるいは未確定の場合は全て“////////// /// /// //  
/// /// //”とする。

不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法については、2-2地震関連事項の3.  
項（地震情報）の項目を参照

## ⑥ {T IN n }

## 津波警報・注意報の概略

注) {}はコードに含まれない。

T IN：警報・注意報内容の概略を示す部分の識別子。

n：警報・注意報内容の概略を示す

0：最初の津波警報・注意報である。

1：津波警報・注意報の切り替えあるいは追加のみが含まれる。

2：津波警報・注意報の切り替えあるいは追加に加えて、津波警報・注意報の解除が含まれる。

3：津波警報・注意報の解除のみが含まれる。津波警報・注意報はまだ一部に残る。

4：津波警報・注意報は全て解除される。

5～9：予備

津波警報・注意報の概略の漢字かな文への記述については、「基本コード部」の電文の種類、「見出し情報」{T HD …}の漢字かな文への記述の有無、「津波警報・注意報の概略」{T IN …}における警報・注意報内容の概略、「津波警報・注意報の本文」{T FR …}における発表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等の内容により判別を行い動的表現とする

通常（nn が 00 または 01）の場合、見出し情報が記載されていない時（{T HD …}にて p が 0）に、漢字かな文に記載する（見出し情報が記載されている時（{T HD …}にて p が 1）には、記載しない）

・津波警報・注意報の切り替え、一部解除時（{T IN …}にて n が 1、2 または 3）は、切り替え、一部解除後の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする

・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）は、解除時の各予報区についての津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）による総和表現とする

（最初の津波警報・注意報である時（{T IN …}にて n が 0）には、必ず見出し情報を記載しており（{T HD …}にて p が 1）、津波警報・注意報の概略は記載しない）

取り消し（nn が 10 または 11）の場合、取り消し前の各予報区についての津波警報・注意報の種類（CH 識別子以前の T FR 項における  $f_2f_2$ ）による総和表現とする

例)

・津波警報・注意報の切り替え、または一部解除時（{T IN …}にて n が 1、2 または 3）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 51、52、62 がある場合 「津波警報・注意報」

・津波警報・注意報を全て解除する時（{T IN …}にて n が 4）、津波警報・注意報の種類（ $f_2f_2$ ）に 60 のみがある場合 「津波注意報」



- ・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある場合「津波警報・注意報」
- ・津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある場合「津波注意報」となる

この結果、「津波警報・注意報の概略」の漢字かな文への記述は、

- 「津波警報・注意報の切り替えをお知らせします。」
- 「津波警報・注意報の一部解除をお知らせします。」
- 「津波警報・注意報の解除をお知らせします。」
- 「津波警報の切り替えをお知らせします。」
- 「津波警報の一部解除をお知らせします。」
- 「津波警報の解除をお知らせします。」
- 「津波注意報の切り替えをお知らせします。」
- 「津波注意報の一部解除をお知らせします。」
- 「津波注意報の解除をお知らせします。」
- 「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報・注意報を取り消します。」
- 「〇〇日〇〇時〇〇分の津波警報を取り消します。」
- 「〇〇日〇〇時〇〇分の津波注意報を取り消します。」

のいずれかとなる。

## ⑦ {T HD p w rrr ff x rrr ff x ...} 見出し情報

注) {}はコードに含まれない。

T HD：見出し情報の部分であることを示す識別子。

p：見出し情報を漢字かな文に記述するかどうかを示す。

0：記述しない

1：記述する

w：見出しに記述する津波警報・注意報の種類を示す。

1：大津波・津波の津波警報

(本文への記述は「大津波・津波の津波警報を発表しました」)

2：津波の津波警報 (本文への記述は「津波警報を発表しました」)

3：津波注意報 (本文への記述は「津波注意報を発表しました」)

4：津波警報・注意報の種類の高い方への切り替えのみのため、見出しのコードは空  
({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)

5：津波警報・注意報の解除のみのため、見出しのコードは空

({T HD}はここで終わり、{T FR}に続く。漢字かな文には記述しないのでpは0とする)

6～9：予備

rrr：見出し情報に用いる地域名(別表1)を示す

ff：津波警報・注意報の種類を示す。

51：津波の津波警報

52：大津波の津波警報

62：津波注意報

x : 津波が直ちに到達するかどうかを示す (当面使用不可とする)  
0:しない  
1:する

⑧ {T FR rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x ...} 津波警報・注意報の本文

注) {}はコードに含まれない。

T FR : 津波警報・注意報の本文の部分であることを示す識別子。

rrr : 予報区番号 (別表 2) を示す。

(予報を新たに発表する予報区、あるいは予報を変更する予報区のみを記述する。)

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> : 発表された津波警報・注意報の種類、その切り替え等を示す。

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>が前の予報、右の f<sub>2</sub>f<sub>2</sub>が現在の予報の種類を示す。ただし、津波警報・注意報が発表されていない予報区 (すでに解除された予報区を含む) に新たに津波警報・注意報を発表する場合は、左の f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>は 00 とする。

50:津波警報解除

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

60:津波注意報解除

61:津波なしの津波注意報 (※現在は使用していない)

62:津波注意報

x : 津波が直ちに到達するかどうかを示す

0:しない

1:する

⑨ {T AR rrr rrr ...} 直ちに來襲する予報区

注) {}はコードに含まれない。

該当する予報区がない場合はこの部分のコードはつかない。該当する予報区は、{T FR}で x を 1 にした予報区を改めて並べたものである。

T AR:直ちに津波が來襲すると予想される予報区を示す部分であることを示す識別子。

rrr : 予報区番号 (別表 2) を示す。

⑩ {T FN rrr ff rrr ff ...} 現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。

T FN : 各予報区の現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

全国分の予報区を対象とする。

rrr : 予報区番号 (別表 2) を示す

ff : 発表されている津波警報・注意報の種類を示す。

- 51:津波の津波警報
- 52:大津波の津波警報
- 62:津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN …}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類(ff)の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

- ・津波警報・注意報の発表時、切り替え、または一部解除時、津波警報・注意報の種類(ff)に51、52、62がある場合 「津波警報・注意報」  
となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、  
「現在津波警報・注意報を発表している沿岸は次のとおりです」  
「現在津波警報を発表している沿岸は次のとおりです」  
「現在津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです」  
のいずれかとなる

#### ⑪ {T OP n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>}

#### 付加情報

注) {}はコードに含まれない。

T OP: 津波警報・注意報に関する付加情報であることを示す識別子。

n<sub>1</sub>: 津波警報・注意報の概略を示す

0: 最初の津波警報・注意報である。

1: 津波警報・注意報の切り替えあるいは追加のみが含まれる。

2: 津波警報・注意報の切り替えあるいは追加に加え、津波警報・注意報の解除が含まれる。

3: 津波警報・注意報の解除のみが含まれる。津波警報・注意報はまだ一部に残る。

4: 津波警報・注意報は全て解除される。

5~9: 予備

n<sub>2</sub>: 津波警報・注意報解除後の海面変動の程度を示す付加文。

0: 何も示さない。

1: 「今後若干の海面変動があるかもしれません」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください」

2: 「今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください」

3: 「今後もしばらく海面変動が続くと思われます」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください」

4: 「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等を行う(改行)

際は注意してください」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください」

5: 「今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際は注意(改

行)

してください」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください」

6~9: 予備

n<sub>3</sub>: 見出し情報に対する付加文を示す。管区版では常に0とする。

0: 付加文なし

1: 「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」(改行)

「なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります」

2: 「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」

3: 「なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります」

4~9: 予備

n<sub>4</sub>: 津波警報に対する付加文

(新たに津波警報が発表される予報区と、津波注意報から津波警報に切り替えられる予報区に対する付加文)

0: 付加文なし

1: 「これらの沿岸では直ちに安全な場所へ避難して下さい」

2~9: 予備

n<sub>5</sub>: 津波注意報に対する付加文

(新たに津波注意報が発表される予報区と、津波警報から津波注意報に切り替えられる予報区に対する付加文)

0: 付加文なし

1~9: 当面は予備

n<sub>6</sub>: 津波警報・注意報の発表状況に対する付加文を示す。

0: 付加文なし

1: 「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配(改行)

はありません」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照してください」

2: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(全解除時に使用する)

3: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(取り消し時に使用する。)

4~9: 予備

n<sub>7</sub>: (部内コード)

津波警報・注意報の発表状況({T FN …}及び、このn<sub>6</sub>から成る)の部分の漢字かな文に記述するかどうかを示す。

0: しない

1: する({T FN …}と{T OP …}のn<sub>6</sub>を変換)

2: する({T OP …}のn<sub>6</sub>のみを変換)

n<sub>8</sub>: 内容欠如についての付加文を示す。

0: 付加文なし(内容の欠如なし)

1: 「なお、札幌管区気象台管内の内容は含まれていません」

2: 「なお、仙台管区気象台管内の内容は含まれていません」

3: 「なお、東京管区気象台管内の内容は含まれていません」

4: 「なお、大阪管区気象台管内の内容は含まれていません」

- 5: 「なお、福岡管区気象台管内の内容は含まれていません」
- 6: 「なお、沖縄気象台管内の内容は含まれていません」
- 7: 「なお、2箇所以上の津波予報中枢の内容が含まれていません」

n<sub>9</sub>: 予備

⑫ {T HR rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x rrr f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub> x...} 津波警報・注意報の変更

注) {}はコードに含まれない。

領域内の最大の津波警報・注意報の種類に変更がある場合にのみ、このコードがつく。

このコードは漢字かな文には記述しない。

T HR: 領域内の最大の津波警報・注意報の種類の変更を表す部分であることを示す識別子。

rrr: 領域番号(別表3)を示す。

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>f<sub>2</sub>f<sub>2</sub>: 領域内で発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

f<sub>1</sub>f<sub>1</sub>が前の津波警報・注意報におけるもの、右のf<sub>2</sub>f<sub>2</sub>が現在のものを示す。ただし、今回新たに発表する領域については、左のf<sub>1</sub>f<sub>1</sub>は00とする。新たに発表する場合、あるいは変更がある領域のみ記述する。

50: 津波警報解除

51: 津波の津波警報

52: 大津波の津波警報

60: 津波注意報解除

61: 津波なしの津波注意報 (※現在は使用していない)

62: 津波注意報

x: 津波が直ちに到達するかどうかを示す

0: しない

1: する

⑬ {T HN rrr ff rrr ff ...} 領域内の最大の津波警報・注意報

注) {}はコードに含まれない。

この津波警報・注意報の発表によって津波警報・注意報が発表されている予報区がなくなる場合には、この部分のコードはつかない。

このコードは漢字かな文には記述しない。

T HN: 領域内の最大の津波警報・注意報の種類の状態を示す部分。

rrr: 領域番号(別表3)を示す

ff: 領域内に発表されている最大の津波警報・注意報の種類を示す。

51: 津波の津波警報

52: 大津波の津波警報

62: 津波注意報

⑭ {T QF Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymmddhhmm x cccc Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymmddhhmm x cccc ...}

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の{T QF}と同一構成であり、

内容に変更があるときには「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」をあわせて発表する。

この部分は、漢字かな文には記述しない。

T QF：予報区に対する津波到達予想時刻・予想される津波の高さの部分であることを示す識別子。

Rrrr：Rは予報区番号を報ずることを示す。rrrは予報区番号（別表2）。

ff：発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51：津波の津波警報

52：大津波の津波警報

62：津波注意報

$y_1y_2$ ：津波到達予想時刻の欄の本文の表現、津波到達予想時刻に変更があるかどうかを示す。

$y_1$ は津波到達予想時刻の本文の表現を示す。

（津波警報・注意報の漢字かな文にこの部分を記述することはないので、ここではこの部分のコードを利用する場合は、という意味である。）

0：時刻を記述する。津波到達予想時刻の欄に#はつけない。

1：時刻を記述する。#をつける。

2：「既に津波到達と推測」と記述する。#はつけない。

3：「既に津波到達と推測」と記述する。#をつける。

4：「津波到達を確認」と記述する。#はつけない。

5：「津波到達を確認」と記述する。#をつける。

$y_2$ は①津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の予報区名の左に#をつけるかどうか、を示す。

（津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。）

0：下記以外

1：津波到達予想時刻を早い方に更新する予報区であることを示す。

（前回発表の情報で時刻を//////////とし、今回具体的な時刻をコードで示す場合を含む。）

2：津波到達予想時刻を遅い方に更新する予報区であることを示す。

3：警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する予報区であることを示す。

予報区名に#をつける。

yymmddhhmm：津波の到達予想時刻（年月日時分）。不明の場合は//////////とする。

x：①予想される津波の高さに変更があるかどうか、②漢字かな文の高さの欄の左に#をつけるかどうかを示す。

（津波警報・注意報の漢字かな文にはこの部分を記述することはないので、ここではもし漢字かな文に直すとしたら、という意味である。）

0：下記以外、#はつけない。

1：予想される津波の高さを高い方に変更

（前回発表していない予報区の場合（ $y_2$ を3にした場合）と、前回高さを////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む）し、且つ、津波警報・注意報の種類（ff）もより高い方に変更されている。#をつける。

2：予想される津波の高さを高い方に変更

（前回高さを////と発表し、今回具体的な数値をコードで示す場合を含む）し、且つ

津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

3: 予想される津波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) もより低い方に変更されている。#をつける。

4: 予想される津波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類 (ff) は変更されていない。#をつける。

5: 予想される津波の高さに変更はないが、津波減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えを行った予報区である。#はつけない。この時高さは////とする。

cccc: 予想される津波の高さ (cm 単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを 0000 とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合 (ccc/の形) が「以上」、/が先頭に入る場合 (/cccの形) が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合、あるいは津波の減衰に伴う切り替えを行った場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100: 1.00m (.00 まで有効)

010L: 1.0m (.0 まで有効)

01LL: 1m

10L/: 10m 以上

## ⑮ CH {T FN …} {T OP …} {T HN …} 取り消し内容、および取り消し後の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

このコードは取り消しの場合にのみ付く。

CH: 取り消し内容、および取り消し後の、津波警報・注意報の発表状況であることを示す識別子。

取り消し電文の場合は、{T HD …}から CH までが取り消す内容であることを合わせて示している。

T FN …: 発表状況

T OP …: 付加情報

T HN …: 最大の津波警報・注意報

それぞれ⑧、⑨、⑪項で説明したものと同様である。

ただし、T OP …については、 $n_1$ 、 $n_2$ 、 $n_3$ 、 $n_4$ 、 $n_5$ 、 $n_8$ は常に0とする。

取り消し内容の漢字かな文への記述については、CH 識別子以前の「津波警報・注意報の本文」{T FR …}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) の内容により判別を行い、動的表現 (総和表現) とする

例)

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 51、52、62 がある時 「津波警報・注意報」

津波警報・注意報を取り消す時、津波警報・注意報の種類 ( $f_2f_2$ ) に 62 のみがある時 「津波注意報」  
となる

この結果、「取り消し内容」の漢字かな文への記述は、  
「以上の津波警報・注意報を取り消します」  
「以上の津波警報を取り消します」  
「以上の津波注意報を取り消します」  
のいずれかとなる。

⑩ 9999

コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。



ワミヨル 6 キヨ

03 03 00 930712222114 C11 E0 // 9307122220 9307122217 180  
106 15 050 0428 01394 050 78 T IN 0 T HD 1 1 192 52 1 102 51 0 120  
51 0 292 52 1 493 51 0 692 51 0 T FR 110 0052 1 111 0052 1 200 0052  
1 102 0051 0 120 0051 0 230 0051 0 240 0051 0 340 0051 0 341 0051 0  
360 0051 0 370 0051 0 500 0051 0 520 0051 0 540 0051 0 550 0051 0  
551 0051 0 700 0051 0 101 0062 0 202 0062 0 201 0062 1 350 0062 0  
361 0062 0 711 0062 0 731 0062 0 T AR 110 111 201 200 T FN 110 52  
111 52 200 52 102 51 120 51 230 51 240 51 340 51 341 51 360 51 370  
51 500 51 520 51 540 51 550 51 551 51 700 51 101 62 202 62 201 62  
350 62 361 62 711 62 731 62 T OP 001101000 T HR 192 0052 1 292 0052  
1 191 0051 0 193 0051 0 493 0051 0 692 0051 0 291 0062 1 792 0062 0  
T HN 192 52 292 52 191 51 193 51 493 51 692 51 291 62 792 62 T  
QF R110 52 20 9307122220 0 06LL R111 52 20 9307122220 0 10L/ R200  
52 20 9307122220 0 03LL R102 51 00 9307122230 0 01LL R120 51 00  
9307122340 0 01LL R230 51 00 9307122230 0 01LL R240 51 00 9307122250  
0 01LL R340 51 00 9307122250 0 01LL R341 51 00 9307122250 0 02LL R360  
51 00 9307122300 0 02LL R370 51 00 9307122340 0 01LL R500 51 00  
9307122340 0 01LL R520 51 00 9307122340 0 01LL R540 51 00 9307122350  
0 01LL R550 51 00 9307130000 0 01LL R551 51 00 9307122340 0 02LL R700  
51 00 9307130050 0 01LL R101 62 00 9307122240 0 005L R202 62 00  
9307122310 0 005L R201 62 20 9307122220 0 005L R350 62 00 9307122310  
0 005L R361 62 00 9307122330 0 005L R711 62 00 9307130120 0 005L R731  
62 00 9307130050 0 005L 9999

津波警報・注意報

平成 5年 7月12日22時20分 気象庁発表

\*\*\*\*\* 見出し \*\*\*\*\*  
大津波・津波の津波警報を発表しました  
北海道日本海沿岸、北海道太平洋沿岸西部、オホーツク海沿岸、  
東北地方日本海沿岸、北陸地方、近畿中国地方日本海沿岸  
これらの沿岸では、直ちに安全な場所へ避難して下さい  
なお、これ以外に津波注意報を発表している沿岸があります

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*  
津波警報を発表した沿岸は次のとおりです  
<大津波>  
\*北海道日本海沿岸北部、\*北海道日本海沿岸南部、\*青森県日本海沿岸  
<津波>  
北海道太平洋沿岸西部、オホーツク海沿岸、秋田県、山形県、  
新潟県上中下越、佐渡、石川県能登、福井県、京都府、兵庫県北部、  
鳥取県、島根県出雲・石見、隠岐、山口県日本海沿岸  
これらの沿岸では、直ちに安全な場所へ避難して下さい

津波注意報を発表した沿岸は次のとおりです  
<津波注意>  
北海道太平洋沿岸中部、陸奥湾、\*青森県太平洋沿岸、富山県、  
石川県加賀、福岡県日本海沿岸、香岐・対馬  
以下の沿岸（上記の\*印で示した沿岸）では直ちに津波が来襲すると予想され  
れます  
北海道日本海沿岸北部、北海道日本海沿岸南部、青森県太平洋沿岸、  
青森県日本海沿岸

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*  
<大津波の津波警報>  
高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してくだ  
さい  
<津波の津波警報>  
高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒してください  
<津波注意報>  
高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください

\*\*\*\*\* 震源要素の速報 \*\*\*\*\*  
[震源、規模]  
きょう12日22時17分頃地震がありました  
震源地は、北海道南西沖（北緯42.8度、東経139.4度、奥尻島の北  
北西50km付近）で、震源の深さは50km、地震の規模（マグニチュー  
ド）は7.8と推定されます  
＝

### 3. 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報 (aa:04、05、06)

#### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh  
mm {T QF ...} {T FN ...} Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {} はコードには含まれない。
- ・ {T QF ...} {T FN ...} の部分については以下で説明する。  
取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 9999]となる。

#### ■ 各コードの説明

##### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf 基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

##### ② Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 最初の津波到達予測の判別

E : 最初に発表する津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初に発表する津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報であるか否かを示す

0 : 最初に発表する情報である

1 : 以前発表した情報の更新・取り消しである

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> : 津波到達予測時刻・予想される津波の高さに関する情報の発表時刻

通常 (nn が 00 または 01) 時は、e が 0 の時は “//////////” とし、e が 1 の場合は過去最新の津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は取り消す電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

##### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm 震源要素

yymmddhhmm : 発現時刻 (年月日時分)

kkk : 震央地名コード番号

xxx : 地点のコード番号 (別表 5) を示す

yy : 16 方位

zzz：距離

nddd：震央の緯度（単位：0.1度、北緯はn=0、南緯はn=1）

ndddd：震央の経度（単位：0.1度、東経はn=0、西経はn=1）

hhh：震源の深さ（単位：km）。不明の場合は“///”。

mm：マグニチュード（単位：0.1）。不明の場合は“//”。

震源要素を示す。ただし、不明あるいは未確定の場合は全て“////////// /// // //  
/// // // // // // // //”とする。

不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法については、2-2地震関連電文の4.  
項（地震情報）の項目を参照

#### ④ {T QF Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymmddhhmm x cccc Rrrr ff y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymmddhhmm x cccc …}

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T QF}と同一構成である。内容について変更があるときには「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」を発表する。

T QF：予報区に対する津波到達予想時刻・予想される津波の高さの部分であることを示す識別子。

Rrrr：Rは予報区番号を報ずることを示す。rrrは予報区番号（別表2）。

ff：発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51：津波の津波警報

52：大津波の津波警報

62：津波注意報

各予報区に発表された津波警報・注意報の種類は、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>：津波到達予想時刻の欄の本文の表現、津波到達予想時刻に変更があるかどうかを示す。

y<sub>1</sub>は津波到達予想時刻の本文の表現を示す。

0：時刻を記述する。津波到達予想時刻の欄に#はつけない。

1：時刻を記述する。#をつける。

2：「既に津波到達と推測」と記述する。#はつけない。

3：「既に津波到達と推測」と記述する。#をつける。

4：「津波到達を確認」と記述する。#はつけない。

5：「津波到達を確認」と記述する。#をつける。

y<sub>2</sub>は①津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の予報区名の左に#をつけるかどうか、を示す。

0：下記以外

1：津波到達予想時刻を早い方に更新する予報区であることを示す。（前回発表の情報で時刻を//////////とし、今回具体的な時刻をコードで示す場合を含む。）

2：津波到達予想時刻を遅い方に更新する予報区であることを示す。

3：警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する予報区であることを示す。予報区名に#をつける。

yymmddhhmm：津波の到達予想時刻（年月日時分）。

不明の場合は“//////////”とする。

x: ①予想される津波の高さに変更があるかどうか、②漢字かな文の高さの欄の左に#をつけるかどうかを示す。

0: 下記以外、#はつけない。

1: 予想される津波の高さを高い方に変更（前回発表していない予報区の場合（ $y_2$ を3にした場合）と、前回高さを////と発表し、今回具体的数値をコードで示す場合を含む）し、且つ、津波警報・注意報の種類（ff）もより高い方に変更されている。#をつける。

2: 予想される津波の高さを高い方に変更（前回高さを////と発表し、今回具体的数値をコードで示す場合を含む）し、且つ、津波警報・注意報の種類（ff）は変更されていない。#をつける。

3: 予想される津波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類（ff）もより低い方に変更されている。#をつける。

4: 予想される津波の高さを低い方に変更し、且つ、津波警報・注意報の種類（ff）は変更されていない。#をつける。

5: 予想される津波の高さに変更はないが、津波減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えを行った予報区である。#はつけない。この時高さは////とする。

cccc: 予想される津波の高さ(cm 単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合（ccc/の形）が「以上」、/が先頭に入る場合（/cccの形）が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合、あるいは津波の減衰に伴う切り替えを行った場合はこのコードを////とする。

（凡例）

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m

10L/:10m 以上

## ⑤ {T FN rrr ff rrr ff ...}

## 現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードに含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T FN}と同一構成であり、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

T FN: 現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

rrr: 予報区番号を示す

ff: 発表されている津波警報・注意報の種類を示す。

51: 津波の津波警報

52: 大津波の津波警報

62: 津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN ...}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類

(ff) の内容により判別を行い、動的表現（総和表現）とする

例)

・津波警報・注意報の発表、切り替え、または一部解除後に発表する津波情報にて、津波警報・注意報の種類 (ff) に 51、52、62 がある場合 「津波警報・注意報」  
となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、  
「[現在津波警報・注意報を発表している沿岸]」  
「[現在津波警報を発表している沿岸]」  
「[現在津波注意報を発表している沿岸]」  
のいずれかとなる

## ⑥ Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

## 付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A：付加文を示す識別子

f：付加文の有無を示す。

0：付加文は1つもない

1：付加文が1つ以上ある

n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>：この電文では使用しない。常に000。

n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>：津波に関する（発表状況に関する部分を除く）付加文を示す。

それぞれ以下の番号のいずれかが入る。これらは順不同である。同じ番号の付加文が複数付くことはない。付加文の入る位置は、予報文・各情報文毎に文例にて指定する。本電文では、2、3、4、5は使用しない。

0：付加文なし

1：「なお、場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる（改行）

可能性があります」

2：「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要です」

3：「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要です」

4：「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達していることが考えられます」

5：「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます」

n<sub>8</sub>：津波警報・注意報の発表状況に関する付加文を示す。

この情報では、2、3、4、5、6は使用しない。

0：付加文なし

1：「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配（改行）

はありません」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください」

2：「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」（改行）

- 「なお、今後若干の海面変動があるかもしれません」(改行)  
「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」
- 3: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)  
「なお、今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません」(改行)  
「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」
- 4: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)  
「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われます」(改行)  
「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」
- 5: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)  
「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等(改行)  
を行う際は注意して下さい」(改行)  
「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」
- 6: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)  
「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際は注意して下さい」(改行)  
「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」

n<sub>9</sub>: 予備

## ⑦ 9999

## コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

■ 津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報の例

ツミヨ村 1 秒功

06 03 00 93071222216 G11 E0 ////////////// 9307122217 180 106 15 050  
 0428 01394 050 78 T QF R110 52 20 9307122220 0 06LL R111 52 20  
 9307122220 0 10L/ R200 52 20 9307122220 0 03LL R102 51 00 9307122230  
 0 01LL R120 51 00 9307122340 0 01LL R230 51 00 9307122230 0 01LL R240  
 51 00 9307122250 0 01LL R340 51 00 9307122250 0 01LL R341 51 00  
 9307122250 0 02LL R360 51 00 9307122300 0 02LL R370 51 00 9307122340  
 0 01LL R500 51 00 9307122340 0 01LL R520 51 00 9307122340 0 01LL R540  
 51 00 9307122350 0 01LL R550 51 00 9307130000 0 01LL R551 51 00  
 9307122340 0 02LL R700 51 00 9307130050 0 01LL R101 62 00 9307122240  
 0 005L R202 62 00 9307122310 0 005L R201 62 20 9307122220 0 005L R350  
 62 00 9307122310 0 005L R361 62 00 9307122330 0 005L R711 62 00  
 9307130120 0 005L R731 62 00 9307130050 0 005L T FN 110 52 111 52 200  
 52 102 51 120 51 230 51 240 51 340 51 341 51 360 51 370 51 500 51 520  
 51 540 51 550 51 551 51 700 51 101 62 202 62 201 62 350 62 361 62 711  
 62 731 62 A1000100010 9999

津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報）  
 平成 5年 7月 12日 22時 22分 気象庁発表

〔津波到達予想時刻・予想される津波の高さ〕  
 津波到達予想時刻および予想される津波の高さは次のとおりです  
 予報区名 津波到達予想時刻 予想される津波の高さ

予報区名	津波到達予想時刻	予想される津波の高さ
＜大津波＞		
北海道日本海沿岸北部	既に津波到達と推測	6 m
北海道日本海沿岸南部	既に津波到達と推測	10 m以上
青森県日本海沿岸	既に津波到達と推測	3 m
＜津波＞		
北海道太平洋沿岸西部	12日22時30分	1 m
オホーツク海沿岸	12日23時40分	1 m
秋田県	12日22時30分	1 m
山形県	12日22時50分	1 m
新潟県上中下越	12日22時50分	1 m
佐渡	12日22時50分	2 m
石川県能登	12日23時00分	2 m
福井県	12日23時40分	1 m
京都府	12日23時40分	1 m
兵庫県北部	12日23時40分	1 m
鳥取県	12日23時50分	1 m
島根県出雲・石見	13日00時00分	1 m
隠岐	12日23時40分	2 m
山口県日本海沿岸	13日00時50分	1 m
＜津波注意＞		
北海道太平洋沿岸中部	12日22時40分	0.5 m
陸奥湾	12日23時10分	0.5 m
青森県太平洋沿岸	既に津波到達と推測	0.5 m
富山県	12日23時10分	0.5 m
石川県加賀	12日23時30分	0.5 m
福岡県日本海沿岸	13日01時20分	0.5 m
壱岐・対馬	13日00時50分	0.5 m

なお、場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる  
 可能性があります  
 これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配  
 はありません

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください

〔震源、規模〕

きょう12日22時17分頃地震がありました  
 震源地は、北海道南西沖（北緯42.8度、東経139.4度、奥尻島の北  
 北西50 km付近）で、震源の深さは50 km、地震の規模（マグニチュー  
 ド）は7.8と推定されます

津波情報1号

=

#### 4. 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報 (aa : 10)

##### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1s1s1 Cnf Ee y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd  
hhh mm {T TA ...} {T FN ...} Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {} はコードには含まれない。
- ・ {T TA ...} {T FN ...} の部分は以下で説明する。  
取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 9999]となる。

##### ■ 各コードの説明

###### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

###### ② Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>                      最初の満潮時刻の判別

E: 最初に発表する各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報であるか否かを示す部分であることの識別子

e: 最初に発表する各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報であるか否かを示す

0: 最初に発表する情報である

1: 以前発表した情報の変更・取り消しである

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>: 満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報の発表時刻

通常 (nn=00 または 01) の場合、e が 0 の時は“//////////”とし、e が 1 の場合は過去最新の各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報の電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は、取り消すべき電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

###### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm                      震源要素

yymmddhhmm : 発現時刻 (年月日時分)

kkk : 震央地名コード番号

xxx : 地点のコード番号 (別表 5) を示す

yy : 16 方位

zzz : 距離

ndddd : 震央の緯度 (単位 : 0.1 度、北緯は n=0、南緯は n=1)



ndddd：震央の経度（単位：0.1度、東経はn=0、西経はn=1）

hhh：震源の深さ（単位：km）。不明の場合は“///”。

mm：マグニチュード（単位：0.1）。不明の場合は“///”。

震源要素を示す。ただし、不明あるいは未確定の場合は全て“////////// /// /// //  
/// /// //”とする。

不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法については、2-2地震関連電文の4.  
項（地震情報）の項目を参照

④ {T TA (Rrrr ff z<sub>1</sub>z<sub>2</sub> y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> (Pppppp y<sub>1</sub>y<sub>2</sub> yymmeeiinn  
y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>)<sub>2</sub>)<sub>1</sub>} 満潮時刻と到達予想時刻

注) {} ()<sub>1</sub>()<sub>2</sub>はコードには含まれない。()<sub>1</sub>内及び()<sub>2</sub>内は適宜くり返す。

T TA：満潮時刻と到達予想時刻の部分であることを示す識別子。

Rrrr：Rは予報区番号を報ずることを示す識別子。rrrは後ろに続く地点が属する予報区（別表2）の予報区番号を示す。

ff：発表された津波警報・注意報の種類を示す。

このコードは、津波警報・注意報の{T FN}と同一構成であり、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

51：津波の津波警報

52：大津波の津波警報

62：津波注意報

z<sub>1</sub>z<sub>2</sub>：予報区に対する津波到達予想時刻の欄の本文の記述をどうするか、津波到達予想時刻が変更されているかどうかを示す。

z<sub>1</sub>は津波到達予想時刻の本文の記述をどうするかを制御する。

0：時刻を記述する。津波到達予想時刻の欄に#をつけない。

1：時刻を記述する。#をつける。

2：「既に津波到達と推測」と記述する。#をつけない。

3：「既に津波到達と推測」と記述する。#をつける。

4：「津波到達を確認」と記述する。#をつけない。

5：「津波到達を確認」と記述する。#をつける。

z<sub>2</sub>は①津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の予報区名の左に#をつけるかどうか、を示す。

0：下記以外

1：津波到達予想時刻を早い方に更新する予報区であることを示す。（前回発表の情報で時刻を//////////とし、今回具体的な時刻をコードで示す場合を含む。）

2：津波到達予想時刻を遅い方に更新する予報区であることを示す。

3：警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する予報区であることを示す。予報区名に#をつける。

y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>：予報区に対する津波到達予想時刻を示す（年月日時分）。

不明の場合は//////////とする。

Pppppp：Pは地点番号を報ずることを示す識別子。pppppは地点番号（別表4）。

y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>：地点に対する津波到達予想時刻の欄の本文の記述をどうするか、津波到達予想時刻・満潮時刻に変更があるかどうかを示す。

y<sub>1</sub>は津波到達予想時刻の本文の記述をどうするかを制御する。

0:時刻を記述する。津波到達予想時刻の欄に#をつけない。

1:時刻を記述する。#をつける。

2:「既に津波到達と推測」と記述する。#をつけない。

3:「既に津波到達と推測」と記述する。#をつける。

4:「津波到達を確認」と記述する。#をつけない。

5:「津波到達を確認」と記述する。#をつける。

y<sub>2</sub>は①津波到達予想時刻に更新があるかどうか、②漢字かな文の満潮時刻の欄に#をつけるかどうか、③漢字かな文の地点名の左に#をつけるかどうか、を示す。

0:下記以外、#はつけない。

1:津波到達予想時刻の更新はない(時刻が//////////の場合を含む)が、満潮時刻の更新がある。満潮時刻の欄に#をつける。

2:津波到達予想時刻を早い方に更新する地点(前回発表した情報で時刻を//////////とし今回具体的数値を示す場合を含む)であることを示す。満潮時刻の更新はない。満潮時刻の欄に#をつけない。

3:津波到達予想時刻を早い方に更新する地点(前回発表した情報で時刻を//////////とし今回具体的数値を示す場合を含む)であることを示す。満潮時刻の更新がある。満潮時刻の欄に#をつける。

4:津波到達予想時刻を遅い方に更新する地点であることを示す。満潮時刻の更新はない。満潮時刻欄に#をつけない。

5:津波到達予想時刻を遅い方に更新する地点であることを示す。満潮時刻の更新がある。満潮時刻の欄に#をつける。

6:警報・注意報の切り替えに伴い今回新たに発表する地点であることを示す。地点名に#をつける。満潮時刻欄には満潮時刻の値が//////////でない場合に#をつける。

yymmeeiinn:各地点の満潮時刻(年月日時分)

(ただし、時刻を示さない場合は//////////とする。)

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>:各地点の津波到達予想時刻(年月日時分)

(ただし、時刻を示さない場合は//////////とする。)

## ⑤ {T FN rrr ff rrr ff ...}

## 現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードには含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T FN}と同一構成であり、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

T FN:現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

rrr:予報区番号を示す

ff:発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

62:津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN ...}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類(ff)の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

・津波警報・注意報の発表、切り替え、または一部解除後に発表する津波情報にて、津波警報・注意報の種類 (ff) に 51、52、62 がある場合 「津波警報・注意報」  
となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、  
「[現在津波警報・注意報を発表している沿岸]」  
「[現在津波警報を発表している沿岸]」  
「[現在津波注意報を発表している沿岸]」  
のいずれかとなる

## ⑥ Af<sub>n</sub>n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

## 付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A：付加文を示す識別子

f：付加文の有無を示す。

0：付加文は1つもない

1：付加文が1つ以上ある

n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>：この電文では使用しない。常に000。

n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>：津波警報・注意報に関する付加文（発表状況に関する部分を除く）を示す。それぞれ以下の番号のいずれかが入る。これらは順不同である。同じ番号の付加文が複数付くことはない。付加文の入る位置は、予報文・各情報文毎に文例にて指定する。本電文では、1、4、5は使用しない。

0：付加文なし

1：「なお、場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる（改行）

可能性があります」

2：「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要です」

3：「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要です」

4：「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達していることが考えられます」

5：「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます」

n<sub>8</sub>：津波警報・注意報の発表状況に関する付加文を示す。

この情報では、2、3、4、5、6は使用しない。

0：付加文なし

1：「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配（改行）

はありません」（改行）

「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください」

2：「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」（改行）

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれません」（改行）

- 「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください」
- 3: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」（改行）  
「なお、今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません」（改行）  
「ん」（改行）  
「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください」
- 4: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」（改行）  
「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われます」（改行）  
「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください」
- 5: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」（改行）  
「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、海水浴や磯釣り等（改行）  
を行う際は注意して下さい」（改行）  
「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください」
- 6: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」（改行）  
「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われますので、磯釣り等を行う際は注意して下さい」（改行）  
「詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照ください」
- n<sub>9</sub>: 予備

## ⑦ 9999

## コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

■ 各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報の例

ワジヨウ村1キヨウ

10 03 00 93071222300 G11 E0 // 9307122217 180 106 15 050  
 0428 01394 050 78 T TA R110 52 20 9307122220 P11002 00 9307130300  
 9307122240 R111 52 20 9307122220 P11101 20 9307130300 9307122220  
 P11102 20 9307130300 9307122220 R200 52 20 9307122220 P20001 20  
 9307130300 9307122220 R102 51 00 9307122230 P10202 00 9307130300  
 9307122230 R120 51 00 9307122340 P12001 00 9307130300 9307130000 R230  
 51 00 9307122230 P23001 00 9307130300 9307122240 R240 51 00  
 9307122250 P24001 00 9307130300 9307122250 R340 51 00 9307122250  
 P34001 00 9307130330 9307122300 R341 51 00 9307122250 P34101 00  
 9307130330 9307122250 R360 51 00 9307122300 P36002 00 9307130330  
 9307122320 R370 51 00 9307122340 P37001 00 9307130330 9307122340 R500  
 51 00 9307122340 P50001 00 9307130330 9307122350 R520 51 00  
 9307122340 P52001 00 9307130330 9307122350 R540 51 00 9307122350  
 P54001 00 9307130330 9307130000 R550 51 00 9307130000 P55001 00  
 9307130330 9307130010 R551 51 00 9307122340 P55101 00 9307130330  
 9307122340 R700 51 00 9307130050 R101 62 00 9307122240 P10101 00  
 9307130330 9307122250 R202 62 00 9307122310 P20201 00 9307130330  
 9307122310 R201 62 20 9307122220 P20101 00 9307130330 9307122240 R350  
 62 00 9307122310 P35001 00 9307130330 9307122310 R361 62 00  
 9307122330 P36101 00 9307130330 9307122340 R711 62 00 9307130120  
 P71101 00 9307130330 9307130120 R731 62 00 9307130050 P73101 00  
 9307130330 9307130050 T FN 110 52 111 52 200 52 102 51 120 51 230 51  
 240 51 340 51 341 51 360 51 370 51 500 51 520 51 540 51 550 51 551 51  
 700 51 101 62 202 62 201 62 350 62 361 62 711 62 731 62 A1000200010  
 9999

津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報）  
 平成 5年 7月12日 22時23分 気象庁発表

[各地の満潮時刻・津波到達予想時刻]  
 津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要  
 です

各地の満潮時刻・津波到達予想時刻は次のとおりです

予報区名・地点名	満潮時刻	津波到達予想時刻
<b>&lt;大津波&gt;</b>		
北海道日本海沿岸北部		既に津波到達と推測
留萌	13日03時00分頃	12日22時40分
北海道日本海沿岸南部		既に津波到達と推測
寿都	13日03時00分頃	既に津波到達と推測
江差	13日03時00分頃	既に津波到達と推測
青森県日本海沿岸		既に津波到達と推測
深浦	13日03時00分頃	既に津波到達と推測
<b>&lt;津波&gt;</b>		
北海道太平洋沿岸西部		12日22時30分
函館	13日03時00分頃	12日22時30分
オホーツク海沿岸		12日23時40分
網走	13日03時00分頃	13日00時00分
秋田県		12日22時30分
秋田	13日03時00分頃	12日22時40分
山形県		12日22時50分
酒田	13日03時00分頃	12日22時50分
新潟県上中下越		12日22時50分
新潟	13日03時30分頃	12日23時00分
佐渡		12日22時50分
両津市鷺崎	13日03時30分頃	12日22時50分
石川県能登		12日23時00分
輪島	13日03時30分頃	12日23時20分
福井県		12日23時40分
三国町福井	13日03時30分頃	12日23時40分
京都府		12日23時40分
舞鶴	13日03時30分頃	12日23時50分
兵庫県北部		12日23時40分
豊岡市津居山	13日03時30分頃	12日23時50分

(つづく)

(つづき)

鳥取県		12日23時50分
境港市境	13日03時30分頃	13日00時00分
島根県出雲・石見		13日00時00分
浜田	13日03時30分頃	13日00時10分
隠岐		12日23時40分
隠岐西郷	13日03時30分頃	12日23時40分
山口県日本海沿岸		13日00時50分
<津波注意>		
北海道太平洋沿岸中部		12日22時40分
浦河	13日03時30分頃	12日22時50分
陸奥湾		12日23時10分
青森	13日03時30分頃	12日23時10分
青森県太平洋沿岸		既に津波到達と推測
八戸	13日03時30分頃	12日22時40分
富山県		12日23時10分
富山	13日03時30分頃	12日23時10分
石川県加賀		12日23時30分
金沢	13日03時30分頃	12日23時40分
福岡県日本海沿岸		13日01時20分
福岡市博多	13日03時30分頃	13日01時20分
壱岐・対馬		13日00時50分
対馬美津島	13日03時30分頃	13日00時50分

[現在津波警報・注意報を発表している沿岸]

<大津波>

北海道日本海沿岸北部、北海道日本海沿岸南部、青森県日本海沿岸

<津波>

北海道太平洋沿岸西部、オホーツク海沿岸、秋田県、山形県、新潟県上中下越、佐渡、石川県能登、福井県、京都府、兵庫県北部、鳥取県、島根県出雲・石見、隠岐、山口県日本海沿岸

<津波注意>

北海道太平洋沿岸中部、陸奥湾、青森県太平洋沿岸、富山県、石川県加賀、福岡県日本海沿岸、壱岐・対馬

これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません

詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください

[震源、規模]

きょう12日22時17分頃地震がありました

震源地は、北海道南西沖（北緯42.8度、東経139.4度、奥尻島の北北西50km付近）で、震源の深さは50km、地震の規模（マグニチュード）は7.8と推定されます

津波情報2号

=

## 5. 津波観測に関する情報 (aa:11)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee y2y2m2m2d2d2h2h2m2m2 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh  
mm {T OB ...} {T FN ...} Afn1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {} はコードには含まれない。
- ・ {T OB ...} {T FN ...} の部分は以下で説明する。{T FN ...} のコードは付かないことがある。
- ・ 取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 9999] となる。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>                      最初の津波観測の判別

E : 最初に発表する津波観測に関する情報の電文であるか否かを示す部分であることの識別子

e : 最初に発表する津波観測に関する情報の電文であるか否かを示す

0 : 最初に発表する情報である

1 : 以前発表した情報の変更・取り消しである

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> : 津波観測に関する情報の発表時刻

通常 (nn=00 または 01) 時は、e が 0 の時は “//////////” とし、e が 1 の場合は過去最新の津波観測に関する情報の電文 (取り消された電文及び取り消し電文を除く) の発表時刻を示す。取り消し時は、取り消すべき電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

#### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm                      震源要素

yymmddhhmm : 発現時刻 (年月日時分)

kkk : 震央地名コード番号

xxx : 地点のコード番号 (別表 5) を示す

yy : 16 方位

zzz : 距離

ndddd : 震央の緯度 (単位 : 0.1 度、北緯は n=0、南緯は n=1)

ndddd : 震央の経度 (単位 : 0.1 度、東経は n=0、西経は n=1)

hhh : 震源の深さ (単位 : km)。不明の場合は “///”。

mm : マグニチュード (単位 : 0.1)。不明の場合は “//”。

震源要素を示す。ただし、不明あるいは未確定の場合は全て “////////// // // // // // // // // // // // // // // // //” とする。

不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法については、2 - 2 地震関連電文の 4. 項 (地震情報) の項目を参照

④ {T OB yymmeeiinn Pppppp y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> ncccc y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> cccc ...}

注) {}はコードには含まれない。

T OB:各地の検潮所で観測された津波の観測値に関する部分であることを示す識別子。

yyymmeeiinn : いつ時点の観測状況であるかを示す (年月日時分)。

Pppppp : P は地点番号であることを示す識別子。ppppp は検潮所の地点番号 (別紙 4)。

y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> : 第 1 波観測時刻 (年月日時分)

(y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> が//////////の時は、第 1 波の観測値が無いことを示す。この時、以下の ncccc は/////とする。)

ncccc : 初動の向きと高さ

n は初動の向きを示す。判別不能の時は/とする。

0:押し

1:引き

cccc は初動の高さ (cm 単位) を示す。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを 0000 とする。「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合 (ccc/の形) が「以上」、/が先頭に入る場合 (/ccc の形) が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分を L で埋める。/と L を併用することもある。

高さが不明の場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m

10L/:10m 以上

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> 最大波観測時刻 (年月日時分)

(y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> が//////////の時は、現在まで最大波が観測されていないことを示す。この時以下の cccc は////とする。)

cccc:最大波の高さ (cm 単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを 0000 とする。「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合 (ccc/の形) が「以上」、/が頭に入る場合 (/ccc の形) が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分を L で埋める。/と L を併用することもある。

高さが不明の場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m



10L/:10m 以上

⑤ {T FN rrr ff rrr ff ...}

現在の津波警報・注意報の発表状況

注) {}はコードには含まれない。

このコードは、津波警報・注意報の{T FN}と同一構成であり、過去最新の「津波警報・注意報」の内容と一致する。

現在津波警報・注意報が発表されていない場合は、この部分のコードはつかない。

T FN：現在の津波警報・注意報の発表状況に関する部分であることを示す識別子。

rrr：予報区番号を示す

ff：発表された津波警報・注意報の種類を示す。

51:津波の津波警報

52:大津波の津波警報

62:津波注意報

現在の津波警報・注意報の発表状況の漢字かな文への記述については、現在の津波警報・注意報の発表状況{T FN ...}での、各予報区についての津波警報・注意報の種類(ff)の内容により判別を行い、動的表現(総和表現)とする

例)

・津波警報・注意報の発表、切り替え、または一部解除後に発表する津波情報にて、津波警報・注意報の種類(ff)に51、52、62がある場合「津波警報・注意報」となる

この結果、「現在の津波警報・注意報の発表状況」の漢字かな文への記述は、

「[現在津波警報・注意報を発表している沿岸]」

「[現在津波警報を発表している沿岸]」

「[現在津波注意報を発表している沿岸]」

のいずれかとなる

⑥ Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A：付加文を示す識別子

f：付加文の有無を示す。

0:付加文は1つもない

1:付加文が1つ以上ある

n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>：この電文では使用しない。常に000。

n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>：津波警報・注意報に係る付加文(発表状況に関する部分を除く)を示す。

それぞれ以下の番号のいずれかが入る。これらは順不同である。同じ番号の付加文が複数付くことはない。付加文の入る位置は、予報文・各情報文毎に文例にて指定する。本電文では、1、2、3は使用しない。

0:付加文なし

1:「なお、場所によっては津波の高さが「予想される津波の高さ」より高くなる(改

行)

可能性があります」

2: 「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますので一層厳重な警戒が必要です」

3: 「津波と満潮が重なると、津波はより高くなりますのでより十分な注意が必要です」

4: 「場所によっては、検潮所で観測した津波の高さより更に大きな津波が到達していることが考えられます」

5: 「今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます」

n<sub>8</sub>: 津波予報の発表状況に関する付加文を示す。

0: 付加文なし

1: 「これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配(改行)

はありません」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」

2: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれません」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」

3: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)

「なお、今後若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません(改行)

ん」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」

4: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われま

す」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」

5: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われま

すので、海水浴や磯釣り等(改行)

を行う際は注意して下さい」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」

6: 「現在津波警報・注意報を発表している沿岸はありません」(改行)

「なお、今後もしばらく海面変動が続くと思われま

すので、磯釣り等を行う際(改行)

は注意して下さい」(改行)

「詳しくは津波予報(若干の海面変動)を参照ください」

n<sub>9</sub>: 予備

## ⑦ 9999

## コード部の終了

9999: コード部の終了を示す。

■津波観測に関する情報の例

ワジヨウ村1キヨウ

11 03 00 930713003052 G11 E0 // 9307122217 180 106 15 050  
 0428 01394 050 78 T 0B 9307130030 P11102 9307122224 0014L 9307122240  
 150/ P11003 // 9307122239 012L P20102 9307122304 10000  
 // P21090 9307130025 // T FN 110 52  
 111 52 200 52 102 51 120 51 230 51 240 51 340 51 341 51 360 51 370  
 51 500 51 520 51 540 51 550 51 551 51 700 51 101 62 202 62 201 62  
 210 62 350 62 361 62 711 62 731 62 A1000450010 9999

津波情報（津波観測に関する情報）  
 平成 5年 7月13日00時30分 気象庁発表

〔各地の検潮所で観測した津波の観測値〕  
 場所によっては検潮所で観測した津波の高さよりさらに大きな津波が到達していることが考えられます  
 今後、津波の高さは更に高くなることも考えられます  
 13日00時30分現在、検潮所での観測値は次のとおりです  
 江差 第1波 12日22時24分 (+) 1.4m  
 最大波 12日22時40分 15.0m以上  
 小樽 第1波 (第1波識別不能)  
 最大波 12日22時39分 1.2m  
 むつ市関根浜 第1波 12日23時04分 (-) 微弱  
 最大波 (今後最大波到達)  
 岩手釜石沖\* 第1波 13日00時25分 (不明)

〔現在津波警報・注意報を発表している沿岸〕  
 <大津波>  
 北海道日本海沿岸北部、北海道日本海沿岸南部、青森県日本海沿岸  
 <津波>  
 北海道太平洋沿岸西部、オホーツク海沿岸、秋田県、山形県、新潟県上中下越、佐渡、石川県能登、福井県、京都府、兵庫県北部、鳥取県、島根県出雲・石見、隠岐、山口県日本海沿岸  
 <津波注意>  
 北海道太平洋沿岸中部、陸奥湾、青森県太平洋沿岸、岩手県、富山県、石川県加賀、福岡県日本海沿岸、壱岐・対馬  
 これ以外の沿岸でも、若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません  
 詳しくは津波予報（若干の海面変動）を参照してください

〔震源、規模〕  
 きょう12日22時17分頃地震がありました  
 震源地は、北海道南西沖（北緯42.8度、東経139.4度、奥尻島の北北西50km付近）で、震源の深さは50km、地震の規模（マグニチュード）は7.8と推定されます

\*\*\* 〔\*印の沖合のGPS波浪計で観測した津波の観測値〕 \*\*\*  
 （本文中では、沖合での津波の観測値と、沿岸での検潮所による観測値との混同を避けるため、すべて（不明）と表記されます。詳細は以下の通り）

岩手釜石沖\* 第1波 13日00時25分 (+) 0.2m  
 最大波 13日00時28分 0.2m

上記は沖合での観測値であり、沿岸では津波はさらに高くなります

\*\* 〔\*印の沖合のGPS波浪計付近の沿岸で推定される津波の高さ〕 \*\*  
 沿岸での津波到達時刻および津波の高さは以下の通りと推定されます  
 〔津波到達時刻（推定）・津波の高さ（推定）〕

岩手釜石付近 13日00時30分～00時40分 0.5m  
 早いところでは、既に津波が到達していると推定されます

津波情報3号  
 =

## 6. 津波に関するその他の情報 (aa:12)

### ■ コードの構成

aa bb nn y <sub>i</sub> y <sub>i</sub> m <sub>i</sub> m <sub>i</sub> d <sub>i</sub> d <sub>i</sub> h <sub>i</sub> h <sub>i</sub> m <sub>i</sub> m <sub>i</sub> s <sub>i</sub> s <sub>i</sub> Cnf 9999
---

### ■ 各コードの説明

- ① aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf                      基本コード部  
基本コード部。共通事項を参照のこと。
- ② 9999    コード部の終了  
9999 : コード部の終了を示す。

■ 津波に関するその他の情報の例（津波予報の例）

ツナミヨウホク1 抄30

12 03 00 071201102000 C11 9999

津波情報（津波に関するその他の情報）  
平成19年12月1日10時20分 気象庁発表

津波予報（若干の海面変動）をお知らせします  
なお現在、津波注意報を発表している沿岸があります

\*\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*\*  
若干の海面変動が予想される沿岸は次のとおりです

<津波予報（若干の海面変動）>  
山形県、富山県、石川県能登

\*\*\*\*\* 津波注意報の発表状況 \*\*\*\*\*  
現在、津波注意報を発表している沿岸は次のとおりです

<津波注意>  
新潟県上中下越、佐渡

\*\*\*\*\* 震源要素の速報 \*\*\*\*\*  
[震源、規模]

1日10時13分ごろ地震がありました  
震源地は、新潟県上中越沖（北緯37.5度、東経138.6度、新潟の南西60km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は6.6と推定されます

\*\*\*\*\* 解説 \*\*\*\*\*

<津波注意報>  
高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください  
<津波予報（若干の海面変動）>  
若干の海面変動が予想されますが、被害の心配はありません

（補足：平成19年12月1日から、従来の津波注意報（津波注意・津波なし）を、「津波注意報」、「津波予報（若干の海面変動）」、および「津波予報（津波なし）」に区分しています

予想される若干の海面変動の内容については、「津波予報（若干の海面変動）」を発表してお知らせしています）

=

## 7. 津波観測に関する一覧データ (aa:16)

### ■ コードの構成

```
aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf Ee y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1 yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd  
hhh mm {T FO ...} Af1n1n2n3n4n5n6n7n8n9 9999
```

注)

- ・ {}はコードには含まれない。
- ・ {TFO ...}の部分については以下で説明する。
- ・ 取り消し時は、[aa ~ Ee y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> 9999]となる。

### ■ 各コードの説明

#### ① aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

#### ② Ee y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>                      最初の津波到達状況の判別

E:最初に発表する津波観測に関する一覧データの電文であるか否かを示す部分である  
ことの識別子

e:最初に発表する津波観測に関する一覧データの電文であるか否かを示す

0:最初に発表する情報である

1:以前発表した情報の変更・取り消しである

y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>:津波観測に関する一覧データの発表時刻

通常 (nn=00または01) 時は、eが0の時は“////////”とし、eが1の場合は過去最新の津波観測に関する一覧データの電文(取り消された電文及び取り消し電文を除く)の発表時刻を示す。取り消し時は、取り消すべき電文の発表時刻を示す。

過去最新電文での①基本コード部中の発信時刻「y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>」と、ここでの「y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>」が一致する。

#### ③ yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm                      震源要素

yymmddhhmm:発現時刻(年月日時分)

kkk:震央地名コード番号

xxx:地点のコード番号(別表5)を示す

yy:16方位

zzz:距離

nddd:震央の緯度(単位:0.1度、北緯はn=0、南緯はn=1)

ndddd:震央の経度(単位:0.1度、東経はn=0、西経はn=1)

hhh:震源の深さ(単位:km)。不明の場合は“///”。

mm: マグニチュード(単位: 0.1)。不明の場合は“//”。

震源要素を示す。ただし、不明あるいは未確定の場合は全て“//////////”とする。

不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法については、2-2地震関連電文の4.項(地震情報)の項目を参照

#### ④{T F0 (Rrrr y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub> c<sub>1</sub>c<sub>1</sub>c<sub>1</sub>c<sub>1</sub> f<sub>1</sub> (Pppppp y<sub>0</sub>y<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub>d<sub>0</sub>d<sub>0</sub>h<sub>0</sub>h<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub> y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> nc<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub> y<sub>3</sub>y<sub>3</sub>m<sub>3</sub>m<sub>3</sub>d<sub>3</sub>d<sub>3</sub>h<sub>3</sub>h<sub>3</sub>m<sub>3</sub>m<sub>3</sub> c<sub>3</sub>c<sub>3</sub>c<sub>3</sub>c<sub>3</sub> f<sub>2</sub>)<sub>2</sub>)}<sub>1</sub>

注) {} O<sub>1</sub>O<sub>2</sub>はコードには含まれない。O<sub>1</sub>内及びO<sub>2</sub>内は適宜くり返す。

T F0: 到達予想時刻、予測される津波の高さ、各地点で観測された津波の観測値の部分であることを示す識別子。

Rrrr: Rは予報区番号を報ずることを示す識別子。rrrは後ろに続く地点が属する予報区の番号を示す。

y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>: その予報区における津波の到達予想時刻(年月日時分)。不明の場合//////////とする。

c<sub>1</sub>c<sub>1</sub>c<sub>1</sub>c<sub>1</sub>: 予想される津波の高さ(cm単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000とする。「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合(ccc/の形)が「以上」、/が先頭に入る場合(/cccの形)が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100: 1.00m を意味する(.00まで有効)

010L: 1.0m (.0まで有効)

01LL: 1m

10L/: 10m以上

Pppppp: Pは地点番号であることを示す識別子。pppppは地点番号。テーブルは別紙に示す。

y<sub>0</sub>y<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub>d<sub>0</sub>d<sub>0</sub>h<sub>0</sub>h<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub>: 津波の到達予想時刻(年月日時分)。不明の場合//////////とする。

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>: 第1波観測時刻(年月日時分)

(y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>が//////////の時は、第1波の観測値が無いことを示す。この時以下のnc<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>は////とする。)

nc<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>: 初動の向きと高さ

nは初動の向きを示す。判別不能の時は/とする。

0: 押し

1: 引き

c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>c<sub>2</sub>は初動の高さ(cm単位)を示す。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを0000とする。

「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合(ccc/の形)が「以上」、/が先頭に入る場合(/cccの形)が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m

10L/:10m 以上

$y_3y_3m_3m_3d_3d_3h_3h_3m_3m_3$ :最大波観測時刻 (年月日時分)

( $y_3y_3m_3m_3d_3d_3h_3h_3m_3m_3$  が//////////の時は、現在まで最大波が観測されていないことを示す。この時以下の  $c_3c_3c_3c_3$  は////とする。)

$c_3c_3c_3c_3$ :最大波の高さ (cm 単位)。

具体的な数値を示さず、単に微弱であることを示す場合は、このコードを 0000 とする。「以上」「未満」を/を用いて示す。/が末尾に入る場合 (ccc/の形) が「以上」、/が先頭に入る場合 (/cccの形) が「未満」である。

精度がない桁についてはその部分をLで埋める。/とLを併用することもある。

高さが不明の場合はこのコードを////とする。

(凡例)

0100:1.00m (.00 まで有効)

010L:1.0m (.0 まで有効)

01LL:1m

10L/:10m 以上

$f_1, f_2$ : 予報区 ( $f_1$ )、地点 ( $f_2$ ) での津波の観測状況を示す。

0:津波到達を確認

1:すでに津波到達と推測

2:津波は到達していない

3:不明

4:検潮データ障害中 ( $f_2$ でのみ使用する)

5:検潮所がない ( $f_2$ でのみ使用する)

## ⑤Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>n<sub>6</sub>n<sub>7</sub>n<sub>8</sub>n<sub>9</sub>

## 付加文

付加文を意味する。非定型付加文の取扱は従来と同様。

A:付加文を示す識別子

f:付加文の有無を示す。

0:付加文は1つもない

1:付加文が1つ以上ある

$n_1n_2n_3n_4n_5n_6n_7n_8n_9$ :この電文では使用しない。常に 000000000。

## ⑥9999

## コード部の終了

9999:コード部の終了を示す。



## 別表1 津波警報・注意報の{T HD ...}で用いる地域名のコード番号

### 札幌管区气象台

#### ☆予報区

100:北海道太平洋沿岸東部  
 101:北海道太平洋沿岸中部  
 102:北海道太平洋沿岸西部  
 110:北海道日本海沿岸北部  
 111:北海道日本海沿岸南部  
 120:オホーツク海沿岸

#### ☆予報区結合表現

なし

#### ☆領域

191:北海道太平洋沿岸(100,101,102)  
 : ホッカイドウタイヘイヨウエンガン  
 192:北海道日本海沿岸(110,111)  
 : ホッカイドウニホカイエンガン

### 仙台管区气象台

#### ☆予報区

200:青森県日本海沿岸  
 201:青森県太平洋沿岸  
 202:陸奥湾  
 210:岩手県  
 220:宮城県  
 230:秋田県  
 240:山形県  
 250:福島県

#### ☆予報区結合表現

281:青森県(200,201,202): アオモリケン

#### ☆領域

291:東北地方太平洋沿岸(201,210,220,250)  
 : トウホクチホウタイヘイヨウエンガン  
 292:東北地方日本海沿岸(200,202,230,240)  
 : トウホクチホウニホカイエンガン

### 気象庁本庁

#### ☆予報区

300:茨城県  
 310:千葉県九十九里・外房  
 311:千葉県内房

312:東京湾内湾  
 320:伊豆諸島  
 321:小笠原諸島  
 330:相模湾・三浦半島  
 340:新潟県上中下越  
 341:佐渡  
 350:富山県  
 360:石川県能登  
 361:石川県加賀  
 370:福井県  
 380:静岡県  
 390:愛知県外海  
 391:伊勢・三河湾  
 400:三重県南部

#### ☆予報区結合表現

481:千葉県(310,311,312): チバケン  
 482:神奈川県(312,330): カガワケン  
 483:新潟県(340,341): ニガタケン  
 484:石川県(360,361): イカケン  
 485:愛知県(390,391): アイケン  
 486:三重県(391,400): ミヱケン

#### ☆領域

491:関東地方(300,310,311,312, 330)  
 : カントチホウ  
 492:伊豆・小笠原諸島(320,321)  
 : イズカサハラシヨトウ  
 493:北陸地方(340,341,350,360,361,370)  
 : ホクリチホウ  
 494:東海地方(380,390,391,400)  
 : トウカイチホウ

### 大阪管区气象台

#### ☆予報区

500:京都府  
 510:大阪府  
 520:兵庫県北部  
 521:兵庫県瀬戸内海沿岸  
 522:淡路島南部  
 530:和歌山県  
 540:鳥取県  
 550:島根県出雲・石見  
 551:隠岐  
 560:岡山県

570:広島県  
580:徳島県  
590:香川県  
600:愛媛県宇和海沿岸  
601:愛媛県瀬戸内海沿岸  
610:高知県

☆予報区結合表現

681:兵庫県(520,521,522): ヒヨウコケン  
682:島根県(550,551): シマネケン  
683:愛媛県(600,601): エヒメケン

☆領域

691:近畿四国太平洋沿岸(522,530,580,600,610)  
: キンキシヨクタイヘイヨウエンガン  
692:近畿中国日本海沿岸  
(500,520,540,550,551,700)  
: キンキシヨクコクニホカイエンガン  
693:瀬戸内海沿岸(510,521,560,570,590,601,701)  
: セトナカイエンガン

福岡管区气象台

☆予報区

700:山口県日本海沿岸  
701:山口県瀬戸内海沿岸  
710:福岡県瀬戸内海沿岸  
711:福岡県日本海沿岸  
720:佐賀県北部  
730:長崎県西方  
731:壱岐・対馬  
712:有明・八代海  
740:熊本県天草灘沿岸  
750:大分県瀬戸内海沿岸  
751:大分県豊後水道沿岸  
760:宮崎県  
770:鹿児島県東部  
771:種子島・屋久島地方  
772:奄美群島・トカラ列島  
773:鹿児島県西部

☆予報区結合表現

781:山口県(700,701): ヤマガチケン  
782:福岡県(710,711,712): フクオカケン  
783:佐賀県(712,720): サガケン  
784:長崎県(712,730,731): ナガサキケン  
785:熊本県(712,740): クマモトケン  
786:大分県(750,751): オオイタケン  
787:鹿児島県(770,771,772,773): カゴシマケン

☆領域

791:九州地方東部(710,750,751,760,770)  
: キョウシユウチホクトウブ  
792:九州地方西部  
(711, 712,720,730,731, 740,773)  
: キョウシユウチホクセイレ  
793:薩南諸島(771,772): サツナンシヨトウ

沖縄气象台

☆予報区

800:沖縄本島地方  
801:大東島地方  
802:宮古島・八重山地方

☆予報区結合表現

なし

☆領域

891: 沖縄県地方(800,801,802): オキナワケンチホク

## 別表2 津波予報区のコード番号

### 札幌管区気象台

- 100:北海道太平洋沿岸東部: ホッカイトウタイヘイヨウエンガン  
トウブ
- 101:北海道太平洋沿岸中部: ホッカイトウタイヘイヨウエンガン  
チュウブ
- 102:北海道太平洋沿岸西部: ホッカイトウタイヘイヨウエンガン  
セイブ
- 110:北海道日本海沿岸北部: ホッカイトウニホンカイエンガン  
ホク
- 111:北海道日本海沿岸南部: ホッカイトウニホンカイエンガン  
ナンブ
- 120:オホーツク海沿岸: ホーツクカイエンガン

### 仙台管区気象台

- 200:青森県日本海沿岸: アオモリケンニホンカイエンガン
- 201:青森県太平洋沿岸: アオモリケンタイヘイヨウエンガン
- 202:陸奥湾: ムツ湾
- 210:岩手県: イワテケン
- 220:宮城県: ミヤギケン
- 230:秋田県: アキタケン
- 240:山形県: ヤマガタケン
- 250:福島県: フクシマケン

### 気象庁本庁

- 300:茨城県: イバラキケン
- 310:千葉県九十九里・外房: チバケンクヅユウクリトホウ
- 311:千葉県内房: チバケンウチホウ
- 312:東京湾内湾: トウキョウ湾内湾
- 320:伊豆諸島: イズシヨトウ
- 321:小笠原諸島: オガサハラシヨトウ
- 330:相模湾・三浦半島: サガミ湾ミウラハンシウ
- 340:新潟県上中下越: ニガタケンジョウチュウカエツ
- 341:佐渡: サト
- 350:富山県: トヤマケン
- 360:石川県能登: イシカワケンノト
- 361:石川県加賀: イシカワケンカガ
- 370:福井県: フクイケン
- 380:静岡県: シズカケン
- 390:愛知県外海: アイケンソトウミ
- 391:伊勢・三河湾: イセカワ湾
- 400:三重県南部: ミエケンナンブ

### 大阪管区気象台

- 500:京都府: キョウトウ
- 510:大阪府: オオサカケン
- 520:兵庫県北部: ヒョウゴケンホクブ

- 521:兵庫県瀬戸内海沿岸: ヒョウゴケンセトウナイエンガン
- 522:淡路島南部: アワジシマナンブ
- 530:和歌山県: ワカヤマケン
- 540:鳥取県: トトリケン
- 550:島根県出雲・石見: シマネケンイズモイワミ
- 551:隠岐: カシ
- 560:岡山県: オカヤマケン
- 570:広島県: ヒロシマケン
- 580:徳島県: トクシマケン
- 590:香川県: カガワケン
- 600:愛媛県宇和海沿岸: エヒメケンウカイエンガン
- 601:愛媛県瀬戸内海沿岸: エヒメケンセトウナイエンガン
- 610:高知県: コウチケン

### 福岡管区気象台

- 700:山口県日本海沿岸: ヤマぐチケンニホンカイエンガン
- 701:山口県瀬戸内海沿岸: ヤマぐチケンセトウナイエンガン
- 710:福岡県瀬戸内海沿岸: フクオカケンセトウナイエンガン
- 711:福岡県日本海沿岸: フクオカケンニホンカイエンガン
- 712:有明・八代海: アリアケヤツシロカイ
- 720:佐賀県北部: サガケンホクブ
- 730:長崎県西方: ナガサキケンセイブ
- 731:壱岐・対馬: イツシマ
- 740:熊本県天草灘沿岸: クマモトケンアマクサナダエンガン
- 750:大分県瀬戸内海沿岸: オオイトケンセトウナイエンガン
- 751:大分県豊後水道沿岸: オオイトケンブンゴスイトウエンガン
- 760:宮崎県: ミヤザキケン
- 770:鹿児島県東部: カゴシマケントウブ
- 771:種子島・屋久島地方: タネシマヤクシマチホ
- 772:奄美群島・トカラ列島: アマミゲントウカラレツトウ
- 773:鹿児島県西部: カゴシマケンセイブ

### 沖縄気象台

- 800:沖縄本島地方: オキナワホンシマチホ
- 801:大東島地方: オオイトウジマチホ
- 802:宮古島・八重山地方: ミヤコジマヤエヤマチホ

### 別表3 津波警報・注意報の{T HR ...}{T HN ...}で用いる領域のコード番号

(領域名：領域を構成する予報区)

- 191:北海道太平洋沿岸: ホッカイトウハイヨウエンガン  
北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、  
北海道太平洋沿岸西部
- 192:北海道日本海沿岸: ホッカイトウニホカイエンガン  
北海道日本海沿岸北部、北海道日本海沿岸南部
- 193:オホーツク海沿岸: ホーツクカイエンガン  
オホーツク海沿岸

- 291:東北地方太平洋沿岸: トウホクホッカイトウハイヨウエンガン  
青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県
- 292:東北地方日本海沿岸: トウホクホッカイトウニホカイエンガン  
青森県日本海沿岸、陸奥湾、秋田県、山形県

- 491:関東地方: カントチチ  
茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、  
東京湾内湾、相模湾・三浦半島
- 492:伊豆・小笠原諸島: イヅチチオガサハラシマ  
伊豆諸島、小笠原諸島
- 493:北陸地方: ホクリチチ  
新潟県上中下越、佐渡、富山県、石川県能登、  
石川県加賀、福井県
- 494:東海地方: トウカイチチ  
静岡県、愛知県外海、三重県南部、伊勢・三河湾

- 691:近畿四国太平洋沿岸: キンキシヨクタイハイヨウエンガン  
淡路島南部、和歌山県、徳島県、  
愛媛県宇和海沿岸、高知県
- 692:近畿中国日本海沿岸: キンキチヨクニホカイエンガン  
京都府、兵庫県北部、鳥取県、島根県出雲・石見、  
隠岐、山口県日本海沿岸
- 693:瀬戸内海沿岸: セトウチカイエンガン  
大阪府、兵庫県瀬戸内海沿岸、岡山県、広島県  
香川県、愛媛県瀬戸内海沿岸、  
山口県瀬戸内海沿岸

- 791:九州地方東部: キュウシュウチチトウブ  
福岡県瀬戸内海沿岸、大分県瀬戸内海沿岸、  
大分県豊後水道沿岸、宮崎県、鹿児島県東部

- 792:九州地方西部: キュウシュウチチセibu  
福岡県日本海沿岸、佐賀県北部、長崎県西方、  
壱岐・対馬、有明・八代海、熊本県天草灘沿岸、  
鹿児島県西部
- 793:薩南諸島: サツナンシヨトウ  
種子島・屋久島地方、奄美群島・トカラ列島

- 891:沖縄県地方: チュウケンチチ  
沖縄本島地方、大東島地方、宮古島・八重山地方

## 別表4 津波情報で用いる地点のコード番号

津波情報に用いる地点のコード

### 札幌管区気象台管内

予報区	情報発表地点名称	コード	観測点所在地	北緯	東経	備考
北海道太平洋沿岸東部	釧路 クシロ	10001	北海道 釧路市 港町	42°59'	144°22'	○×
	根室市花咲 ネムロシハナサキ	10002	北海道 根室市 花咲港	43°17'	145°34'	○×
	根室港 ネムロウ	10020	北海道 根室市 琴平町	43°21'	145°35'	○×
	浜中町霧多布港 ハマナカチヨウキリタツブコウ	10021	北海道 厚岸郡 浜中町	43°05'	145°07'	○×
北海道太平洋沿岸中部	浦河 ウラカワ	10101	北海道 浦河郡 浦河町	42°10'	142°46'	○×
	十勝港 トカチコウ	10102	北海道 広尾郡 広尾町	42°18'	143°19'	○×
	えりも町庶野 エリモチヨウシヨヤ	10103	北海道 幌泉郡 えりも町	42°03'	143°18'	○×
北海道太平洋沿岸西部	函館 ハコダテ	10202	北海道 函館市 海岸町	41°47'	140°43'	○×
	苫小牧西港 トモコマイニシコウ	10203	北海道 苫小牧市 汐見町	42°38'	141°37'	○×
	福島町吉岡 フクシマチヨウヨシオカ	10204	北海道 福島町	41°27'	140°14'	○
	苫小牧東港 トモコマイヒガシコウ	10221	北海道 勇払郡 厚真町	42°36'	141°49'	○×
	白老港 シラオイコウ	10222	北海道 白老郡 白老町 石山	42°31'	141°19'	○×
	渡島森港 オシマモリコウ	10223	北海道 茅部郡 森町	42°07'	140°36'	○×
	室蘭港 ムロランコウ	10224	北海道 室蘭市 室蘭港	42°21'	140°57'	○×
北海道日本海沿岸北部	稚内 ワッカナイ	11001	北海道 稚内市 新港町	45°24'	141°41'	○×
	留萌 ルモイ	11002	北海道 留萌市 大町	43°57'	141°38'	○×
	小樽 オタル	11003	北海道 小樽市 色内3丁目	43°12'	141°00'	○×
	石狩湾新港 イカリワシコウ	11022	北海道 石狩市 新港東	43°13'	141°18'	○×
	利尻島沓形港 リシリトウケツガタコウ	11023	北海道 利尻郡 利尻町 沓形	45°11'	141°08'	○×
	羽幌港 ハホロコウ	11024	北海道 苫前郡 羽幌町	44°22'	141°42'	○

	小樽市忍路 オトルシヨロ	11030	北海道 小樽市 忍路町	43°13' 140°52'	○×
北海道日本 海沿岸南部	寿都 スツ	11101	北海道 寿都町 寿都港	42°47' 140°16'	○
	江差 エサシ	11102	北海道 檜山郡 江差町	41°52' 140°08'	○×
	瀬棚港 セタナコウ	11121	北海道 久遠郡 せたな町 瀬棚 区 本町	42°27' 139°51'	○×
	岩内港 イワナイコウ	11122	北海道 岩内郡 岩内町	42°59' 140°30'	○×
	奥尻島奥尻港 オクシトウオクシコウ	11123	北海道 奥尻郡 奥尻町	42°10' 139°31'	○×
	奥尻島松江 オクシトウマツエ	11130	北海道 奥尻郡 奥尻町	42°05' 139°29'	○×
オホーツク海 沿岸	網走 アバシリ	12001	北海道 網走市 港町	44°01' 144°17'	○×
	枝幸港 エサシコウ	12003	北海道 枝幸郡 枝幸町 幸町	44°56' 142°35'	○×
	紋別港 モンベツコウ	12020	北海道 紋別市 紋別港	44°21' 143°22'	○×

仙台管区気象台管内

予報区	観測点名称	コード	観測点所在地	北緯 東経	備考
青森県日本 海沿岸	深浦 フクラ	20001	青森県 西津軽郡 深浦町	40°39' 139°56'	○×
	竜飛 タツヒ	20002	青森県 東津軽郡 外ヶ浜町	41°15' 140°23'	○×
	青森深浦沖 アオモリフクラオキ	20090	青森県 深浦市 深浦沖	40°47' 139°56'	×
青森県太平 洋沿岸	むつ市関根浜 ムツシセキネハマ	20102	青森県 むつ市 大字関根	41°22' 141°14'	○×
	むつ小川原港 ムツオガワラコウ	20120	青森県 上北郡 六ヶ所村	40°56' 141°23'	○×
	八戸港 ハチノコウ	20121	青森県 八戸市 鮫町	40°32' 141°33'	○×
	青森八戸沖 アオモリハチノオキ	20190	青森県 八戸市 八戸沖	40°38' 141°45'	×
陸奥湾	青森 アオモリ	20201	青森県 青森市 港町	40°50' 140°46'	○×
	むつ市大湊 ムツシオオミト	20202	青森県 むつ市 大湊港	41°15' 141°09'	○
岩手県	宮古 ミヤコ	21001	岩手県 宮古市 日立浜町	39°39' 141°59'	○×
	大船渡 オオフナト	21002	岩手県 大船渡市 赤崎町	39°01' 141°45'	○×
	釜石 カマシ	21003	岩手県 釜石市 魚河岸町	39°16' 141°53'	○×

	久慈港 クジコウ	21020	岩手県 久慈市 長内町	40°12' 141°48'	○×
	岩手釜石沖 イワテカマイソキ	21090	岩手県 釜石市 釜石沖	39°16' 142°06'	×
	岩手宮古沖 イワテミヤコキ	21091	岩手県 宮古市 宮古沖	39°38' 142°11'	×
	岩手久慈沖 イワテクジソキ	21092	岩手県 久慈市 久慈沖	40°07' 142°04'	×
宮城県	石巻市鮎川 イシノマキシアユカワ	22002	宮城県 石巻市 鮎川町	38°18' 141°30'	○×
	仙台港 センダイコウ	22021	宮城県 仙台市 宮城野区	38°16' 141°01'	○×
	宮城金華山沖 ミヤギキンカサンオキ	22090	宮城県 石巻市 金華山沖	38°14' 141°41'	×
	気仙沼広田湾沖 ケセンヌマヒロタワソキ	22091	宮城県 気仙沼市 気仙沼沖	38°51' 141°54'	×
秋田県	秋田 アキタ	23001	秋田県 秋田市 土崎港西	39°45' 140°04'	○×
	秋田男鹿沖 アキタオガオキ	23090	秋田県 男鹿市 男鹿沖	40°13' 139°40'	×
山形県	酒田 サカタ	24001	山形県 酒田市 大字宮野浦	38°55' 139°49'	○×
	飛島 トビシマ	24030	山形県 酒田市 飛島	39°11' 139°33'	○×
	鶴岡市鼠ヶ関 ツルオカシネスガセキ	24031	山形県 鶴岡市 鼠ヶ関	38°34' 139°33'	○×
	山形酒田沖 ヤマカタサカタオキ	24090	山形県 酒田市 酒田沖	38°58' 139°36'	×
福島県	いわき市小名浜 イワキノナハマ	25002	福島県 いわき市 小名浜	36°56' 140°54'	○×
	相馬 ソウマ	25030	福島県 相馬市 原釜	37°50' 140°58'	○×
	福島小名浜沖 フクシマオナハマオキ	25090	福島県 いわき市 小名浜沖	36°58' 141°11'	×

#### 東京管区気象台管内

予報区	観測点名称	コード	観測点所在地	北緯 東経	備考
茨城県	大洗 オオアライ	30001	茨城県 大洗町 大洗港	36°18' 140°34'	○×
	神栖市鹿島港 カミスシカシマコウ	30020	茨城県 神栖市 居切	35°56' 140°42'	○×
千葉県九十九里・外房	銚子 チヨウシ	31001	千葉県 銚子市 川口町2丁目	35°45' 140°52'	○×
千葉県内房	館山市布良 タテヤマシメラ	31101	千葉県 館山市 布良	34°55' 139°50'	○×
東京湾内湾	東京晴海 トウキョウハルミ	31202	東京都 中央区 晴海5丁目	35°39' 139°46'	○×

	横須賀 ヨコスカ	31204	神奈川県 横須賀市 西逸見町	35°17' 139°39'	○×
	千葉 チバ	31205	千葉県 市原市 五井地先	35°34' 140°03'	○×
	横浜 ヨコハマ	31206	神奈川県 横浜市 中区 新港町	35°27' 139°39'	○×
伊豆諸島	伊豆大島岡田 イズオオシマオカダ	32001	東京都 大島町 岡田	34°47' 139°23'	○×
	三宅島坪田 ミヤケジマツボタ	32002	東京都 三宅島 三宅村 大字坪田	34°03' 139°33'	○×
	八丈島八重根 ハチジョウシマヤエネ	32003	東京都 八丈町 八重根港（八丈島）	33°06' 139°47'	○×
	神津島神津島港 コウヅシマコウヅシマコウ	32004	東京都 神津島 神津島村	34°13' 139°08'	○×
	三宅島阿古 ミヤケジマアコ	32005	東京都 三宅島 三宅村 阿古	34°04' 139°29'	○×
	八丈島神湊 ハチジョウシマカミナト	32006	東京都 八丈島 八丈町 三根	33°08' 139°48'	○×
小笠原諸島	父島二見 チヂジマフタミ	32101	東京都 小笠原村 父島 東町	27°06' 142°12'	○×
	南鳥島 ミナトリシマ	32102	東京都 小笠原村 南鳥島(南鳥島)	24°18' 153°59'	×
相模湾・三浦半島	小田原 オダワラ	33000	神奈川県 小田原市 早川地先	35°14' 139°09'	○×
	三浦市油壺 ミウラシアブラツボ	33030	神奈川県 三浦市 三崎町	35°10' 139°37'	○×
新潟県上中下越	新潟 ニガタ	34001	新潟県 新潟市 中央区 入船町	37°56' 139°04'	○×
	粟島 アワシマ	34003	新潟県 岩船郡 粟島浦村	38°28' 139°15'	○×
	柏崎市鯨波 カシワザキシラナミ	34030	新潟県 柏崎市 鯨波	37°21' 138°31'	○×
佐渡	佐渡市鷲崎 サツシマザキ	34103	新潟県 佐渡市 鷲崎	38°19' 138°31'	○×
富山県	富山 トヤマ	35001	富山県 富山市 草島	36°46' 137°13'	○×
	伏木富山港新湊 フキトヤマコウシンミナト	35021	富山県 射水市	36°47' 137°07'	○×
石川県能登	珠洲市長橋 スズシナガハシ	36001	石川県 珠洲市 長橋町	37°30' 137°09'	○×
	輪島港 ワジマコウ	36020	石川県 輪島市 河井町	37°24' 136°54'	○×
	七尾港 ナノオコウ	36021	石川県 七尾市 府中町 員外	37°03' 136°58'	○×
石川県加賀	金沢 カナザワ	36101	石川県 金沢市 大野町	36°37' 136°36'	○×
福井県	坂井市三国 サカイミクニ	37003	福井県 坂井市	36°15' 136°09'	○



	敦賀港 ツルガコウ	37020	福井県 敦賀市 松栄町	35°40' 136°04'	○×
静岡県	沼津市内浦 ヌマヅシウチウラ	38001	静岡県 沼津市 内浦長浜	35°01' 138°53'	○×
	清水 シミス	38002	静岡県 静岡市 清水区 三保	35°01' 138°31'	○×
	南伊豆町石廊崎 ミナミス <sup>ト</sup> チヨウイロウザキ	38004	静岡県 賀茂郡 南伊豆町	34°37' 138°51'	○×
	御前崎 オマエザキ	38005	静岡県 御前崎市 港	34°37' 138°13'	○×
	舞阪 マイサカ	38006	静岡県 浜松市 西区 舞阪町 舞阪	34°41' 137°37'	○×
	下田港 シモダコウ	38020	静岡県 下田市	34°41' 138°58'	○×
	伊東 イトウ	38030	静岡県 伊東市 富戸	34°54' 139°08'	○×
	西伊豆町田子 ニシイス <sup>ト</sup> チヨウタコ	38031	静岡県 賀茂郡 西伊豆町	34°48' 138°46'	○×
	焼津 ヤイツ	38032	静岡県 焼津市 中港	34°52' 138°20'	○×
	静岡御前崎沖 シス <sup>ト</sup> オカオマエザキオキ	38090	静岡県 御前崎市 御前崎沖	34°24' 138°17'	×
愛知県外海	田原市赤羽根 タハラシアカバネ	39001	愛知県 田原市 池尻町	34°36' 137°11'	○×
伊勢・三河湾	名古屋 ナゴヤ	39101	愛知県 名古屋市 港区 港町	35°05' 136°53'	○×
	半田市衣浦 ハンダシキヌウラ	39102	愛知県 半田市 11号地	34°53' 136°57'	○×
	四日市 ヨッカイチ	39103	三重県 四日市市 千歳町	34°58' 136°38'	○×
	豊橋市三河港 トヨハシミカワコウ	39120	愛知県 豊橋市 神野ふ頭町	34°44' 137°19'	○×
三重県南部	鳥羽 トバ	40001	三重県 鳥羽市 堅神町	34°29' 136°49'	○×
	尾鷲 オウセ	40002	三重県 尾鷲市 大字天満浦	34°05' 136°12'	○×
	熊野市遊木 クマノユキ	40003	三重県 熊野市 遊木町	33°56' 136°10'	○×
	三重尾鷲沖 ミエオウセオキ	40090	三重県 尾鷲市 尾鷲沖	33°54' 136°16'	×

大阪管区気象台管内

予報区	観測点名称	コード	観測点所在地	北緯 東経	備考
京都府	舞鶴 マイヅル	50001	京都府 舞鶴市 大字浜	35°29' 135°23'	○×
大阪府	大阪天保山 オオサカテンポウザン	51001	大阪府 大阪市 港区 築港	34°39' 135°26'	○×

	岬町淡輪 ミサキチョウタンノ	51002	大阪府 泉南郡 岬町	34°20' 135°11'	○×
兵庫県北部	豊岡市津居山 トヨカシツイヤマ	52001	兵庫県 豊岡市 津居山港	35°39' 134°50'	○×
兵庫県瀬戸 内海沿岸	神戸 コウベ	52101	兵庫県 神戸市 中央区 波止場 町	34°41' 135°11'	○×
	姫路 ヒメジ	52102	兵庫県 姫路市 飾磨区	34°47' 134°40'	○×
淡路島南部	洲本 スモト	52202	兵庫県 洲本市 海岸通	34°21' 134°54'	○×
和歌山県	那智勝浦町浦神 ナチカツウラチョウウラカミ	53001	和歌山県 東牟婁郡 那智勝浦 町	33°34' 135°54'	○×
	串本町袋港 クシモトチョウフクロウ	53002	和歌山県 東牟婁郡 串本町	33°29' 135°46'	○×
	和歌山 ワカヤマ	53004	和歌山県 和歌山市 湊青岸	34°13' 135°09'	○×
	御坊市祓井戸 ゴホウシハライト	53006	和歌山県 御坊市 名田町	33°51' 135°10'	○×
	白浜町堅田 シラハマチョウカタ	53007	和歌山県 西牟婁郡 白浜町	33°41' 135°23'	○×
	和歌山白浜沖 ワカヤマシラハマオキ	53090	和歌山県 白浜町 白浜沖	33°39' 135°09'	×
鳥取県	境港市境 サカイナトシカイ	54001	鳥取県 境港市 岬町	35°33' 133°15'	○×
	岩美町田後 イワミチョウタジリ	54030	鳥取県 岩美郡 岩美町	35°36' 134°19'	○×
島根県出雲・ 石見	浜田 ハマダ	55001	島根県 浜田市 大辻町	34°54' 132°04'	○×
隠岐	隠岐西郷 オキサイコウ	55101	島根県 隠岐郡 隠岐の島町	36°12' 133°20'	○×
岡山県	玉野市宇野 タマノウノ	56001	岡山県 玉野市 宇野	34°29' 133°57'	○×
広島県	広島 ヒロシマ	57001	広島県 広島市 南区 宇品海岸	34°21' 132°28'	○×
	呉 ク	57002	広島県 呉市 宝町	34°14' 132°33'	○×
徳島県	小松島 コマツシマ	58001	徳島県 小松島市 小松島町 外 開地先	34°01' 134°35'	○×
	徳島由岐 トクシマユキ	58002	徳島県 海部郡 美波町	33°46' 134°36'	○×
	徳島海陽沖 トクシマカイヨウオキ	58090	徳島県 海陽町 海陽沖	33°28' 134°30'	×
香川県	高松 タカマツ	59001	香川県 高松市 北浜町	34°21' 134°03'	○×
	坂出市与島港 サカイデシヨシマコウ	59020	香川県 坂出市 与島町	34°23' 133°49'	○×
	多度津港 外ツコウ	59022	香川県 仲多度郡 多度津町	34°17' 133°45'	○×

愛媛県宇和海沿岸	宇和島 ウヅマ	60001	愛媛県 宇和島市 住吉3丁目	33°14' 132°33'	○×
愛媛県瀬戸内海沿岸	松山 マツヤマ	60101	愛媛県 松山市 海岸通	33°52' 132°43'	○×
	今治市小島 イマハリシオシマ	60120	愛媛県 今治市 来島	34°08' 132°59'	○×
高知県	室戸市室戸岬 ムロシムロミサキ	61001	高知県 室戸市 室戸岬	33°16' 134°10'	○×
	高知 コウチ	61002	高知県 高知市 浦戸	33°30' 133°34'	○×
	土佐清水 トサミス	61003	高知県 土佐清水市 旭町3丁目	32°47' 132°58'	○×
	須崎港 スサキコウ	61020	高知県 須崎市 浜町	33°23' 133°18'	○×
	高知足摺岬沖 コウチアシスリミサキオキ	61090	高知県 土佐清水市 足摺岬沖	32°38' 133°09'	×

福岡管区気象台管内

予報区	観測点名称	コード	観測点所在地	北緯 東経	備考
山口県日本海沿岸	下関市南風泊港 シモノセキシハエトマリコウ	70021	山口県 下関市 彦島西山町	33°57' 130°53'	○×
山口県瀬戸内海沿岸	下関市彦島弟子待 シモノセキシヒコシマデシマツ	70101	山口県 下関市 彦島弟子待	33°56' 130°56'	○×
	徳山 トクヤマ	70102	山口県 周南市 那智町	34°02' 131°48'	○×
	宇部港 ウベコウ	70120	山口県 宇部市 大字沖宇部	33°56' 131°15'	○×
	三田尻中関港 ミタジリナカノセキコウ	70121	山口県 防府市 大字新田	34°02' 131°35'	○×
	下関港長府 シモノセキコウチョウフ	70122	山口県 下関市 長府港町	34°01' 131°00'	○×
福岡県瀬戸内海沿岸	北九州市門司 キタキウシュウシモジ	71002	福岡県 北九州市 門司区	33°57' 130°57'	○×
	苅田港 カダコウ	71021	福岡県 京都郡 苅田町	33°47' 130°59'	○×
	北九州港青浜 キタキウシュウコウアオハマ	71022	福岡県 北九州市 門司区	33°57' 131°01'	○×
福岡県日本海沿岸	福岡市博多 フクオカシカタ	71101	福岡県 福岡市 東区 東浜	33°37' 130°24'	○×
	北九州港日明 キタキウシュウコウヒアカリ	71120	福岡県 北九州市 小倉北区 西港町	33°55' 130°53'	○×
有明・八代海	大牟田市三池 オオムタミイケ	71201	福岡県 大牟田市 三池港	33°01' 130°25'	○×
	太良町大浦野崎 タラチョウオウラノザキ	71202	佐賀県 藤津郡 太良町	32°59' 130°13'	○×
	三角 ミシミ	71203	熊本県 宇城市 三角町	32°37' 130°27'	○×

	八代港 ヤツシロウ	71220	熊本県 八代市 港町	32°31' 130°34'	○×
	天草市本渡港 アマクサシホトコウ	71221	熊本県 天草市 亀場町 亀川	32°26' 130°13'	○×
	熊本港 クマモトコウ	71222	熊本県 熊本市 沖新町	32°45' 130°34'	○×
佐賀県北部	唐津港 カラツコウ	72020	佐賀県 唐津市	33°28' 129°58'	○×
	玄海町仮屋 ケンカイチョウカリヤ	72030	佐賀県 東松浦郡 玄海町	33°28' 129°51'	○×
長崎県西方	長崎 ナガサキ	73001	長崎県 長崎市 松ヶ枝町	32°44' 129°52'	○×
	口之津 クチヅ	73002	長崎県 南島原市 口之津町 甲 16番地	32°36' 130°12'	○×
	福江島福江港 フクエジマフクエコウ	73003	長崎県 五島市 東浜町	32°42' 128°51'	○×
	佐世保 サセボ	73004	長崎県 佐世保市 干尽町	33°09' 129°43'	○×
	長崎港皇后 ナガサキコウコウゴ	73020	長崎県 長崎市 小瀬戸町	32°43' 129°50'	○×
	平戸市田平港 ヒラトシヒラコウ	73021	長崎県 平戸市 田平町	33°22' 129°35'	○×
壱岐・対馬	対馬比田勝 ツシマヒタカツ	73102	長崎県 対馬市 上対馬町	34°39' 129°29'	○×
	対馬市巖原 ツシマシヅハラ	73110	長崎県 対馬市 巖原町 東里	34°12' 129°18'	○×
	壱岐島郷ノ浦港 イクシマコウノウラコウ	73120	長崎県 壱岐市 郷ノ浦町	33°45' 129°41'	○×
熊本県天草 灘沿岸	苓北町都呂々 レイホクマヅロ	74000	熊本県 天草郡 苓北町 都呂々	32°28' 130°02'	○×
大分県瀬戸 内海沿岸	大分 オオイト	75001	大分県 大分市 三佐	33°16' 131°41'	○×
	別府港 ベツフコウ	75020	大分県 別府市 別府	33°18' 131°30'	○×
大分県豊後 水道沿岸	佐伯市松浦 サイキシマツウラ	75100	大分県 佐伯市 鶴見大字地松 浦	32°57' 131°58'	○×
宮崎県	日向市細島 ヒュウガシホジマ	76001	宮崎県 日向市 細島町	32°27' 131°40'	○×
	日南市油津 ニチナンシアブラツ	76002	宮崎県 日南市 大節	31°35' 131°25'	○×
	宮崎港 ミヤザキコウ	76020	宮崎県 宮崎市 新別府町	31°54' 131°27'	○×
鹿児島県東 部	南大隅町大泊 ミナミオオスミチョウオトマリ	77002	鹿児島県 肝属郡 南大隅町	31°01' 130°41'	○×
	志布志港 シブシコウ	77020	鹿児島県 志布志市 志布志町	31°29' 131°07'	○×
種子島・屋久 島地方	種子島西之表 タネシマニシノオモテ	77102	鹿児島県 西之表市 西之表	30°44' 131°00'	○×

	種子島熊野 タナシマクマノ	77103	鹿児島県 熊毛郡 中種子町 坂井	30°28' 130°58'	○×
奄美群島・トカラ列島	中之島 ナカノシマ	77203	鹿児島県 鹿児島郡 十島村	29°51' 129°51'	○×
	奄美市小湊 アマシヨミナト	77204	鹿児島県 奄美市 名瀬大字小湊	28°19' 129°32'	○×
	奄美市名瀬 アマシナセ	77205	鹿児島県 奄美市 名瀬塩浜町	28°23' 129°30'	○×
鹿児島県西部	枕崎 マクラザキ	77302	鹿児島県 枕崎市 松之尾町	31°16' 130°18'	○×
	鹿児島 カゴシマ	77303	鹿児島県 鹿児島市 本港新町	31°36' 130°34'	○×
	阿久根 アケネ	77330	鹿児島県 阿久根市 波留	32°01' 130°11'	○×

沖縄気象台管内

予報区	観測点名称	コード	観測点所在地	北緯 東経	備考
沖縄本島地方	那覇 ナハ	80001	沖縄県 那覇市 通堂町	26°13' 127°40'	○×
	久米島 クメジマ	80002	沖縄県 久米島町 (久米島)	26°20' 126°45'	○
	南城市安座真 ナンジョウシアザマ	80030	沖縄県 南城市	26°11' 127°49'	○×
大東島地方	南大東漁港 ミナトイウキヨウ	80102	沖縄県 島尻郡 南大東村	25°52' 131°14'	○×
宮古島・八重山地方	西表島 イオモテジマ	80203	沖縄県 竹富町 (西表島)	24°21' 123°45'	○
	与那国島久部良 ヨナグニジマクブラ	80204	沖縄県 八重山郡 与那国町	24°27' 122°57'	○×
	石垣島石垣港 イガキジマイガキコウ	80205	沖縄県 石垣市 八島町	24°20' 124°10'	○×
	宮古島平良 ミヤコジマヒラ	80206	沖縄県 宮古島市 平良西里	24°49' 125°17'	○×

備考欄の○印は津波到達予想時刻を発表する地点、×印は津波の観測値を発表する地点

別表5 津波情報の震源要素で用いる地点のコード番号

地点コード	地点名	緯度・経度	地点コード	地点名	緯度・経度
100	エトロフ島	45° 30' 148° 50'	307	新潟	37° 55' 139° 00'
101	宗谷岬	45° 30' 142° 55'	308	輪島	37° 25' 136° 55'
102	知床岬	44° 20' 145° 20'	309	福井	36° 05' 136° 15'
103	根室半島	43° 25' 145° 50'	500	大阪	34° 41' 135° 30'
104	えりも岬	41° 55' 143° 15'	501	広島	34° 23' 132° 27'
105	積丹半島	43° 20' 140° 20'	502	潮岬	33° 25' 135° 45'
106	奥尻島	42° 10' 139° 30'	503	室戸岬	33° 15' 134° 10'
107	室蘭	42° 19' 140° 59'	504	足摺岬	32° 40' 133° 00'
200	八戸	40° 30' 141° 30'	505	丹後半島	35° 45' 135° 15'
201	宮古	39° 40' 142° 00'	506	松江	35° 30' 133° 05'
202	牡鹿半島	38° 15' 141° 30'	700	宮崎	31° 55' 131° 25'
203	いわき	37° 00' 141° 00'	701	枕崎	31° 15' 130° 20'
204	男鹿半島	40° 00' 139° 40'	702	種子島	30° 45' 131° 00'
205	酒田	38° 55' 139° 50'	703	下関	33° 55' 130° 55'
300	犬吠崎	35° 40' 140° 50'	704	対馬	34° 10' 129° 20'
301	館山	35° 00' 139° 50'	705	長崎	32° 45' 129° 50'
302	八丈島	33° 05' 139° 45'	706	奄美大島	28° 20' 129° 30'
303	父島	27° 05' 142° 10'	800	那覇	26° 15' 127° 40'
304	石廊崎	34° 36' 138° 51'	801	石垣島	24° 20' 124° 10'
305	御前崎	34° 35' 138° 10'	802	南大東島	25° 50' 131° 15'
306	志摩半島	34° 25' 136° 50'			

## 2-2 地震関連電文

### ■ 目次

1. 「付加文」のコード	・・・地震-1
2. 緊急地震速報	・・・地震-3
3. 震度速報	・・・地震-29
4. 地震情報	・・・地震-31
① 震源に関する情報	地震-31
② 震源・震度に関する情報	地震-33
③ その他の情報	地震-37
5. 各地の震度に関する情報	・・・地震-44
別表1 震央地名コード	・・・地震-47
別表1の2 震央地名コード(その2)	地震-52
別表2 地域名称コード	・・・地震-53
別表3 緊急地震速報(警報)で用いる震央地名と地震情報 (緊急地震速報を含む)で用いる震央地名の関係	・・・地震-56
別表4 緊急地震速報(警報)で用いる地域名称	・・・地震-65

### ■ 変更履歴

平成17年11月22日	全面改訂
平成18年10月2日	別表1(震央地名コード)、別表2(地域名称コード)変更 「電文例」、「翻訳例」の内容を修正(市町村合併等を反映)
平成18年10月16日	緊急地震速報追記、別表1の2を追加
平成19年3月1日	4-③その他の情報に追記
平成19年12月1日	気象業務法の一部改正に対応(「津波予報」→「津波警報・注意報」、一般向けの緊急地震速報(警報)を追記) 別表3、別表4を追加
平成20年8月1日	「電文例」を差替え、廃止予定電文の説明を記述
平成20年12月1日	緊急地震速報の電文例の適正化
平成21年4月1日	津波に関する付加文の変更、発表官署名の変更 廃止された電文の説明を削除 「地震の活動状況等に関する情報」の例文を追加
平成22年3月31日	震度速報及び地震回数情報の電文例を適正化 北海道支庁再編に伴い別表1~4を修正
平成23年3月24日	定例の「東海地震に関連する調査情報」の例文追加
平成23年3月31日	「伊豆東部の地震活動に関する情報」の例文追加
平成23年5月12日	区域と名称の変更(山口県、鹿児島県)に伴い別表1~4を修正

平成 24 年 3 月 31 日

緊急地震速報の用語の修正（「一般向け」、「高度利用者向け」の用語の削除）

「震源・震度に関する情報」の発表基準を修正

「緊急地震速報（予報）」の内容を修正（地震識別番号、非常に強い揺れを検知した場合の予報）



## 1. 「付加文」のコード

この付加文コード「Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>」は地震情報、各地の震度に関する情報に付加する。なお、火山情報、津波情報の付加文はここで説明するものとは異なるので、それぞれの箇所

「Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>」

A: A は以下に付加文を報ずることを示す識別符号。

f: 何らかの付加文の有無を示す。0=付加文全くなし、1=何らかの付加文あり

以下にn<sub>1</sub>～n<sub>5</sub>各要素の付加文を説明する。付加文を付ける場合「」内の日本語文とする。

n<sub>1</sub>: 津波の有無に関連した付加文。

0= 付加文なし。

7= 「この地震による津波の心配はありません。」

8= 「日本への津波の有無については現在調査中です。」

9= 「この地震による日本への津波の影響はありません。」

(注) 8番及び9番は遠地地震の情報のみ用いる。ただし遠地地震でも、現地・日本、双方で津波の心配が無い場合は7番を使用する。

n<sub>2</sub>: 震度修正の付加文。

0= 付加文なし。

1= 「震度を訂正する。」

(注) 1を使用する場合のほとんどは震度データが追加され続報を発表した時である。

n<sub>3</sub>: 震源要素訂正の付加文。

0= 付加文なし。

1= 「震源要素を訂正する。」

n<sub>4</sub>: 津波までには至らないが若干の海面変動の有無に関する付加文。

0= 海面変動なし：付加文は付けない。

1= 「この地震により、日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」

n<sub>5</sub>: 日本国内で津波警報・注意報が発表中であるか否かを示す付加文（地域の特定はしない）。

0= 津波警報・注意報を発表していない：付加文は付けない。

1= 「津波警報等（警報あるいは注意報）を発表中です。」

(注1) 付加文が全くない場合も上記電文には必ず「Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>」が付く。

(注2) このコードのn<sub>1</sub>、n<sub>2</sub>、n<sub>3</sub>、n<sub>4</sub>、n<sub>5</sub>で示すことのできない非定型の付加文がある場合は、本文に続けてその内容を示す。

ただし、コード部のみの付加文3等の電文では、非定型の付加文は、コードの

終わりを示す識別子 9999 の後に改行し、改行後に漢字かな文でその内容を記載する。  
一つの付加文の終わりには「(2 バイトの段落記号) を入れる。本文の終わりは「(1 バ  
イトのコール記号) となる。

従って定型以外の付加文がない場合は 9999= のように、9999 の直後に「(1 バイトのイ  
コール記号) がきて終わりとなる。

例えば「これはプログラム試験のための電文です。」「付加文の例です」の非定型付  
加文がある場合のコード部の終わりは以下のようなになる。

ゼンコクサイズ 3 キヨウ

84 03 01 971110124031 C11 9711101230 488 /// // /// 0330 01380 030  
70 EI // BI S6- 106 451 550 702 801 S5+ 540 711 S5- 520 S4 101 580  
S3 800 CI S6- 10600 45125 45174 55016 70200 80100 S5+ 45168 54002  
55000 71105 S5- 52023 55001 A100000 9999

これはプログラム試験のための電文です。付加文の例です」 =

↑    ↑

2 バイトの段落記号                    1 バイトのコール記号

非定型付加文がない場合、コード部の終わりは以下のようなになる。

ゼンコクサイズ 3 キヨウ

84 03 01 971110124031 C11 9711101230 488 /// // /// 0330 01380 030  
70 EI // BI S6- 106 451 550 702 801 S5+ 540 711 S5- 520 S4 101 580  
S3 800 CI S6- 10600 45125 45174 55016 70200 80100 S5+ 45168 54002  
55000 71105 S5- 52023 55001 A000000 9999=

↑

1 バイトのコール記号

(注 3)  $n_1$ 、 $n_2$ 、 $n_3$ 、 $n_4$ 、 $n_5$  で示す定型付加文が付く電文は、原則として、ゼンコクサイズ  
1、ゼンコクサイズ 3、インサイズ 1、インサイズ 3 の震源・震度に関する情報と、チキテンソンド 3  
である。

## 2. 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震発生後に震源付近の観測点のデータをもとに、できる限り早く震源やマグニチュードを推定し、これに基づいた主要動到達予測時刻及び予測震度を提供する地震動の予報及び警報である。その結果、場合によってはS波（主要動）が到達する前に緊急地震速報を配信することが可能である。

緊急地震速報には緊急地震速報（予報）と緊急地震速報（警報）の2種類がある。

緊急地震速報（予報）は、数秒～1分程度の間回数(5～10回程度)発表するものである。第1報は迅速性を優先し、その後、精度は徐々に高まり、ほぼ精度が安定したと考えられる時点で最終報として発表し、その地震に対する緊急地震速報（予報）の提供を終了するものである。

緊急地震速報（警報）は、広く国民に提供するため、迅速性および正確性の両方の観点から最善と思われる時点で発表するものである。なお、緊急地震速報（警報）が発表された場合、緊急地震速報（予報）には、警報が発表されている旨の記述が行われる。

### ①緊急地震速報（予報）

```
「aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf y0y0m0m0d0d0h0h0m0m0s0s0 NDnnnnnnnnnnnnnnnn  
NCNann JDnnnnnnnnnnnnnnnn JNnnn kkk nddd edddd hhh mm ss RN1n2n3n4n5  
RTn1n2n3n4n5 RCn1n2n3n4n5 {EBI [{fff Se1e2e3e4 hhmss y1y2}···]}  
{ECI [{ffffff Se1e2e3e4 hhmss y1y2}···]} {EII [{fffffff Se1e2e3e4 hhmss y1y2}···]}  
9999=」
```

aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf : 共通の基本部参照。

y<sub>0</sub>y<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub>d<sub>0</sub>d<sub>0</sub>h<sub>0</sub>h<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub>s<sub>0</sub>s<sub>0</sub> : 地震発生時刻もしくは地震検知時刻(年、月、日、時、分、秒)

NDnnnnnnnnnnnnnnnn : 緊急地震速報発表対象地震識別番号（緊急地震速報用地震 I D）

ND : 指示符

nnnnnnnnnnnnnnnn : 地震識別番号 (yyyymmddhhmmss : 西暦、月、日、時、分、秒)

NCNann : 緊急地震速報番号

NCN : 指示符

ann :

a : 発表状況（訂正等）の指示

0 : 通常発表時

6 : 情報内容を訂正する。

7 : キャンセルを誤って発表した場合の訂正である。

8 : 訂正事項を盛り込んだ最終の緊急地震速報（予報）である。

9 : 最終の緊急地震速報（予報）である。

/ : 未設定時

nn : 発表する緊急地震速報（予報）の番号（地震単位での通番）

01～99 : 情報番号  
// : 未設定時

JDnnnnnnnnnnnnnnnn : (気象庁の部内システムでの利用)

JNnnnn : (気象庁の部内システムでの利用)

kkk : 震央地名コード (別表1 “震央地名コード表” および別表1の2 “震央地名コード表の2” 参照)  
(/// : キャンセル時)

Nddd Edddd : 震源の緯度経度 (単位 1/10 度)  
N : N 北緯、S 南緯  
E : E 東経、W 西経  
(//// // : キャンセル時)  
※電文種別番号 (基本コード部 “aa”) が “35” の場合は、非常に強い揺れを検知した観測点の緯度経度を表す。

hhh : 震源の深さ (単位 km)  
(/// : 不明・未設定時、キャンセル時)

mm : マグニチュード  
(// : 不明・未設定時、キャンセル時)  
※電文種別番号 (基本コード部 “aa”) が “35” の場合は、“//” とする。

ss : 最大予測震度 (// : 不明・未設定時、キャンセル時)  
震源の深さ (“hhh”) が 150km より深く推定された場合も、“//” とする。  
階級震度とするが、震度 5、6 (強弱) 以外は、上位ゼロ詰めとする。  
震度 : 1 2 3 4 5- 5+ 6- 6+ 7  
表記 : 01 02 03 04 5- 5+ 6- 6+ 07  
※電文種別番号 (基本コード部 “aa”) が “35” の場合は、“5-” に固定する。

RKn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : データの確からしさ

RK : 指示符

n<sub>1</sub> : 震央の確からしさ

- 1... : P波/S波レベル越え、またはテリトリー法 (1点) [気象庁データ]
- 2... : テリトリー法 (2点) [気象庁データ]
- 3... : グリッドサーチ法 (3点/4点) [気象庁データ]
- 4... : グリッドサーチ法 (5点) [気象庁データ]
- 5... : 防災科研システム (4点以下、または精度情報なし)

[防災科学技術研究所データ[以下、防災科研データ]]

6... : 防災科研システム (5 点以上) [防災科研データ]

7... : EPOS (海域 [観測網外]) [気象庁データ]

8... : EPOS (内陸 [観測網内]) [気象庁データ]

9... : 予備

/... : 不明、未設定時、キャンセル時

$n_2$  : 震源の深さの確からしさ

1... : P 波/S 波レベル越え、またはテリトリー法 (1 点) [気象庁データ]

2... : テリトリー法 (2 点) [気象庁データ]

3... : グリッドサーチ法 (3 点/4 点) [気象庁データ]

4... : グリッドサーチ法 (5 点) [気象庁データ]

5... : 防災科研システム (4 点以下、または精度情報なし)

[防災科学技術研究所データ[以下、防災科研データ]]

6... : 防災科研システム (5 点以上) [防災科研データ]

7... : EPOS (海域 [観測網外]) [気象庁データ]

8... : EPOS (内陸 [観測網内]) [気象庁データ]

9... : 予備

/ : 不明、未設定時、キャンセル時

$n_3$  : マグニチュードの確からしさ

1... : 未定義

2... : 防災科研システム [防災科研データ]

3... : 全点 (最大 5 点) P 相 [気象庁データ]

4... : P 相/全相混在 [気象庁データ]

5... : 全点 (最大 5 点) 全相 [気象庁データ]

6... : EPOS [気象庁データ]

7... : 未定義

8... : P 波/S 波レベル越え [気象庁データ]

9... : 予備

/ : 不明、未設定時、キャンセル時

$n_4$  : マグニチュード使用観測点 (※気象庁の部内システムでの利用)

1... : P 波/S 波レベル越え、またはテリトリー法 (1 点) [気象庁データ]

2... : テリトリー法 (2 点) [気象庁データ]

3... : グリッドサーチ法 (3 点) [気象庁データ]

4... : グリッドサーチ法 (4 点) [気象庁データ]

5... : グリッドサーチ法 (5 点) [気象庁データ]

6~9 : 未使用

/... : 不明、未設定時、キャンセル時

$n_5$  : 震源の確からしさ (※気象庁の部内システムでの利用)

1... : P 波/S 波レベル越え、またはテリトリー法 (1 点) [気象庁データ]

2... : テリトリー法 (2 点) [気象庁データ]

- 3... : グリッドサーチ法 (3点/4点) [気象庁データ]
- 4... : グリッドサーチ法 (5点) [気象庁データ]
- 5~9 : 未使用
- / : 不明、未設定時、キャンセル時

補足 : RK の  $n_4n_5$  については、気象庁の部内システムで使用するものであり、事前の予告なしに変更する場合がある。

RT $n_1n_2n_3n_4n_5$  : 地震の発生場所等

RT : 指示符

- $n_1$  : 震央位置の海陸判定
  - 0 : 陸域
  - 1 : 海域
  - 2~9 : 未定義
  - / : 不明、未設定時、キャンセル時
- $n_2$  : 警報発表対象の識別符
  - 0 : 予報
  - 1 : 警報
  - 2~9 : 未定義
  - / : 不明、未設定時、キャンセル時
- $n_3 \sim n_5$  : 予備
  - / : キャンセル時

RC $n_1n_2n_3n_4n_5$  : 最大予測震度の変化

RC : 指示符

- $n_1$  : 最大予測震度の変化
  - 0 : ほとんど変化なし
  - 1 : 最大予測震度が 1.0 以上大きくなった。
  - 2 : 最大予測震度が 1.0 以上小さくなった。
  - 3~9 : 未定義
  - / : 不明、未設定時、キャンセル時
- $n_2$  : 最大予測震度の変化の理由
  - 0 : 変化なし
  - 1 : 主としてMが変化したため(1.0 以上)。
  - 2 : 主として震源位置が変化したため(10.0km 以上)。
  - 3 : M及び震源位置が変化したため(1 と 2 の複合条件)。
  - 4 : 震源の深さが変化したため(上記のいずれにもあてはまらず、30.0km 以上の変化)。
  - 5~9 : 未定義
  - / : 不明、未設定時、キャンセル時

$n_3 \sim n_5$  : 予備  
/ : キャンセル時

EBI [ {fff Se<sub>1</sub>e<sub>2</sub>e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> hhmss y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>} … ] : 最大予測震度と主要動到達予測時刻 (地域単位)  
(キャンセル時、発表パターン1または最大予測震度を発表しない場合は指示符以下省略)

EBI : 推定結果を地域単位で表すことの指示符

fff : 地域コード (別表2 “地域コード表” 参照)

Se<sub>1</sub>e<sub>2</sub>e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> : 最大予測震度 (階級震度)

S : 指示符

e<sub>1</sub>e<sub>2</sub>e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> で発表する最大予測震度の幅を表現する。

① 最大予測震度に幅を持たさない場合

「震度 e<sub>1</sub>e<sub>2</sub> 程度以上」 注) e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> = “//”

② 最大予測震度に幅を持たせる場合

「震度 e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> から e<sub>1</sub>e<sub>2</sub> 程度」 注) e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> < e<sub>1</sub>e<sub>2</sub>

※ e<sub>1</sub>e<sub>2</sub> と e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> の表記

階級震度とするが、震度5、6 (強弱) 以外は、上位ゼロ詰めとする。

震度 : 1 2 3 4 5- 5+ 6- 6+ 7

表記 : 01 02 03 04 5- 5+ 6- 6+ 07

hhmss : 主要動到達予測時刻

///// : 不明または未設定時

y<sub>1</sub> : 各地域の警報の識別符

0 : 予報

1 : 警報

2~9 : 未定義

/ : 不明または未設定時

y<sub>2</sub> : 主要動の到達予測状況

0 : 未到達

1 : 既に到達と予測

2~9 : 未定義

/ : 不明または未設定時

ECI [ {ffffff Se<sub>1</sub>e<sub>2</sub>e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> hhmss y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>} ] … ] : 最大予測震度と主要動到達予測時刻 (市町村単位)  
(キャンセル時、発表パターン1または最大予測震度を発表しない場合は指示符以下省略)

ECI : 推定結果を市町村単位で表すことの指示符

fffff : 市町村コード

EII [{ffffff Se<sub>1</sub>e<sub>2</sub>e<sub>3</sub>e<sub>4</sub> hhmss y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>}...] : 最大予測震度と主要動到達予測時刻(観測点単位)  
(キャンセル時、発表パターン1または最大予測震度を発表しない場合は指示符以下省略)

EII : 推定結果を観測点単位で表すことの指示符

ffffff : 地点コード

9999 : コード部の終了符号

= : 電文の末尾記号 (半角)

※1 “EBI (ECI、EII)” については、最大予測震度が4以上となった地域のみ表現する。

※2 当面は、“EBI” のみを提供し、“ECI” 及び “EII” については提供しない。



## ②緊急地震速報（予報）のコード電文例

### (1) 発表パターン1（最大予測震度のみの緊急地震速報（予報））

```
ナキヤト3 キヨウ  
  
35 03 00 020117093014 C11  
020117093010  
ND20020117093012 NCN001 JD////////////////// JN///  
016 N343 E1384 010 // 5- RK118// RT00000 RC/////   
9999=
```

#### ・解説

35 : 最大予測震度のみの緊急地震速報（予報）  
03 : 本庁  
00 : 通常  
020117093014 : 発表時刻 2002年01月17日09時30分14秒  
C11 : 全電文1通のうち最後  
020117093010 : トリガ時刻 2002年01月17日09時30分10秒  
ND20020117093012 : 緊急地震速報用・地震ID  
NCN001 : 緊急地震速報（予報）番号  
(0) 01番 → (0) : 通常  
JD////////////////// : (部内利用)  
JN/// : (部内利用)  
016 : 震央地名番号 東海地方  
N343 : 北緯34.3度  
E1384 : 東経138.4度  
010 : 深さ10km  
// : マグニチュード 不明  
5- : 最大予測震度 “5-” に固定  
RK118// : 震源精度=P波/S波レベル越え(1)、  
M精度=P波/S波レベル越え(8)  
RT00000 : 地震の発生場所 n<sub>1</sub>=0 : 陸域

(2) 発表パターン2 (M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報 (予報))

```
ナキヤト3 キヨウ  
36 03 00 020117093016 C11  
020117093010  
ND20020117093012 NCN002 JD20020117093012 JN001  
486 N343 E1384 010 55 5- RK224// RT01000 RC00000  
EBI 440 S6-// 093022 10 442 S6-// 093022 10 443 S6-// 093030 10 441  
S6-// 093036 10  
9999=
```

・解説 (抜粋)

- 36 : M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報 (予報)  
5- : 最大予測震度 5弱程度以上  
RK224// : 震源精度=2点処理によるテリトリー報 (2)、  
M精度=P相計算式と全相計算式が混在 (4)  
EBI 442 S6-// 093022 10 : 静岡県中部(地域番号 442)で震度 6弱以上と推定(S6-//)  
主要動到達予測時刻は 09時 30分 22秒頃以降(093022)  
警報対象(1)で未到達(0)

(3) 発表パターン3 (M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報 (予報))

```
ナキヤト3 キヨウ  
37 03 00 020117093020 C11  
020117093010  
ND20020117093010 NCN003 JD20020117093010 JN002  
486 N343 E1384 010 75 6- RK665// RT01000 RC11000  
EBI 442 S6-5- 093022 10 440 S6-04 093022 10 443 S6-04 093030 10 441  
S0503 093036 10  
9999=
```

・解説 (抜粋)

- 37 : M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報 (予報) (確  
度大)  
RC11000 :  $n_1=1$  : 最大予測震度が大きくなった、  
 $n_2=1$  : 主として M が大きくなったため  
EBI 442 S6-5- 093022 10 : 静岡県中部 (地域番号 442) で震度 5弱から 6弱程度と推定  
(S6-5-) 主要動到達予測時刻は 09時 30分 22秒頃以降

(093022) 警報対象(1)で未到達(0)

(4) 緊急地震速報(予報)の訂正報

ナキヤスト3 キョウ

37 03 00 020117093020 C11

020117093010

ND20020117093012 NCN803 JD20020117093012 JN002

486 N343 E1384 010 75 6- RK665// RT01000 RC12000

EBI 442 S6-5- 093022 10 440 S6-04 093022 10 443 S6-04 093030 10 441

S0503 093036 10 9999=

・解説(抜粋)

NCN803 : 緊急地震速報(予報)番号 (8) 03番→(8):訂正(共通)

(5) 緊急地震速報(予報)の最終報

ナキヤスト3 キョウ

37 03 00 020117093511 C11

020117093010

ND2002017093012 NCN904 JD20020117093012 JN002

486 N343 E1384 010 75 6- RK665// RT01000 RC00000

EBI 442 S6-5- 093022 11 440 S6-04 093022 11 443 S6-04 093030 11 441

S0503 093036 11 9999=

・解説(抜粋)

NCN904 : 緊急地震速報(予報)番号 (9) 04番→(9):終了(共通)

EBI 442 S6-5- 093022 01 : 静岡県中部(地域番号442)で震度5弱から6弱程度と推定(S6-5-)

主要動到達予測時刻は09時30分22秒頃以降(093022)

警報対象(1)ですすでに到達と予測(1)

(6) キャンセル (取り消し) 報 (共通)

ナキヤスト3 キヨウ

39 03 10 020117093511 C11 020117093010

ND20020117093012 NCN006 JD////////// JN//

/// N/// E//// /// // // RK///// RT///// RC/////

9999=

・解説 (抜粋)

39 : キャンセル (取り消し) 報 (共通)

10 : 訓練等の識別符=取り消し

/// : 震央地名番号 キャンセル

N/// : 緯度 キャンセル

E/// : 経度 キャンセル

/// : 深さ キャンセル

// : マグニチュード キャンセル

// : 最大予測震度 キャンセル

RK///// : 震源精度 キャンセル、M精度キャンセル

RT///// : 地震の発生場所  $n_1 = /$  キャンセル

RC///// : キャンセル

### ③緊急地震速報（予報）のデコード電文例

#### (1) 発表パターン1（最大予測震度のみの緊急地震速報（予報））

ナキヤズ4 キヨク

35 03 00 020117093014 C11 9999

地震ID : 20020117093012  
平成14年 1月17日09時30分14秒  
気象庁発表

緊急地震速報（予報）（第1報）

17日09時30分10秒頃  
静岡市付近 最大震度5弱程度以上と推定

=

※電文種別番号（基本コード部“aa”）が“35”の場合は、非常に強い揺れを検知した観測点が設置されている市町村名を発表する。

#### (2) 発表パターン2（M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報（予報））

##### 1) 主要動が未到達と予測された場合

ナキヤズ4 キヨク

36 03 00 020117093016 C11 9999

地震ID : 20020117093012  
平成14年 1月17日09時30分16秒  
気象庁発表

緊急地震速報（警報）（第2報）

17日09時30分10秒頃  
駿河湾南方沖 M5.5程度以上の地震発生

<主要動の到達予測>

静岡県中部	震度6弱程度以上	09時30分22秒頃以降
静岡県伊豆	震度6弱程度以上	09時30分22秒頃以降
静岡県西部	震度6弱程度以上	09時30分30秒頃以降
静岡県東部	震度6弱程度以上	09時30分36秒頃以降

<警報対象の地域>

静岡県中部 静岡県伊豆 静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

## 2) 主要動が既に到達と予測された場合

ナキヤト4 キヨウ

36 03 00 020117093036 C11 9999

地震ID : 20020117093012

平成14年 1月17日09時30分36秒

気象庁発表

緊急地震速報（警報）（第2報）

17日09時30分10秒頃

駿河湾南方沖 M5.5程度以上の地震発生

<主要動の到達予測>

愛知県西部 震度5弱程度以上 09時30分37秒頃以降

<主要動が既に到達したと思われる地域>

震度6弱程度以上 静岡県東部、静岡県中部、静岡県西部、静岡県伊豆

<警報対象の地域>

静岡県中部 静岡県伊豆 静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

## (3) 発表パターン3 (M、最大予測震度及び主要動到達予測時刻の緊急地震速報 (予報))

### 1) 主要動が未到達と予測された場合

ナキヤト4 キヨウ

37 03 00 020117093020 C11 9999

地震ID : 20020117093012

平成14年 1月17日09時30分20秒

気象庁発表

緊急地震速報（警報）（第3報）

17日09時30分10秒頃  
駿河湾南方沖 M7.5程度  
北緯34.3度 東経138.4度 深さ10km

<主要動の到達予測>

静岡県中部	震度5弱から6弱程度	09時30分22秒頃以降
静岡県伊豆	震度4から6弱程度	09時30分22秒頃以降
静岡県西部	震度4から6弱程度	09時30分30秒頃以降
静岡県東部	震度3から5強程度	09時30分36秒頃以降

<警報対象の地域>

静岡県中部 静岡県伊豆 静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

2) 主要動が既に到達と予測された場合

ナキヤサ4キヨ

37 03 00 020117093036 C11 9999

地震ID : 20020117093012

平成14 1月17日09時30分36秒

気象庁発表

緊急地震速報(警報)(第3報)

17日09時30分10秒頃  
駿河湾南方沖 M7.5程度  
北緯34.3度 東経138.4度 深さ10km

<主要動の到達予測>

愛知県西部	震度3から5弱程度	09時30分37秒頃以降
-------	-----------	--------------

<主要動が既に到達したと思われる地域>

静岡県中部	震度5弱から6弱程度
静岡県伊豆	震度4から6弱程度
静岡県西部	震度4から6弱程度
静岡県東部	震度3から5強程度

<警報対象の地域>

静岡県中部 静岡県伊豆 静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

(4) 最大予測震度に変化があった場合の情報 (パターン2、3共通)

1) 最大予測震度が大きくなった場合の例

ナキヤト4 キヨウ

37 03 00 020117093020 C11 9999

地震ID : 20020117093012

平成14年 1月17日09時30分20秒

気象庁発表

緊急地震速報 (警報) (第4報)

17日09時30分10秒頃

駿河湾南方沖 M7.5程度

北緯34.3度 東経138.4度 深さ10km

震源位置が変わり、予測される最大震度が大きくなりました。

<主要動の到達予測>

静岡県中部 震度6強程度以上 09時30分22秒頃以降

静岡県伊豆 震度6弱程度以上 09時30分22秒頃以降

静岡県西部 震度6弱程度以上 09時30分30秒頃以降

静岡県東部 震度6弱程度以上 09時30分36秒頃以降

<警報対象の地域>

静岡県中部 静岡県伊豆 静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

注) 最大予測震度が大きくなった主な原因を盛り込む (震源位置の変化、Mの変化、両方の変化等)

2) 予測した最大震度が小さくなった場合の例

ナキヤト4 キヨウ



37 03 00 020117093020 C11 9999

地震ID : 20020117093012

平成14年 1月17日09時30分20秒

気象庁発表

緊急地震速報（警報）（第5報）

17日09時30分10秒頃

駿河湾南方沖 M7.5程度

北緯34.3度 東経138.4度 深さ10km

<主要動の到達予測>

静岡県中部 震度6弱程度以上 09時30分22秒頃以降

静岡県伊豆 震度6弱程度以上 09時30分22秒頃以降

静岡県西部 震度6弱程度以上 09時30分30秒頃以降

静岡県東部 震度6弱程度以上 09時30分36秒頃以降

<警報対象の地域>

静岡県中部 静岡県伊豆 静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

注) 最大予測震度が小さくなったことについては、その原因を含め特に情報に盛り込まない。

(5) 緊急地震速報（予報）の最終報

1) 通常時

カキヤト4キヨ

37 03 00 020117093511 C11 9999

地震ID : 20020117093012

平成14年 1月17日09時35分11秒

気象庁発表

緊急地震速報（警報）（第6報：最終）

この情報をもって

地震ID：20020117093012の緊急地震速報（警報）の  
終了とします。

17日09時30分10秒頃

駿河湾南方沖 M7.5程度

北緯34.3度 東経138.4度 深さ10km

<主要動が既に到達したと思われる地域>

静岡県中部 震度5弱から6弱程度

静岡県伊豆 震度4 から6弱程度

静岡県西部 震度4 から6弱程度

静岡県東部 震度3 から5強程度

愛知県西部 震度3 から4程度

<警報対象の地域>

静岡県中部 静岡県伊豆 静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

2) 当初発表した最大予測震度より最終報での最大予測震度が小さくなった場合

ナキヤト4 キヨウ

37 03 00 020117093036 C11 9999

地震ID : 20020117093012

平成14年 1月17日09時30分36秒

気象庁発表

緊急地震速報(警報)(第6報:最終)

この情報をもって

地震ID:20020117093012の緊急地震速報(警報)の  
終了とします。

17日09時30分10秒頃

駿河湾南方沖 M5.5程度

北緯34.3度 東経138.4度 深さ10km

<主要動が既に到達したと思われる地域>

静岡県東部 震度3 から4程度

愛知県西部 震度3 から4程度

予測した最大震度が小さくなりました。

<警報対象の地域>

静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

(6) キャンセル（取り消し）報

最後に発表した緊急地震速報を取り消す例

ナキヤト 4 キヨウ

39 03 00 020117093511 C11 9999

平成14年 1月17日09時35分11秒

気象庁発表

緊急地震速報（警報）

地震ID：20020117093012の緊急地震速報（警報）は  
取り消します。

=

※ 新たなものが常に更新されたものと位置づけることから、途中の訂正等も反映していることになるので、最後に発表した最新の緊急地震速報を取り消すことで全てを取り消すことになる。

なお、緊急地震速報（予報）の番号は付かない。

(7) 訂正報

直前の内容を念のため訂正とする例

ナキヤト 4 キヨウ

37 03 00 020117093511 C11 9999

地震ID：20020117093012

平成14年 1月17日09時35分11秒

気象庁発表

緊急地震速報（警報）（第7報）最終版

先ほど発表した

地震ID：20020117093012の緊急地震速報（警報）を  
次のとおり、訂正します。

17日09時30分10秒頃  
駿河湾南方沖 M7.5程度  
北緯34.3度 東経138.4度 深さ10km

<主要動が既に到達したと思われる地域>

静岡県東部 震度3 から5強程度

愛知県西部 震度3 から5弱程度

<警報対象の地域>

静岡県西部 静岡県東部

強い揺れに警戒してください。

=

※ 基本的には更新と考えるが、念のため訂正報を準備している。  
なお、緊急地震速報（予報）の番号は1つ繰り上がる。

#### ④緊急地震速報（警報）

```

「aa bb nn y1y1m1m1d1d1h1h1m1m1s1s1 Cnf
y0y0m0m0d0d0h0h0m0m0s0s0
NDnnnnnnnnnnnnnn NCPNnn
cccc nddd edddd hhh
PRCn1n2n3n4n5
CAI {[aaaa]...}
CPI {[pppp]...}
CBI {[bbb]...}
PAI {[aaaa]...}
PPI {[pppp]...}
PBI {[bbb]...}
NCP
NDnnnnnnnnnnnnnn NCNann JDnnnnnnnnnnnnnn JNnnn
kkk nddd edddd hhh mm ss RKn1n2n3n4n5 RTn1n2n3n4n5 RCn1n2n3n4n5
EBI [{fff Se1e2e3e4 hhmss y1y2}...]
9999=」

```

- aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf : 共通の基本部参照。
- y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> : 電文の発表時刻（年（西暦の下2桁）、月、日、時、分、秒）
- Cnf : 電文の通数を表す
- C : 指示符
  - n : 電文がこの電文を含め何通あるか
  - f : コード部が続くかどうか
  - 1 : 終わり 0 : 続く（注：従前の地震情報（別表4のコード表を参照）と同じ）
- y<sub>0</sub>y<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub>d<sub>0</sub>d<sub>0</sub>h<sub>0</sub>h<sub>0</sub>m<sub>0</sub>m<sub>0</sub>s<sub>0</sub>s<sub>0</sub> : 地震発生時刻（年（西暦の下2桁）、月、日、時、分、秒）
- NDnnnnnnnnnnnnnn : 地震識別番号（地震ID）
- ND : 指示符
  - Nnnnnnnnnnnnnnn : （年（西暦）、月、日、時、分、秒）
  - 原則として時刻を元に決定されるが、異なるものとして扱うこと
- NCPNnn : 緊急地震速報（警報）の番号
- NCPN : 指示符
  - nn : 情報番号（01～99）
- cccc : 震央地名コード（別表3のコード表を参照）
- nddd edddd : 震源の緯度・経度（単位 1/10度）
- hhh : 震源の深さ（単位 km）
- PRCn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 強い揺れが推定される地域の追加の有無を表す

PRC : 指示符

$n_1$  : 地方単位(1 : あり 0 : なし / : 未定義・キャンセル時)

※ 第1報は“0”固定

$n_2$  : 都道府県単位(1 : あり 0 : なし / : 未定義・キャンセル時)

※ 第1報は“0”固定

$n_3$  : 地域単位(1 : あり 0 : なし / : 未定義・キャンセル時)

※ 第1報は“0”固定

$n_4$  : 追加の理由

1 : Mが変化

2 : 震源が変化

0 : なし

/ : 未定義・キャンセル時

※ 第1報は“0”固定

$n_5$  : 予備 (/ : 未定義・キャンセル時)

CAI {[aaaa]...} : 新たに追加された強い揺れが推定される地域を表す

CAI : 指示符 (地方単位)

aaaa : 地方名コード (別表4のコード表を参照)

※ 0000 : 追加なし ////:キャンセル時

※ 第1報は“0000”固定

CPI {[pppp]...} : 新たに追加された強い揺れが推定される地域を表す

CPI : 指示符 (都道府県単位)

pppp : 都道府県コード (別表4のコード表を参照)

※ 0000 : 追加なし ////:キャンセル時

※ 第1報は“0000”固定

CBI {[bbb]...} : 新たに追加された強い揺れが推定される地域を表す

CBI : 指示符 (地域単位)

bbb : 地域名コード (別表4のコード表を参照)

※ 000 : 追加なし ///:キャンセル時

※ 第1報は“000”固定

PAI {[aaaa]...} : 強い揺れが推定される地域を表す

PAI : 指示符 (地方単位)

aaaa : 地方名コード (別表4のコード表を参照)

※ ////:キャンセル時

PPI {[pppp]...} : 強い揺れが推定される地域を表す

PPI : 指示符 (都道府県単位)

pppp : 都道府県コード (別表4のコード表を参照)

※ ////:キャンセル時

PBI {[bbb]...} : 強い揺れが推定される地域を表す

PBI : 指示符 (地域単位)

bbb : 地域名コード (別表4のコード表を参照)

※ ///:キャンセル時

- NCP : 指示符 (これ以降のコード部が緊急地震速報 (予報) のコード部であることを表す)
- 9999 : コード部の終了符号
- = : 電文の末尾記号 (半角)

### ⑤緊急地震速報 (警報) のコード電文例

#### (1) 第1報発表時

```
キキユヅ シ 3 キヨ  
47 03 00 061004150000 C11  
061004145930  
ND20061004145955 NCPN01  
9762 N336 E1362 040  
PRC0000/  
CAI 0000  
CPI 0000  
CBI 000  
PAI 9936 9941 9934 9943 9942  
PPI 9240 9300 9180 9210 9220 9230 9250 9260 9270 9280 9290  
9360 9370 9390 9330  
PBI 462 551 550 461 400 401 432 442 443 450 451 460  
500 501 510 511 520 521 531 532 535 540 600 601  
610 630 631 581 611  
NCP  
ND20061004145955 NCN001 JD////////// JN//  
469 N336 E1362 040 69 6- RK33333 RT11/// RCO////  
EBI 462 S6-5+ 150030 10 551 S6-5+ 150030 10 550 S5+5- 150035 10  
461 S5-5- 150035 10 450 S0404 150050 10 451 S0404 150045 10  
511 S0404 150045 10 520 S0404 150045 10 521 S0404 150040 10  
531 S0404 150050 10 535 S0404 150045 10 540 S0404 150030 10  
443 S0404 150050 10 400 S0404 150100 10 432 S0404 150055 10  
460 S0404 150040 10 500 S0404 150055 10 501 S0404 150045 10  
532 S0403 150055 10 600 S0403 150050 10 601 S0403 150050 10  
610 S0403 150055 10 630 S0403 150055 10 401 S0403 150055 10  
442 S0403 150100 10 510 S0403 150055 10 581 S0403 150100 10  
611 S0403 150100 10 631 S0403 150100 10  
9999=
```

(2) 更新報発表時

キンキウジ シン 3 キヨ  
47 03 00 061004150010 C11  
061004145930  
ND20061004145955 NCPN02  
9762 N336 E1362 040  
PRC0111/  
CAI 0000  
CPI 9380  
CBI 431 530 620  
PAI 9936 9941 9934 9943 9942  
PPI 9240 9300 9180 9210 9220 9230 9250 9260 9270 9280 9290  
9360 9370 9390 9330 9380  
PBI 462 551 461 550 450 451 511 520 521 531 535 540 443  
400 432 460 500 501 532 600 601 610 630 401 431 442  
510 530 581 611 620 631  
NCP  
ND20061004145955 NCN002 JD////////// JN//  
469 N336 E1362 040 79 07 RK66444 RT11/// RC11///  
EBI 462 S076+ 150030 10 551 S076+ 150030 10 461 S6+6- 150035 10  
550 S6+6- 150035 10 450 S6-5+ 150050 10 451 S6-5+ 150045 10  
511 S6-5+ 150045 10 520 S6-5+ 150045 10 521 S6-5+ 150040 10  
531 S6-5+ 150050 10 535 S6-5+ 150045 10 540 S6-5+ 150030 10  
443 S5+5+ 150050 10 400 S5+5- 150100 10 432 S5+5- 150055 10  
460 S5+5- 150040 10 500 S5+5- 150055 10 501 S5+5- 150045 10  
532 S5+5- 150055 10 600 S5+5- 150050 10 601 S5+5- 150050 10  
610 S5+5- 150055 10 630 S5+5- 150055 10 401 S5-04 150055 10  
431 S5-04 150100 10 442 S5-04 150100 10 510 S5-04 150055 10  
530 S5-04 150100 10 581 S5-04 150100 10 611 S5-04 150100 10  
620 S0404 150105 10 631 S0404 150100 10  
9999=

(3) キャンセル報発表時

キンキウジ シン 3 キヨ  
48 03 10 061004150300 C11  
061004145930  
ND20061004145955 NCPN02  
9762 N336 E1362 040  
PRC/////



CAI ////  
CPI ////  
CBI ///  
PAI ////  
PPI ////  
PBI ///  
9999=

## ⑥緊急地震速報（警報）のデコード電文例

### (1) 第1報発表時

キキウジツシ 4 キヨ

47 03 00 061004150000 C11

9999

地震ID: 20061004145955  
平成18年10月 4日15時00分00秒  
気象庁発表

緊急地震速報（警報）（第1報）

4日14時59分30秒頃

三重南東沖

北緯33.6度 東経136.2度

強い揺れが推定される地域

<地方単位>

東海 近畿 北陸 四国 中国

<都道府県単位>

三重 和歌山 福井 岐阜 静岡 愛知 滋賀 京都 大阪 兵庫  
奈良 徳島 香川 高知 岡山

<地域単位>

三重県南部 和歌山県南部 和歌山県北部 三重県中部 福井県嶺北  
福井県嶺南 岐阜県美濃中西部 静岡県中部 静岡県西部  
愛知県東部 愛知県西部 三重県北部 滋賀県北部 滋賀県南部  
京都府北部 京都府南部 大阪府北部 大阪府南部 兵庫県南東部  
兵庫県南西部 兵庫県淡路島 奈良県 徳島県北部 徳島県南部  
香川県東部 高知県東部 高知県中部 岡山県南部 香川県西部

強い揺れに警戒してください。

(2) 更新報発表時

キキウジシ 4 秒

47 03 00 061004150010 C11

9999

地震ID: 20061004145955  
平成18年10月 4日15時00分10秒  
気象庁発表

緊急地震速報 (警報) (第2報)

4日14時59分30秒頃

三重南東沖

北緯33.6度 東経136.2度

<地方単位>

追加となる地方なし

<都道府県単位>

愛媛

<地域単位>

岐阜県美濃東部 兵庫県北部 愛媛県東予

\*\*\*\*\*

強い揺れが推定される地域

<地方単位>

東海 近畿 北陸 四国 中国

<都道府県単位>

三重 和歌山 愛知 京都 大阪 兵庫 奈良 静岡 福井 岐阜  
滋賀 徳島 香川 高知 岡山 愛媛

<地域単位>

三重県南部 和歌山県南部 三重県中部 和歌山県北部 愛知県東部  
愛知県西部 京都府南部 大阪府北部 大阪府南部 兵庫県南東部  
兵庫県淡路島 奈良県 静岡県西部 福井県嶺北 岐阜県美濃中西部  
三重県北部 滋賀県北部 滋賀県南部 兵庫県南西部 徳島県北部

徳島県南部 香川県東部 高知県東部 福井県嶺南 岐阜県美濃東部  
静岡県中部 京都府北部 兵庫県北部 岡山県南部 香川県西部  
愛媛県東予 高知県中部

強い揺れに警戒してください。

=

### (3) キャンセル報発表時

キキウジツ 4 秒ヨ

48 03 10 061004150300 C11

9999

地震ID：20061004145955  
平成18年10月 4日15時03分00秒  
気象庁発表

緊急地震速報（警報）

4日14時59分30秒頃に三重南東沖で地震が発生したと報じた緊急地震速報（警報）を取り消します。

=

## ⑦その他の緊急地震速報関連電文の例：テスト電文

### (1) 概要

受信ユーザ側のシステム動作確認のために、定時または臨時に発信するテスト電文である。

なお、定時発信について、「ナキヤストテスト1」は1日3回(08時、16時、24時)、「ナキヤストテスト91」は1日24回(毎正時)発信する。

また、下記の“電文内容”及び“電文例”は定時配信の例であり、臨時に配信する場合の内容は不定である。

### (2) 電文内容（定時配信の例）

- ① データ種類コード＝ナキヤストテスト1 またはナキヤストテスト91
- ② 電文形態＝コード＋漢字かな
- ③ コード部＝基本コード部のみ。

{aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>m</sub>m<sub>d</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>m</sub>m<sub>s</sub>s<sub>i</sub> Cnf 9999}

aa：電文種別コード =38：テスト電文用（データ種別コード＝ナキヤストテスト1及びナキヤストテスト91の場合に限る）

bb：発信官署 =03：東京

nn : 訓練等の識別符 =20 : テスト  
y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> = 電文の発表時刻(年 ; 2桁、月、日、時、分、秒)  
Cnf : 電文の通数 (注) 従前の地震情報と同じ  
9999 : 終了符号  
= : 末尾記号 (半角)

(3) 電文例 (定時配信の例)

ナキヤスト1 キヨ

38 03 20 030313080000 C11 9999

緊急地震速報のテスト電文です。

2003年03月13日08時00分00秒

気象庁=

### 3. 震度速報

震度3以上の地震が発生した時、その揺れの強さ（震度）を地域名で地震発生後速やかに発表する。迅速化が必要なため自動処理を採用している。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm BI See fff … See fff … 9999」

aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf : 共通の基本部参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。

BI : 地域震度を報ずることを示す識別符号。

See (Se) : 震度を示す。階級の大きな順番で示す。S は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fff : 地域番号（別表2のコード表を参照）

9999 : コード行の終わりを示す。

取り消し報の場合は「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf」のみでnnは10となる。

#### 電文例

シド'ツ村3 材カ

```
53 04 00 091004222520 C11 0910042223 BI S6- 161 S5+ 160 166 167 S5-
140 141 152 155 156 157 165 S4 105 126 140 141 146 S3 101 110 116
119 121 125 142 9999=
```

#### コード翻訳情報

#### 翻訳例

##### 震度速報

平成21年10月 4日22時25分 気象庁発表

4日22時23分頃、地震による強い揺れを感じました。

現在、震度3以上が観測されている地域は次のとおりです。

震度6弱 釧路地方中南部

震度5強 釧路地方北部 根室地方中部 根室地方南部

震度5弱 網走地方 北見地方 日高地方東部 十勝地方北部

十勝地方中部 十勝地方南部 根室地方北部

震度4 渡島地方北部 上川地方中部 胆振地方中東部

震度3 石狩地方中部 檜山地方 後志地方東部 北海道奥尻島

空知地方中部 上川地方北部 紋別地方

今後の情報に注意して下さい。＝

(注) 震度速報は、コード部のみから構成されており、コードを「漢字かな」に変換する処理が必要である。

取り消し報は次の形式とする。

電文例

シド'ウ'ウ'ウ'ウ' 3 材'カ

53 04 10 090712222100 C11 9999＝

本電文を受信した場合には、取り消し報を発信した直前の震度速報を取り消すこと。

#### 4. 地震情報

地震情報は、震度3以上の地震発生時に震度速報の後にその内容を更に詳しく報ずる「震源に関する情報」、「震源・震度に関する情報」や、必要な情報を自由文で発表する「その他の情報」（一例として大地震後の余震活動や群発地震の状況を地震回数の情報）がある。

なお、「震源・震度に関する情報」は、震度2以下であっても津波警報・注意報を発表したような地震や、津波による被害の心配はないが若干の海面変動が予想される地震、緊急地震速報（警報）を発表した地震、外国で発生したM7.0以上または都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で発生した規模の大きな地震についても発表している。

##### ① 震源に関する情報

震度3以上の地震発生時（震度速報発表時）で、津波警報・注意報を発表しない時に、地震の震源要素に「この地震による津波の心配はありません。」あるいは「この地震により、日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。」の付加文を付けて発表する。

「aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>d<sub>1</sub>d<sub>2</sub>h<sub>1</sub>h<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>s<sub>1</sub>s<sub>2</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd  
ndddd hhh mm EI dd Af n<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>d<sub>1</sub>d<sub>2</sub>h<sub>1</sub>h<sub>2</sub>m<sub>1</sub>m<sub>2</sub>s<sub>1</sub>s<sub>2</sub> Cnf : コードの共通項目参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。

kkk : 震央地名コード番号。（別表1のコード表を参照）

xxx yy zzz : 「〇〇の△△◎◎◎km 付近」の表現 xxx は地点のコード番号（2-1 津波関連電文参照）、yy は16方位、zzz は距離（単位10km、一の位は四捨五入）、発表しない時は「/// // ///」。

yy の16方位は次のとおり。

01:北北東	02:北東	03:東北東	04:東	05:東南東	06:南東
07:南南東	08:南	09:南南西	10:南西	11:西南西	12:西
13:西北西	14:北西	15:北北西	16:北		

nddd ndddd : 震源の緯度、経度（単位 度 1/10まで表示）、北緯、東経の場合はn=0  
西経、南緯の場合はn=1。

hhh : 震源の深さ（単位 km）。不明の場合///、600km以上の場合999

hhh が000の場合には、「震源の深さは約0km」とは表記せず、「震源の深さは、ごく浅い」と表記する。

mm : マグニチュード。不明の場合//

\*\*\*\* 不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法（全ての情報同一） \*\*\*\*

・震源が詳細不明の場合は「nddd ndddd hhh mm」は「//// // /// //」とし、「震源地は、〇〇〇（詳細不明）」と表記する。（注）

・深さだけが不明の場合は「0434 01477 /// 78」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯

43.4度、東経147.7度)で、地震の規模(マグニチュード)は7.8と推定されます。」と表記する。

・マグニチュードだけが不明の場合は「0434 01477 010 //」とし、「震源地は、北海道東方沖(北緯43.4度、東経147.7度)で、震源の深さは約10kmと推定されます。」と表記する。

・深さ及びマグニチュードが不明の場合は、「0434 01477 /// ///」とし、「震源地は、北海道東方沖(北緯43.4度、東経147.7度)と推定されます。」と表記する。

(注) ○○○にはコードのkkkに対応する震央地名が入る。

ただし、震源の詳細不明は観測網整備に伴い、現在では運用上原則として発表しないことにしている。

EI : 予備データの識別符号

dd : 予備データ (//或いは数字 ; 使用しないで下さい)

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 付加文の有無を表すコード。

9999 : コード行の終わりを示す。

#### 電文例

シゲソク村1 材サ

89 04 00 080324124356 C11 0803241240 289 /// // /// 0371 01415 040

53 EI // A170000 9999

地震情報(震源に関する情報)

平成20年 3月24日12時43分 気象庁発表

きょう24日12時40分ころ地震がありました。

震源地は、福島県沖(北緯37.1度、東経141.5度)で、震源の深さは約40km、地震の規模(マグニチュード)は5.3と推定されます。

この地震による津波の心配はありません。

=

#### 電文例

シゲソク村1 キヨウ

89 03 00 080315074157 C11 0803150732 911 /// // /// 0273 01432 000

63 EI // A100010 9999

地震情報(震源に関する情報)



平成20年 3月15日 7時41分 気象庁発表

きょう15日07時32分ころ地震がありました。

震源地は、父島近海（北緯27.3度、東経143.2度）で、震源の深さは、「ごく浅い」、地震の規模（マグニチュード）は6.3と推定されます。

この地震により、日本の沿岸では若干の海面変動があるかもしれませんが、被害の心配はありません。

=

## ②震源・震度に関する情報

震度3以上の地震発生時、あるいはそれ以外でも津波警報・注意報発表時、若干の海面変動が予想される場合、緊急地震速報（警報）を発表した地震、外国で発生したM7.0以上または都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で発生した規模の大きな地震について発表する。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd  
ndddd hhh mm EI dd BI See fff ·· See fff ·· CI See fffff ···· See  
ffffff ···· LCI See fffff ······ Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf : コードの共通項目参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。ただし外国の地震（94=エンサイモ XX）については発生時刻（年月日時分）とする。

kkk : 震央地名コード番号。（別表1のコード表を参照）

xxx yy zzz : 「○○の△△◎◎◎km 付近」の表現 xxx は地点のコード番号（2-1 津波関連電文参照）、yy は16方位、zzz は距離（単位10km、一の位は四捨五入）、発表しない時は「/// // ///」。

yy の16方位は次のとおり。

01:北北東	02:北東	03:東北東	04:東	05:東南東	06:南東
07:南南東	08:南	09:南南西	10:南西	11:西南西	12:西
13:西北西	14:北西	15:北北西	16:北		

ndddd nddd : 震源の緯度、経度（単位 度 1/10まで表示）、北緯、東経の場合はn=0  
西経、南緯の場合はn=1。

hhh : 震源の深さ（単位 km）。不明の場合///、600km以上の場合999

hhh が000の場合には、「震源の深さは約0km」とは表記せず、「震源の深さは、ごく浅い」と表記する。

mm : マグニチュード。不明の場合//

\*\*\*\* 不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法（全ての情報同一） \*\*\*\*

- ・震源が詳細不明の場合は「**nddd ndddd hhh mm**」は「**//// ///// /// //**」とし、「震源地は、○○○（詳細不明）。」と表記する。（注）
  - ・深さだけが不明の場合は「**0434 01477 /// 78**」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、地震の規模（マグニチュード）は7.8と推定されます。」と表記する。
  - ・マグニチュードだけが不明の場合は「**0434 01477 010 //**」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10kmと推定されます。」と表記する。
  - ・深さ及びマグニチュードが不明の場合は、「**0434 01477 /// ///**」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）と推定されます。」と表記する。
- （注）○○○にはコードのkkkに対応する震央地名が入る。

ただし、震源の詳細不明は観測網整備に伴い、現在では運用上原則として発表しないことにしている。

**EI**：予備データの識別符号

**dd**：予備データ（/或いは数字；使用しないで下さい）

**BI**：地域震度を報ずることを示す識別符号。

**See (Se)**：震度を示す。階級の大きな順番で示す。**S**は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強（5-、5+、6-、6+）は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

**fff**：地域番号（別表2のコード表を参照）

**CI**：市町村震度を報ずることを示す識別符号。

大きな揺れが観測された市町村名を当面次の基準で発表する。

その地震による最大震度	発表する市町村名
「震度6弱」以上	「震度5弱」以上を観測
「震度5強」又は「震度5弱」	「震度4」以上を観測
「震度4」又は「震度3」	「震度3」以上を観測

（注）なお、この市町村名の発表基準を変更した場合にも対応できるように、コード部では、識別符号**CI**の後に**See**で震度階級を示している。

**See (Se)**：震度を示す。階級の大きな順番で示す。**S**は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強（5-、5+、6-、6+）は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fffff : 市町村番号 (5桁)、上3桁が地域を表す。

LCI : LCI は未入電の市町村震度を報ずることを示す識別符号。

震度〇〇以上と考えられるが現在震度を入手していない市町村を報ずる。

該当する未入電の市町村震度がない場合は、識別符号 LCI を含め「LCI See fffff……」は省略する。

See (Se) : S は震度階級を報ずることを示す識別符号、その後に〇〇の震度階級を報ずる。5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁とする。当面は下限の震度階級〇〇は5弱とするので、S5-となる。

1つの市町村地域に複数の観測点がある場合、その中の1地点でも震度5弱以上が観測されていればその市町村は欠測対象とはしない。しかし逆に震度4以下が観測されている場合には、大きな揺れが観測された市町村震度と欠測の市町村震度が同時に発表されることがある。

fffff : 市町村番号 (5桁)、上3桁が地域を表す。

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 付加文の有無を表すコード。

9999 : コード行の終わりを示す。

(注) ・国内で発生した地震に伴う震源・震度の情報のヘッダーは「ゼンコサイE1」。

・外国で発生した地震に伴う震源・震度の情報のヘッダーは「エンサイE1」とする。

・エンサイE1のフォーマットはゼンコサイE1と同一である。

・遠地地震で有感地震でない場合には震度の実況を報じる群を除いて、

「aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm EI // Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」とする。

#### 電文例

ゼンコサイE1 キヨ

```
84 03 00 070716101937 C11 0707161013 379 307 10 060 0375 01386 010
66 EI // BI S6+ 371 420 S5+ 370 S5- 372 390 S4 242 243 252 311 320
321 330 331 375 421 S3 220 221 222 240 241 250 251 300 301 310 340
341 342 350 351 360 361 380 381 391 411 412 422 430 431 432 440 441
442 443 451 CI S6+ 37102 37135 42033 S6- 37103 37116 S5+ 37002
37100 37101 37105 37138 42002 42004 42023 S5- 37253 39001 39002
39021 42000 LCI S5- 37104 37106 37119 37137 37204 37223 A100001
9999
```

地震情報 (震源・震度に関する情報)

平成19年7月16日10時19分 気象庁発表

きょう16日10時13分ごろ地震がありました。

震源地は、新潟県上中越沖（北緯37.5度、東経138.6度、新潟の南西60km付近）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は6.6と推定されます。

〔震度3以上が観測された地域〕

震度6強 新潟県中越 長野県北部

震度5強 新潟県上越

震度5弱 新潟県下越 石川県能登

震度4 山形県村山 山形県置賜 福島県会津 栃木県南部

群馬県北部 群馬県南部 埼玉県北部 埼玉県南部

新潟県佐渡 長野県中部

震度3 宮城県北部 宮城県南部 宮城県中部 山形県庄内

山形県最上 福島県中通り 福島県浜通り 茨城県北部

茨城県南部 栃木県北部 千葉県北東部 千葉県北西部

千葉県南部 東京都23区 東京都多摩東部 神奈川県東部

神奈川県西部 富山県東部 富山県西部 石川県加賀

山梨県中・西部 山梨県東部・富士五湖 長野県南部

岐阜県飛騨 岐阜県美濃東部 岐阜県美濃中西部 静岡県伊豆

静岡県東部 静岡県中部 静岡県西部 愛知県西部

〔震度5弱以上が観測された市町村〕

震度6強 柏崎市 刈羽村 飯綱町

震度6弱 小千谷市 出雲崎町

震度5強 上越市 長岡市 三条市 十日町市 南魚沼市 中野市

飯山市 信濃町

震度5弱 新潟西蒲区 輪島市 珠洲市 能登町 長野市

〔震度5弱以上と考えられるが現在震度を入手していない市町村〕

加茂市 見附市 川口町 魚沼市 燕市 弥彦村

津波警報等（警報あるいは注意報）を発表中です。

この地震について、緊急地震速報を発表しています。

情報第1号=

①  
※

①付加文コードAfn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>のn<sub>5</sub>が「1」となっていることに対応した付加文。  
津波警報・注意報が発表中の場合に記述。

※ は付加文対応していない本文のみに入る付加文

## 電文例

エンチサイメモ キヨウ

94 03 00 000619124000 C11 0006191215 955 /// // /// 1029 01418 030 74  
EI // A180000 9999

地震情報（震源・震度に関する情報）

平成12年 6月19日12時40分 気象庁発表

きょう19日12時15分ころ地震がありました。

震源地は、ニューギニア付近（南緯2.9度、東経141.8度）で、震源の深さは約30km、地震の規模（マグニチュード）は7.4と推定されます。

日本への津波の有無については現在調査中です。

震源の近傍で津波発生可能性があります。

情報第1号=

①  
※

①付加文コードAfn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>のn<sub>1</sub>が「8」となっていることに対応した付加文。

※ は付加文対応していない本文のみに入る付加文

### 電文例

インサイズE1 キヨウ

94 03 00 041226102500 C11 0412260959 953 /// // /// 1034 00957 030 80  
EI // A190000 9999

地震情報（震源・震度に関する情報）

平成16年12月26日10時25分 気象庁発表

きょう26日09時59分ころ地震がありました。

震源地は、インドネシア付近（北緯3.4度、東経95.7度）で、震源の深さは約30km、地震の規模（マグニチュード）は8.0と推定されます。

この地震による日本への津波の影響はありません。

詳しい震源の位置はスマトラ島北部の西方沖です。

インド洋の広域に津波発生可能性があります。

気象庁では26日10時18分にインド洋津波監視情報を発表しています。

情報第1号=

①  
※  
※  
※

①付加文コードAfn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub>のn<sub>1</sub>が「9」となっていることに対応した付加文。

※ は付加文対応していない本文のみに入る付加文

### ③その他の情報

群発地震発生時の地震回数の情報や顕著な地震の震源要素更新のお知らせ、地震の活動状況等に関する情報などのほか、東海地震に関連する調査情報の定例発表時、伊豆東部の地震活動に関する情報の発表時にも用いる。情報の内容は自由文を解読する必要がある。

「aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>s<sub>2</sub>s<sub>2</sub> kkk  
Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn y<sub>1</sub>y<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>h<sub>1</sub>h<sub>1</sub>m<sub>1</sub>m<sub>1</sub>s<sub>1</sub>s<sub>1</sub> Cnf : コードの共通項目参照。

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 付加文の有無を表すコード。自由文の情報のため付加文は常に有り (f=1) となる。

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>s<sub>2</sub>s<sub>2</sub> : 代表する地震の識別 (発信) 時刻 [年月時分秒]

(注) その他の情報を発表する事になった、代表的な地震について報じた情報の発信時刻とする。該当する地震が無い場合は、////////// (全て「/」) または、任意の時刻とする。//////////で発表した場合、関連して発表する後続の「その他の情報」については、この電文の発信時刻を使用する。通常は、地震発生後最初に報じられる「震源・震度に関する情報」の発信時刻、該当する「震源・震度に関する情報」が無い場合は、「各地の震度に関する情報」の発信時刻とする。

kkk : 震央地名コード番号。(別表1のコード表を参照)

(注) その他の情報を発表する事になった、代表的な地震の震央地名コード番号を入力する。これにより、関係する地域の利用者にも、この情報を伝達する制御を行うことができる。なお、この制御を行わない場合は「///」を用いる。

9999 : コード行の終わりを示す。

## 電文例

ゼンコカイヌ1 キヨウ

87 03 00 091218051115 C11 091218021633 481 A100000 9999

地震情報 (地震回数に関する情報)

平成21年12月18日05時11分 気象庁発表

伊豆半島東方沖の地震による時間別有感地震回数は次のとおりです。

12月17日

震度5弱 : 1回、震度4 : 0回、

震度3 : 2回、震度2 : 6回、震度1 : 33回

12月18日

00時から01時 有感回数 11回 震度3：1回 震度2：1回  
震度1：9回

01時から02時 有感回数 4回 震度2：1回 震度1：3回

02時から03時 有感回数 7回 震度3：1回 震度1：6回

03時から04時 有感回数 5回 震度3：1回 震度2：1回  
震度1：3回

04時から05時 有感回数 3回 震度2：2回 震度1：1回

なお、この付近で発生した地震については、震度3以上の場合は従来通り「震源・震度に関する情報」及び「各地の震度に関する情報」で発表しますが、震度2以下の場合は、「地震回数に関する情報」（本情報）で地震回数をまとめて発表します。

次の「地震回数に関する情報」は06時頃に発表します。情報第6号

## 電文例

ゼンコカサズ1 キヨウ

87 03 00 080508105400 C11 080508014923 /// A100000 9999

地震情報（顕著な地震の震源要素更新のお知らせ）

平成20年 5月 8日10時54分 気象庁発表

平成20年 5月 8日10時45分をもって、地震の発生場所と規模を以下のとおりとします。

平成20年 5月 8日01時45分 茨城県沖の地震

北緯 36度13.7分 （北緯 36.2度）

東経 141度36.5分 （東経 141.6度）

深さ 51km （深さ 50km）

規模（マグニチュード） 7.0

※括弧内の値は、津波情報等を引き続き発表する場合に使用されます。

=

ゼンコカイイモ1 キヨク

87 03 00 080911103000 C11 080911092631 /// A100000 9999

地震情報（地震の活動状況等に関する情報）

平成20年9月11日10時30分 気象庁発表

2008年9月11日09時21分頃に十勝沖で発生した地震について、  
11日10時20分現在の概要を以下のとおりお知らせします。

\*\*\* 地震の概要 \*\*\*

発生日時：9月11日09時21分頃

マグニチュード：7. 1

場所および深さ：十勝沖（えりも岬の東南東、約110km付近）、深さ3  
1km

\*\*\* 震度の観測状況 \*\*\*

【最大震度5弱】北海道新冠町（ニイカップチョウ）、新ひだか町（シンヒ  
ダカチョウ）、浦幌町（ウラホロチョウ）、大樹町（タイキチョウ）で震度  
5弱を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度4～1を観測しまし  
た。

\*\*\* 津波警報等の発表状況 \*\*\*

津波注意報：北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋  
沿岸、岩手県（11日09時24分現在）

\*\*\* 津波の観測状況 \*\*\*

11日10時20分現在、北海道太平洋沿岸中部で津波を観測しています  
。

十勝港（第1波：09時56分に押し波0. 1m、最大波：10時02分に  
0. 1m）

\*\*\* 余震活動の状況 \*\*\*

11日09時33分に、M5. 3（速報値）の最大余震（震度2）が発生  
するなど、11日10時20分現在、震度1以上の余震は2回観測されてい  
ます。（震度2：2回）

\*\*\* 防災上の留意事項 \*\*\*

津波注意報を発表している沿岸では、十分注意してください。揺れの強か  
った地域では、降雨や余震活動により、土砂崩れや家屋の倒壊などの危険性  
が高まっているおそれがありますので、十分注意してください。

\*\*\* 緊急地震速報の発表 \*\*\*

この地震に対し、地震検知から9. 7秒後の09時21分13. 5秒に緊  
急地震速報（警報）を発表しました。

地震情報、津波情報等は最新の情報をご覧ください。

なお、現在発表している情報は気象庁ホームページで公表しております。

=



電文例

ゼンコクサイズ1 キヨク

87 03 00 111021131430 C11 //////////////// /// A100000 9999

地震情報（地震の活動状況等に関する情報）

平成23年10月21日 13時14分 気象庁発表

東海地震に関連する調査情報

\*\* 見出し \*\*

これは、東海地震に関連する調査情報（定例）です。

平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を「東海地震に関連する調査情報」に変更しています。現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

【概況】

最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動には、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

カラーレベルは青です。

\*\* 本文 \*\*

本日（21日）開催した地震防災対策強化地域判定会（定例）で前回以降、現在までの、東海地域とその周辺の地震・地殻活動の状況を評価しました。

1. 概況

東海地域とその周辺では、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

2. 地震活動の状況

静岡県中西部の地殻内では、全体的にみて、2005年中頃からやや活発な状態が続いています。

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度のやや少ない状態が続いています。

その他の領域では概ね平常レベルです。

3. 地殻変動の状況

一般的に注目すべき特別な変化は観測されていません。

GPS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向はこれまでと同様に継続しています。

(補足：平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を東海地震に関連する調査情報に変更しています。東海地域の観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を、東海地震に関連する調査情報（臨時）で発表します。また、毎月開催する定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を、東海地震に関連する調査情報（定例）で発表します)

(東海地震に関連する調査情報 第1号)

\*\* (参考) 東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等 \*\*

【東海地震予知情報】

東海地震が発生するおそれがあると判断した場合に、「警戒宣言」に伴って発表

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」及び自治体等の防災計画に従って行動。

【東海地震注意情報】

東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動。

【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

東海地域の観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を発表

(防災対応)

特になし。

(東海地震に関連する情報 第1号)

=

電文例

ゼンコクサイズ1 キヨウ

87 03 00 110417170030 C11 ////////////// // A100000 9999

地震情報（地震の活動状況等に関する情報）

平成23年04月17日17時00分 気象庁発表

## 伊豆東部の地震活動に関する情報（第1号）

### 1. 概況

16日夜から東伊豆奈良本のひずみ観測点で縮みのひずみ変化が観測されはじめ、本日、昼過ぎからは、体に感じない小さな地震が発生しはじめています。

### 2. 地殻変動の状況

17日16時現在、東伊豆奈良本のひずみ計の縮み変化は継続しています。また、防災科学技術研究所が整備している周辺の傾斜計にも同期した変化がみられています。

### 3. 地震活動の状況

17日昼過ぎから、体に感じない小さな規模の地震が発生しはじめました。伊東市大原で震度1以上を観測するような地震は発生していません。ただし、震源に近い場所では揺れを感じる場合があります。

### 4. 地震活動の予測

17日16時現在の観測データから予測される地震活動の規模等は、以下の通りです。

地震の規模と震度：

M5程度

（場合によってはM6程度になる可能性があります）

震度4～5弱程度 \*

（場合によってはさらに強い揺れになる場合があります）

震度1以上の地震回数：200～400回程度

活動期間：数日程度（長い場合は1週間程度）

火山活動：噴火に直ちに結びつくような現象は観測されていません。

### 5. 防災上の留意事項

活動期間の予測は一回のマグマ上昇に基づくため、複数回の上昇が起きた場合はさらに長引くことがあります。マグマがさらに浅部へ上昇した場合、地震活動がさらに活発になることがあります。

\* 地盤の状況等により、さらに揺れが大きくなる場合があります。

=

## 5. 各地の震度に関する情報（チキチンソト<sup>3</sup>）

震度1以上の地震が発生した時、その揺れの強さ（震度）を地域、市町村内の最大震度と、震度観測点ごとの震度を報じる。また、震度分布の状況から震度5弱以上と考えられる地域で、震度データを入手していない震度観測点がある場合には、その地点名を発表する。

「aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm kkk xxx yy zzz nddd ndddd hhh mm EI  
dd BI See fff …… See fff …… CI See fffff …… See fffff …… II See ffffffff  
…… See ffffffff …… LCI See fffff LII See ffffffff …… Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> 9999」

aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf : コードの共通項目参照。

yymmddhhmm : 発現時（年月日時分）。

kkk : 震央地名コード番号。（別表1のコード表を参照）

xxx yy zzz : 「○○の△△◎◎◎km 付近」の表現 xxx は地点のコード番号（2-1 津波関連電文参照）、yy は16方位、zzz は距離（単位10km、一の位は四捨五入）、発表しない時は「/// // ///」。

yy の16方位は次のとおり。

01:北北東	02:北東	03:東北東	04:東	05:東南東	06:南東
07:南南東	08:南	09:南南西	10:南西	11:西南西	12:西
13:西北西	14:北西	15:北北西	16:北		

ndddd ndddd : 震源の緯度、経度（単位 度 1/10まで表示）、北緯、東経の場合はn=0  
西経、南緯の場合はn=1。

hhh : 震源の深さ（単位 km）。不明の場合///、600km以上の場合999

hhh が000の場合には、「震源の深さは約0km」とは表記せず、「震源の深さは、ごく浅い」と表記する。

mm : マグニチュード。不明の場合//

\*\*\*\* 不明項目のコード部及び漢字かな部の表記方法（全ての情報同一） \*\*\*\*

- 震源が詳細不明の場合は「ndddd ndddd hhh mm」は「//// // /// //」とし、「震源地は、○○○（詳細不明）」と表記する。（注）
  - 深さだけが不明の場合は「0434 01477 /// 78」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、地震の規模（マグニチュード）は7.8と推定されます。」と表記する。
  - マグニチュードだけが不明の場合は「0434 01477 010 //」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）で、震源の深さは約10kmと推定されます。」と表記する。
  - 深さ及びマグニチュードが不明の場合は、「0434 01477 /// ///」とし、「震源地は、北海道東方沖（北緯43.4度、東経147.7度）と推定されます。」と表記する。
- （注）○○○にはコードのkkkに対応する震央地名が入る。

ただし、震源の詳細不明は観測網整備に伴い、現在では運用上原則として発表し

ないことにしている。

EI : 予備データの識別符号

dd : 予備データ (//或いは数字 ; 使用しないで下さい)

BI : 地域震度を報ずることを示す識別符号。

See (Se) : 震度を示す。階級の大きな順番で示す。S は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fff : 地域番号 (別表2のコード表を参照)

CI : 市町村震度を報ずることを示す識別符号。

See (Se) : 震度を示す。階級の大きな順番で示す。S は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

ffff : 市町村番号 (5桁)、上3桁が地域を表す。

II : 地点震度を示す識別符号

See (Se) : 震度を示す。階級の大きな順番で示す。S は震度階級を報ずることを示す指示符号。その後に震度階級を報ずるが5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁で報ずる。

fffffff : 地点番号 (7桁)。上3桁が地域、上5桁が市町村地域、下2桁が観測点を示す。(気象庁より配布する震度観測点パラメーター一覧参照)

LCI : LCI は未入電の市町村震度を報ずることを示す識別符号。

震度〇〇以上と考えられるが現在震度を入手していない市町村を報ずる。

該当する未入電の市町村震度がない場合は、識別符号 LCI を含め「LCI See ffffff……」は省略する。

See (Se) : S は震度階級を報ずることを示す識別符号、その後に〇〇の震度階級を報ずる。5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁とする。当面は下限の震度階級〇〇は5弱とするので、S5-となる。

fffff : 市町村番号 (5桁)、上3桁が地域を表す。

LII : LII は未入電の地点震度を報ずることを示す識別符号。

震度〇〇以上と考えられるが現在震度を入手していない観測点を報ずる。該

該当する未入電の地点震度がない場合は、この識別符号で報ずる「LII See ffffffff……」は省略する。

See (Se) : S は震度階級を報ずることを示す識別符号、その後に〇〇の震度階級を報ずる。5弱、5強、6弱、6強 (5-、5+、6-、6+) は2桁、それ以外の震度階級は1桁とする。当面は下限の震度階級〇〇は5弱とするので、S5-となる。

ffffff : 地点番号 (7桁)。

Afn<sub>1</sub>n<sub>2</sub>n<sub>3</sub>n<sub>4</sub>n<sub>5</sub> : 付加文の有無を表すコード。

9999 : コード行の終わりを示す。

#### 電文例

事件コード 3 秒間

```
91 03 00 090904193428 C11 0909041930 350 /// // /// 0357 01398 040  
30 EI // BI S2 350 CI S2 35006 S1 35007 II S2 3500630 S1 3500752  
A170000 9999
```

この地震について、緊急地震速報を発表しています。この地震の最大震度は  
2でした」 =

※

※ は付加文対応していないコード部の終わりに入る付加文

#### 翻訳例

各地の震度に関する情報

平成21年9月4日19時34分 気象庁発表

きょう04日19時30分ころ地震がありました。

震源地は、東京都23区(北緯35.7度、東経139.8度)で、震源の  
深さは約40km、地震の規模(マグニチュード)は3.0と推定されます  
。

地域、市町村の震度は次のとおりです。

震度2 東京都23区

震度2 東京都墨田区

震度1 東京都江東区

各地の震度は次のとおりです。

なお、\*印は気象庁以外の震度観測点についての情報です。

東京都 震度2 東京墨田区吾妻橋\*

震度1 東京江東区亀戸\*

この地震による津波の心配はありません。

この地震について、緊急地震速報を発表しています。この地震の最大震度は  
2でした。

別表 1

## 震央地名コード

(平成23年5月12日変更)

震央地名コード	震央地名	震央地名コード	震央地名
100	石狩地方北部	167	根室地方南部
101	石狩地方中部	180	北海道南西沖
102	石狩地方南部	181	北海道西方沖
105	渡島地方北部	182	石狩湾
106	渡島地方東部	183	北海道北西沖
107	渡島地方西部	184	宗谷海峡
110	檜山地方	186	国後島付近
115	後志地方北部	187	択捉島付近
116	後志地方東部	188	北海道東方沖
117	後志地方西部	189	根室半島南東沖
120	空知地方北部	190	釧路沖
121	空知地方中部	191	十勝沖
122	空知地方南部	192	浦河沖
125	上川地方北部	193	苫小牧沖
126	上川地方中部	194	内浦湾
127	上川地方南部	195	宗谷東方沖
130	留萌地方中北部	196	網走沖
131	留萌地方南部	197	択捉島南東沖
135	宗谷地方北部	200	青森県津軽北部
136	宗谷地方南部	201	青森県津軽南部
140	網走地方	202	青森県三八上北地方
141	北見地方	203	青森県下北地方
142	紋別地方	210	岩手県沿岸北部
145	胆振地方西部	211	岩手県沿岸南部
146	胆振地方中東部	212	岩手県内陸北部
150	日高地方西部	213	岩手県内陸南部
151	日高地方中部	220	宮城県北部
152	日高地方東部	221	宮城県南部
155	十勝地方北部	222	宮城県中部
156	十勝地方中部	230	秋田県沿岸北部
157	十勝地方南部	231	秋田県沿岸南部
160	釧路地方北部	232	秋田県内陸北部
161	釧路地方中南部	233	秋田県内陸南部
165	根室地方北部	240	山形県庄内地方
166	根室地方中部	241	山形県最上地方

震央地名コード	震央地名
242	山形県村山地方
243	山形県置賜地方
250	福島県中通り
251	福島県浜通り
252	福島県会津
280	津軽海峡
281	山形県沖
282	秋田県沖
283	青森県西方沖
284	陸奥湾
285	青森県東方沖
286	岩手県沖
287	宮城県沖
288	三陸沖
289	福島県沖
300	茨城県北部
301	茨城県南部
309	千葉県南東沖
310	栃木県北部
311	栃木県南部
320	群馬県北部
321	群馬県南部
330	埼玉県北部
331	埼玉県南部
332	埼玉県秩父地方
340	千葉県北東部
341	千葉県北西部
342	千葉県南部
349	房総半島南方沖
350	東京都23区
351	東京都多摩東部
352	東京都多摩西部
360	神奈川県東部
361	神奈川県西部
370	新潟県上越地方
371	新潟県中越地方
372	新潟県下越地方

震央地名コード	震央地名
378	新潟県下越沖
379	新潟県上中越沖
380	富山県東部
381	富山県西部
390	石川県能登地方
391	石川県加賀地方
400	福井県嶺北
401	福井県嶺南
411	山梨県中・西部
412	山梨県東部・富士五湖
420	長野県北部
421	長野県中部
422	長野県南部
430	岐阜県飛騨地方
431	岐阜県美濃東部
432	岐阜県美濃中西部
440	静岡県伊豆地方
441	静岡県東部
442	静岡県中部
443	静岡県西部
450	愛知県東部
451	愛知県西部
460	三重県北部
461	三重県中部
462	三重県南部
469	三重県南東沖
471	茨城県沖
472	関東東方沖
473	千葉県東方沖
475	八丈島東方沖
476	八丈島近海
477	東京湾
478	相模湾
480	伊豆大島近海
481	伊豆半島東方沖
482	三宅島近海
483	新島・神津島近海



震央地名コード	震央地名
485	駿河湾
486	駿河湾南方沖
487	遠州灘
489	三河湾
490	伊勢湾
492	若狭湾
493	福井県沖
494	石川県西方沖
495	能登半島沖
497	富山湾
498	佐渡付近
499	東海道南方沖
500	滋賀県北部
501	滋賀県南部
510	京都府北部
511	京都府南部
520	大阪府北部
521	大阪府南部
530	兵庫県北部
531	兵庫県南東部
532	兵庫県南西部
540	奈良県
550	和歌山県北部
551	和歌山県南部
560	鳥取県東部
562	鳥取県中部
563	鳥取県西部
570	島根県東部
571	島根県西部
580	岡山県北部
581	岡山県南部
590	広島県北部
591	広島県南東部
592	広島県南西部
600	徳島県北部
601	徳島県南部
610	香川県東部

震央地名コード	震央地名
611	香川県西部
620	愛媛県東予
621	愛媛県中予
622	愛媛県南予
630	高知県東部
631	高知県中部
632	高知県西部
673	土佐湾
674	紀伊水道
675	大阪湾
676	播磨灘
677	瀬戸内海中部
678	安芸灘
679	周防灘
680	伊予灘
681	豊後水道
682	山口県北西沖
683	島根県沖
684	鳥取県沖
685	隠岐島近海
686	兵庫県北方沖
687	京都府沖
688	淡路島付近
689	和歌山県南方沖
700	山口県北部
702	山口県西部
703	山口県東部
704	山口県中部
710	福岡県福岡地方
711	福岡県北九州地方
712	福岡県筑豊地方
713	福岡県筑後地方
720	佐賀県北部
721	佐賀県南部
730	長崎県北部
731	長崎県南西部
732	長崎県島原半島

震央地名コード	震央地名
740	熊本県阿蘇地方
741	熊本県熊本地方
742	熊本県球磨地方
743	熊本県天草・芦北地方
750	大分県北部
751	大分県中部
752	大分県南部
753	大分県西部
760	宮崎県北部平野部
761	宮崎県北部山沿い
762	宮崎県南部平野部
763	宮崎県南部山沿い
770	鹿児島県薩摩地方
771	鹿児島県大隅地方
783	五島列島近海
784	天草灘
785	有明海
786	橘湾
787	鹿児島湾
790	種子島近海
791	日向灘
793	奄美大島近海
795	壱岐・対馬近海
796	福岡県北西沖
797	薩摩半島西方沖
798	トカラ列島近海
799	奄美大島北西沖
820	大隅半島東方沖
821	九州地方南東沖
822	種子島南東沖
823	奄美大島北東沖
850	沖縄本島近海
851	南大東島近海
852	沖縄本島南方沖
853	宮古島近海
854	石垣島近海
855	石垣島南方沖

震央地名コード	震央地名
856	西表島付近
857	与那国島近海
858	沖縄本島北西沖
859	宮古島北西沖
860	石垣島北西沖
900	台湾付近
901	東シナ海
902	四国沖
903	鳥島近海
904	鳥島東方沖
905	オホーツク海南部
906	サハリン西方沖
907	日本海北部
908	日本海中部
909	日本海西部
911	父島近海
912	千島列島
913	千島列島南東沖
914	北海道南東沖
915	東北地方東方沖
916	小笠原諸島西方沖
917	硫黄島近海
918	小笠原諸島東方沖
919	南海道南方沖
920	薩南諸島東方沖
921	本州南方沖
922	サハリン南部付近
930	北西太平洋
932	マリアナ諸島
933	黄海
934	朝鮮半島南部
935	朝鮮半島北部
936	中国東北部
937	ウラジオストク付近
938	シベリア南部
939	サハリン近海
940	アリューシャン列島

震央地名コード	震央地名
941	カムチャツカ半島付近
942	北米西部
943	北米中部
944	北米東部
945	中米
946	南米西部
947	南米中部
948	南米東部
949	北東太平洋
950	南太平洋
951	インドシナ半島付近
952	フィリピン付近
953	インドネシア付近
954	グアム付近
955	ニューギニア付近
956	ニュージーランド付近
957	オーストラリア付近
958	シベリア付近
959	ロシア西部
960	ロシア中部
961	ロシア東部
962	中央アジア
963	中国西部
964	中国中部
965	中国東部
966	インド付近
967	インド洋
968	中東
969	ヨーロッパ西部
970	ヨーロッパ中部
971	ヨーロッパ東部
972	地中海
973	アフリカ西部
974	アフリカ中部
975	アフリカ東部
976	北大西洋
977	南大西洋

震央地名コード	震央地名
978	北極付近
979	南極付近
999	遠地 (注)
	(注) 通常は使用しない

## 別表 1 の 2

### 震央地名コード（その2）

震央地名 コード	震央地名
011	北海道地方
012	東北地方
013	北陸地方
014	関東甲信地方
015	小笠原地方
016	東海地方
017	近畿地方
018	中国地方
019	四国地方
020	九州地方
021	沖縄地方

※ この表は、緊急地震速報でのみ用いる。  
(緊急地震速報では、震央地名コードとして別表1の他に別表1の2も使用する)

別表 2

## 地域名称コード

(平成23年5月12日変更)

地域名称コード	地 域 名 称	地域名称コード	地 域 名 称
100	石狩地方北部	165	根室地方北部
101	石狩地方中部	166	根室地方中部
102	石狩地方南部	167	根室地方南部
105	渡島地方北部	200	青森県津軽北部
106	渡島地方東部	201	青森県津軽南部
107	渡島地方西部	202	青森県三八上北
110	檜山地方	203	青森県下北
115	後志地方北部	210	岩手県沿岸北部
116	後志地方東部	211	岩手県沿岸南部
117	後志地方西部	212	岩手県内陸北部
119	北海道奥尻島	213	岩手県内陸南部
120	空知地方北部	220	宮城県北部
121	空知地方中部	221	宮城県南部
122	空知地方南部	222	宮城県中部
125	上川地方北部	230	秋田県沿岸北部
126	上川地方中部	231	秋田県沿岸南部
127	上川地方南部	232	秋田県内陸北部
130	留萌地方中北部	233	秋田県内陸南部
131	留萌地方南部	240	山形県庄内
135	宗谷地方北部	241	山形県最上
136	宗谷地方南部	242	山形県村山
139	北海道利尻礼文	243	山形県置賜
140	網走地方	250	福島県中通り
141	北見地方	251	福島県浜通り
142	紋別地方	252	福島県会津
145	胆振地方西部	300	茨城県北部
146	胆振地方中東部	301	茨城県南部
150	日高地方西部	310	栃木県北部
151	日高地方中部	311	栃木県南部
152	日高地方東部	320	群馬県北部
155	十勝地方北部	321	群馬県南部
156	十勝地方中部	330	埼玉県北部
157	十勝地方南部	331	埼玉県南部
160	釧路地方北部	332	埼玉県秩父
161	釧路地方中南部	340	千葉県北東部

地域名称コード	地域名称
341	千葉県北西部
342	千葉県南部
350	東京都23区
351	東京都多摩東部
352	東京都多摩西部
354	神津島
355	伊豆大島
356	新島
357	三宅島
358	八丈島
359	小笠原
360	神奈川県東部
361	神奈川県西部
370	新潟県上越
371	新潟県中越
372	新潟県下越
375	新潟県佐渡
380	富山県東部
381	富山県西部
390	石川県能登
391	石川県加賀
400	福井県嶺北
401	福井県嶺南
411	山梨県中・西部
412	山梨県東部・富士五湖
420	長野県北部
421	長野県中部
422	長野県南部
430	岐阜県飛騨
431	岐阜県美濃東部
432	岐阜県美濃中西部
440	静岡県伊豆
441	静岡県東部
442	静岡県中部
443	静岡県西部
450	愛知県東部
451	愛知県西部

地域名称コード	地域名称
460	三重県北部
461	三重県中部
462	三重県南部
500	滋賀県北部
501	滋賀県南部
510	京都府北部
511	京都府南部
520	大阪府北部
521	大阪府南部
530	兵庫県北部
531	兵庫県南東部
532	兵庫県南西部
535	兵庫県淡路島
540	奈良県
550	和歌山県北部
551	和歌山県南部
560	鳥取県東部
562	鳥取県中部
563	鳥取県西部
570	島根県東部
571	島根県西部
575	島根県隠岐
580	岡山県北部
581	岡山県南部
590	広島県北部
591	広島県南東部
592	広島県南西部
600	徳島県北部
601	徳島県南部
610	香川県東部
611	香川県西部
620	愛媛県東予
621	愛媛県中予
622	愛媛県南予
630	高知県東部
631	高知県中部
632	高知県西部

地域名称コード	地域名称
700	山口県北部
702	山口県西部
703	山口県東部
704	山口県中部
710	福岡県福岡
711	福岡県北九州
712	福岡県筑豊
713	福岡県筑後
720	佐賀県北部
721	佐賀県南部
730	長崎県北部
731	長崎県南西部
732	長崎県島原半島
735	長崎県対馬
736	長崎県壱岐
737	長崎県五島
740	熊本県阿蘇
741	熊本県熊本
742	熊本県球磨
743	熊本県天草・芦北
750	大分県北部
751	大分県中部
752	大分県南部
753	大分県西部
760	宮崎県北部平野部
761	宮崎県北部山沿い
762	宮崎県南部平野部
763	宮崎県南部山沿い
770	鹿児島県薩摩
771	鹿児島県大隅
774	鹿児島県十島村
775	鹿児島県甕島
776	鹿児島県種子島
777	鹿児島県屋久島
778	鹿児島県奄美北部
779	鹿児島県奄美南部
800	沖縄県本島北部

地域名称コード	地域名称
801	沖縄県本島中南部
802	沖縄県久米島
803	沖縄県大東島
804	沖縄県宮古島
805	沖縄県石垣島
806	沖縄県与那国島
807	沖縄県西表島

別表 3

緊急地震速報（警報）で用いる震央地名と地震情報  
（緊急地震速報（予報）を含む）で用いる震央地名の関係

（平成23年5月12日変更）

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9011</u>	<u>北海道道央</u>	100	石狩地方北部
		101	石狩地方中部
		102	石狩地方南部
		115	後志地方北部
		116	後志地方東部
		117	後志地方西部
		120	空知地方北部
		121	空知地方中部
		122	空知地方南部
		<u>9012</u>	<u>北海道道南</u>
106	渡島地方東部		
107	渡島地方西部		
110	檜山地方		
145	胆振地方西部		
146	胆振地方中東部		
150	日高地方西部		
151	日高地方中部		
<u>9013</u>	<u>北海道道北</u>	125	上川地方北部
		126	上川地方中部
		127	上川地方南部
		130	留萌地方中北部
		131	留萌地方南部
		135	宗谷地方北部
		136	宗谷地方南部
<u>9014</u>	<u>北海道道東</u>	140	網走地方
		141	北見地方
		142	紋別地方
		155	十勝地方北部
		156	十勝地方中部
		157	十勝地方南部



緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9014</u>	<u>北海道道東</u>	160	釧路地方北部
		161	釧路地方中南部
		165	根室地方北部
		166	根室地方中部
		167	根室地方南部
<u>9700</u>	<u>北海道南西沖</u>	180	北海道南西沖
<u>9701</u>	<u>北海道西方沖</u>	181	北海道西方沖
<u>9702</u>	<u>石狩湾</u>	182	石狩湾
<u>9703</u>	<u>北海道北西沖</u>	183	北海道北西沖
<u>9704</u>	<u>宗谷海峡</u>	184	宗谷海峡
<u>9705</u>	<u>国後島付近</u>	186	国後島付近
<u>9706</u>	<u>択捉島付近</u>	187	択捉島付近
<u>9707</u>	<u>北海道東方沖</u>	188	北海道東方沖
<u>9708</u>	<u>根室半島沖</u>	189	根室半島南東沖
<u>9709</u>	<u>釧路沖</u>	190	釧路沖
<u>9710</u>	<u>十勝沖</u>	191	十勝沖
<u>9711</u>	<u>浦河沖</u>	192	浦河沖
<u>9712</u>	<u>苫小牧沖</u>	193	苫小牧沖
<u>9713</u>	<u>内浦湾</u>	194	内浦湾
<u>9714</u>	<u>宗谷東方沖</u>	195	宗谷東方沖
<u>9715</u>	<u>網走沖</u>	196	網走沖
<u>9716</u>	<u>択捉島南東沖</u>	197	択捉島南東沖
<u>9020</u>	<u>青森県</u>	200	青森県津軽北部
		201	青森県津軽南部
		202	青森県三八上北地方
		203	青森県下北地方
<u>9030</u>	<u>岩手県</u>	210	岩手県沿岸北部
		211	岩手県沿岸南部
		212	岩手県内陸北部
		213	岩手県内陸南部
<u>9040</u>	<u>宮城県</u>	220	宮城県北部
		221	宮城県南部
		222	宮城県中部
<u>9050</u>	<u>秋田県</u>	230	秋田県沿岸北部

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9050</u>	<u>秋田県</u>	231	秋田県沿岸南部
		232	秋田県内陸北部
		233	秋田県内陸南部
<u>9060</u>	<u>山形県</u>	240	山形県庄内地方
		241	山形県最上地方
		242	山形県村山地方
		243	山形県置賜地方
<u>9207</u>	<u>福島県</u>	250	福島県中通り
		251	福島県浜通り
		252	福島県会津
<u>9730</u>	<u>津軽海峡</u>	280	津軽海峡
<u>9731</u>	<u>山形沖</u>	281	山形県沖
<u>9732</u>	<u>秋田沖</u>	282	秋田県沖
<u>9733</u>	<u>青森西方沖</u>	283	青森県西方沖
<u>9734</u>	<u>陸奥湾</u>	284	陸奥湾
<u>9735</u>	<u>青森東方沖</u>	285	青森県東方沖
<u>9736</u>	<u>岩手沖</u>	286	岩手県沖
<u>9737</u>	<u>宮城沖</u>	287	宮城県沖
<u>9738</u>	<u>三陸沖</u>	288	三陸沖
<u>9739</u>	<u>福島沖</u>	289	福島県沖
<u>9080</u>	<u>茨城県</u>	300	茨城県北部
		301	茨城県南部
<u>9760</u>	<u>千葉南東沖</u>	309	千葉県南東沖
<u>9090</u>	<u>栃木県</u>	310	栃木県北部
		311	栃木県南部
<u>9100</u>	<u>群馬県</u>	320	群馬県北部
		321	群馬県南部
<u>9110</u>	<u>埼玉県</u>	330	埼玉県北部
		331	埼玉県南部
		332	埼玉県秩父地方
<u>9120</u>	<u>千葉県</u>	340	千葉県北東部
		341	千葉県北西部
		342	千葉県南部
<u>9761</u>	<u>千葉南方沖</u>	349	房総半島南方沖

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9130</u>	<u>東京</u>	350	東京都23区
		351	東京都多摩東部
		352	東京都多摩西部
<u>9140</u>	<u>神奈川県</u>	360	神奈川県東部
		361	神奈川県西部
<u>9150</u>	<u>新潟県</u>	370	新潟県上越地方
		371	新潟県中越地方
		372	新潟県下越地方
<u>9372</u>	<u>新潟沖</u>	378	新潟県下越沖
		379	新潟県上中越沖
<u>9160</u>	<u>富山県</u>	380	富山県東部
		381	富山県西部
<u>9170</u>	<u>石川県</u>	390	石川県能登地方
		391	石川県加賀地方
<u>9180</u>	<u>福井県</u>	400	福井県嶺北
		401	福井県嶺南
<u>9190</u>	<u>山梨県</u>	411	山梨県中・西部
		412	山梨県東部・富士五湖
<u>9200</u>	<u>長野県</u>	420	長野県北部
		421	長野県中部
		422	長野県南部
<u>9210</u>	<u>岐阜県</u>	430	岐阜県飛騨地方
		431	岐阜県美濃東部
		432	岐阜県美濃中西部
<u>9220</u>	<u>静岡県</u>	440	静岡県伊豆地方
		441	静岡県東部
		442	静岡県中部
		443	静岡県西部
<u>9230</u>	<u>愛知県</u>	450	愛知県東部
		451	愛知県西部
<u>9240</u>	<u>三重県</u>	460	三重県北部
		461	三重県中部
		462	三重県南部
<u>9762</u>	<u>三重南東沖</u>	469	三重県南東沖
<u>9763</u>	<u>茨城沖</u>	471	茨城県沖

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9764</u>	<u>関東東方沖</u>	472	関東東方沖
<u>9765</u>	<u>千葉東方沖</u>	473	千葉県東方沖
<u>9766</u>	<u>関東南方沖</u>	475	八丈島東方沖
<u>9767</u>	<u>伊豆諸島近海</u>	476	八丈島近海
		480	伊豆大島近海
		482	三宅島近海
		483	新島・神津島近海
<u>9768</u>	<u>東京湾</u>	477	東京湾
<u>9769</u>	<u>相模湾</u>	478	相模湾
<u>9770</u>	<u>伊豆東方沖</u>	481	伊豆半島東方沖
<u>9771</u>	<u>静岡沖(※3)</u>	485	駿河湾
		486	駿河湾南方沖
		487	遠州灘
<u>9772</u>	<u>三河湾</u>	489	三河湾
<u>9773</u>	<u>伊勢湾</u>	490	伊勢湾
<u>9774</u>	<u>若狭湾</u>	492	若狭湾
<u>9775</u>	<u>福井沖</u>	493	福井県沖
<u>9776</u>	<u>石川西方沖</u>	494	石川県西方沖
<u>9777</u>	<u>能登半島沖</u>	495	能登半島沖
<u>9778</u>	<u>富山湾</u>	497	富山湾
<u>9779</u>	<u>佐渡付近</u>	498	佐渡付近
<u>9780</u>	<u>東海道沖</u>	499	東海道南方沖
<u>9250</u>	<u>滋賀県</u>	500	滋賀県北部
		501	滋賀県南部
<u>9260</u>	<u>京都府</u>	510	京都府北部
		511	京都府南部
<u>9270</u>	<u>大阪府</u>	520	大阪府北部
		521	大阪府南部
<u>9280</u>	<u>兵庫県</u>	530	兵庫県北部
		531	兵庫県南東部
		532	兵庫県南西部
<u>9290</u>	<u>奈良県</u>	540	奈良県
<u>9300</u>	<u>和歌山県</u>	550	和歌山県北部
		551	和歌山県南部

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9310</u>	<b>鳥取県</b>	560	鳥取県東部
		562	鳥取県中部
		563	鳥取県西部
<u>9320</u>	<b>島根県</b>	570	島根県東部
		571	島根県西部
<u>9330</u>	<b>岡山県</b>	580	岡山県北部
		581	岡山県南部
<u>9340</u>	<b>広島県</b>	590	広島県北部
		591	広島県南東部
		592	広島県南西部
<u>9360</u>	<b>徳島県</b>	600	徳島県北部
		601	徳島県南部
<u>9370</u>	<b>香川県</b>	610	香川県東部
		611	香川県西部
<u>9380</u>	<b>愛媛県</b>	620	愛媛県東予
		621	愛媛県中予
		622	愛媛県南予
<u>9390</u>	<b>高知県</b>	630	高知県東部
		631	高知県中部
		632	高知県西部
<u>9790</u>	<b>土佐湾</b>	673	土佐湾
<u>9791</u>	<b>紀伊水道</b>	674	紀伊水道
<u>9792</u>	<b>大阪湾</b>	675	大阪湾
<u>9793</u>	<b>播磨灘</b>	676	播磨灘
<u>9794</u>	<b>瀬戸内海</b>	677	瀬戸内海中部
<u>9795</u>	<b>安芸灘</b>	678	安芸灘
<u>9796</u>	<b>周防灘</b>	679	周防灘
<u>9797</u>	<b>伊予灘</b>	680	伊予灘
<u>9798</u>	<b>豊後水道</b>	681	豊後水道
<u>9799</u>	<b>山口北西沖</b>	682	山口県北西沖
<u>9800</u>	<b>島根沖</b>	683	島根県沖
<u>9801</u>	<b>鳥取沖</b>	684	鳥取県沖
<u>9802</u>	<b>隠岐島近海</b>	685	隠岐島近海
<u>9803</u>	<b>兵庫北方沖</b>	686	兵庫県北方沖
<u>9804</u>	<b>京都沖</b>	687	京都府沖

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9805</u>	<u>淡路島付近</u>	688	淡路島付近
<u>9806</u>	<u>和歌山沖</u>	689	和歌山県南方沖
<u>9350</u>	<u>山口県</u>	700	山口県北部
		702	山口県西部
		703	山口県東部
		704	山口県中部
<u>9400</u>	<u>福岡県</u>	710	福岡県福岡地方
		711	福岡県北九州地方
		712	福岡県筑豊地方
		713	福岡県筑後地方
<u>9410</u>	<u>佐賀県</u>	720	佐賀県北部
		721	佐賀県南部
<u>9420</u>	<u>長崎県</u>	730	長崎県北部
		731	長崎県南西部
		732	長崎県島原半島
<u>9430</u>	<u>熊本県</u>	740	熊本県阿蘇地方
		741	熊本県熊本地方
		742	熊本県球磨地方
		743	熊本県天草・芦北地方
<u>9440</u>	<u>大分県</u>	750	大分県北部
		751	大分県中部
		752	大分県南部
		753	大分県西部
<u>9450</u>	<u>宮崎県</u>	760	宮崎県北部平野部
		761	宮崎県北部山沿い
		762	宮崎県南部平野部
		763	宮崎県南部山沿い
<u>9460</u>	<u>鹿児島県</u>	770	鹿児島県薩摩地方
		771	鹿児島県大隅地方
<u>9820</u>	<u>五島列島近海</u>	783	五島列島近海
<u>9821</u>	<u>天草灘</u>	784	天草灘
<u>9822</u>	<u>有明海</u>	785	有明海
<u>9823</u>	<u>橘湾</u>	786	橘湾
<u>9824</u>	<u>鹿児島湾</u>	787	鹿児島湾

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9825</u>	<u>種子島近海</u>	790	種子島近海
<u>9826</u>	<u>日向灘</u>	791	日向灘
<u>9827</u>	<u>奄美大島近海</u>	793	奄美大島近海
		823	奄美大島北東沖
<u>9828</u>	<u>対馬近海</u>	795	壱岐・対馬近海
<u>9829</u>	<u>福岡北西沖</u>	796	福岡県北西沖
<u>9830</u>	<u>鹿児島西方沖</u>	797	薩摩半島西方沖
<u>9831</u>	<u>薩南諸島近海</u>	798	トカラ列島近海
		799	奄美大島北西沖
<u>9832</u>	<u>鹿児島東方沖(※4)</u>	820	大隅半島東方沖
<u>9833</u>	<u>九州南東沖</u>	821	九州地方南東沖
		822	種子島南東沖
		920	薩南諸島東方沖
<u>9471</u>	<u>沖縄本島近海</u>	850	沖縄本島近海
		858	沖縄本島北西沖
<u>9472</u>	<u>南大東島近海</u>	851	南大東島近海
<u>9850</u>	<u>沖縄南方沖</u>	852	沖縄本島南方沖
<u>9473</u>	<u>宮古島近海</u>	853	宮古島近海
<u>9851</u>	<u>石垣島近海</u>	854	石垣島近海
<u>9852</u>	<u>石垣島南方沖</u>	855	石垣島南方沖
<u>9853</u>	<u>西表島付近</u>	856	西表島付近
<u>9854</u>	<u>与那国島近海</u>	857	与那国島近海
<u>9855</u>	<u>宮古島北西沖</u>	859	宮古島北西沖
<u>9856</u>	<u>石垣島北西沖</u>	860	石垣島北西沖
<u>9900</u>	<u>台湾付近</u>	900	台湾付近
<u>9901</u>	<u>東シナ海</u>	901	東シナ海
<u>9902</u>	<u>四国沖</u>	902	四国沖
<u>9903</u>	<u>鳥島近海</u>	903	鳥島近海
<u>9904</u>	<u>鳥島東方沖</u>	904	鳥島東方沖
<u>9905</u>	<u>オホーツク海</u>	905	オホーツク海南部
<u>9906</u>	<u>サハリン付近</u>	906	サハリン西方沖
<u>9907</u>	<u>日本海北部</u>	907	日本海北部
<u>9908</u>	<u>日本海中部</u>	908	日本海中部
<u>9909</u>	<u>日本海西部</u>	909	日本海西部

緊急地震速報（警報） で用いる震央地名		地震情報で用いる震央地名	
<u>9781</u>	<u>父島近海</u>	911	父島近海
		916	小笠原諸島西方沖
		918	小笠原諸島東方沖
<u>9910</u>	<u>南海道南方沖</u>	919	南海道南方沖
<u>9911</u>	<u>サハリン南部</u>	922	サハリン南部付近
<u>9912</u>	<u>朝鮮半島南部</u>	934	朝鮮半島南部
		912	千島列島
		913	千島列島南東沖
		914	北海道南東沖
		915	東北地方東方沖
		917	硫黄島近海
		921	本州南方沖
		930	北西太平洋
		932	マリアナ諸島
		933	黄海
		935	朝鮮半島北部
		936	中国東北部
		937	ウラジオストク付近
		938	シベリア南部
		939	サハリン近海
		965	中国東部

- ※1 緊急地震速報（警報）で用いる震央地名は、テロップの関係上、最大6文字とする。
- ※2 緊急地震速報（警報）で用いる震央地名コードは、4桁とする。  
（内陸の場合は“9+都道府県コード[3桁]”、海域の場合は“9700から表記[地域ごとに30個を割り当て]”）
- ※3 静岡沖（コード番号：9771）については、愛知県の一部が含まれる。
- ※4 鹿児島東方沖（コード番号：9832）については、宮崎県の一部が含まれる。



## 別表 4

## 緊急地震速報（警報）で用いる地域名称

（平成23年5月12日変更）

地方単位		都道府県単位		地域単位	
北海道	9910	北海道道央	9011	石狩地方北部	100
				石狩地方中部	101
				石狩地方南部	102
				後志地方北部	115
				後志地方東部	116
				後志地方西部	117
				空知地方北部	120
				空知地方中部	121
				空知地方南部	122
		北海道道南	9012	渡島地方北部	105
				渡島地方東部	106
				渡島地方西部	107
				檜山地方	110
				北海道奥尻島	119
				胆振地方西部	145
				胆振地方中東部	146
				日高地方西部	150
				日高地方中部	151
		日高地方東部	152		
		北海道道北	9013	上川地方北部	125
				上川地方中部	126
				上川地方南部	127
				留萌地方中北部	130
				留萌地方南部	131
				宗谷地方北部	135
				宗谷地方南部	136
				北海道利尻礼文	139
		北海道道東	9014	網走地方	140
				北見地方	141
				紋別地方	142
				十勝地方北部	155
				十勝地方中部	156
				十勝地方南部	157
				釧路地方北部	160
				釧路地方中南部	161
				根室地方北部	165
根室地方中部	166				
根室地方南部	167				

東北	9920	青森	9020	青森県津軽北部	200
				青森県津軽南部	201
				青森県三八上北	202
				青森県下北	203
		岩手	9030	岩手県沿岸北部	210
				岩手県沿岸南部	211
				岩手県内陸北部	212
				岩手県内陸南部	213
		宮城	9040	宮城県北部	220
				宮城県中部	222
				宮城県南部	221
		秋田	9050	秋田県沿岸北部	230
				秋田県沿岸南部	231
				秋田県内陸北部	232
				秋田県内陸南部	233
		山形	9060	山形県庄内	240
				山形県最上	241
				山形県村山	242
				山形県置賜	243
		福島	9070	福島県中通り	250
福島県浜通り	251				
福島県会津	252				
関東	9931	茨城	9080	茨城県北部	300
				茨城県南部	301
		栃木	9090	栃木県北部	310
				栃木県南部	311
		群馬	9100	群馬県北部	320
				群馬県南部	321
		埼玉	9110	埼玉県北部	330
				埼玉県南部	331
				埼玉県秩父	332
		千葉	9120	千葉県北東部	340
				千葉県北西部	341
				千葉県南部	342
		東京	9131	東京都23区	350
				東京都多摩東部	351
東京都多摩西部	352				
伊豆諸島	9932	伊豆諸島	9132	伊豆大島	355
				神津島	354
				新島	356
				三宅島	357
				八丈島	358
小笠原	9933	小笠原	9133	小笠原	359

関東	9931	神奈川	9140	神奈川県東部	360
				神奈川県西部	361
北陸	9934	新潟	9150	新潟県上越	370
				新潟県中越	371
				新潟県下越	372
				新潟県佐渡	375
		富山	9160	富山県東部	380
				富山県西部	381
		石川	9170	石川県能登	390
				石川県加賀	391
福井	9180	福井県嶺北	400		
		福井県嶺南	401		
甲信	9935	山梨	9190	山梨県中・西部	411
				山梨県東部・富士五湖	412
		長野	9200	長野県北部	420
				長野県中部	421
				長野県南部	422
東海	9936	岐阜	9210	岐阜県飛騨	430
				岐阜県美濃東部	431
				岐阜県美濃中西部	432
		静岡	9220	静岡県伊豆	440
				静岡県東部	441
				静岡県中部	442
				静岡県西部	443
		愛知	9230	愛知県東部	450
				愛知県西部	451
		三重	9240	三重県北部	460
三重県中部	461				
三重県南部	462				
近畿	9941	滋賀	9250	滋賀県北部	500
				滋賀県南部	501
		京都	9260	京都府北部	510
				京都府南部	511
		大阪	9270	大阪府北部	520
				大阪府南部	521
		兵庫	9280	兵庫県北部	530
				兵庫県南東部	531
				兵庫県南西部	532
				兵庫県淡路島	535
		奈良	9290	奈良県	540
和歌山	9300	和歌山県北部	550		
		和歌山県南部	551		

中国	9942	鳥取	9310	鳥取県東部	560
				鳥取県中部	562
				鳥取県西部	563
		島根	9320	島根県東部	570
				島根県西部	571
				島根県隠岐	575
		岡山	9330	岡山県北部	580
				岡山県南部	581
		広島	9340	広島県北部	590
				広島県南東部	591
広島県南西部	592				
四国	9943	徳島	9360	徳島県北部	600
				徳島県南部	601
		香川	9370	香川県東部	610
				香川県西部	611
		愛媛	9380	愛媛県東予	620
				愛媛県中予	621
				愛媛県南予	622
		高知	9390	高知県東部	630
				高知県中部	631
				高知県西部	632
中国	9942	山口	9350	山口県北部	700
				山口県西部	702
				山口県東部	703
				山口県中部	704
九州	9951	福岡	9400	福岡県福岡	710
				福岡県北九州	711
				福岡県筑豊	712
				福岡県筑後	713
		佐賀	9410	佐賀県北部	720
				佐賀県南部	721
		長崎	9420	長崎県北部	730
				長崎県南西部	731
				長崎県島原半島	732
				長崎県対馬	735
				長崎県壱岐	736
				長崎県五島	737
		熊本	9430	熊本県阿蘇	740
				熊本県熊本	741
				熊本県球磨	742
				熊本県天草・芦北	743
		大分	9440	大分県北部	750
				大分県中部	751
大分県南部	752				
大分県西部	753				

		宮崎	9450	宮崎県北部平野部	760		
				宮崎県北部山沿い	761		
				宮崎県南部平野部	762		
				宮崎県南部山沿い	763		
		鹿児島	9461		鹿児島県薩摩	770	
					鹿児島県大隅	771	
					鹿児島県十島村	774	
					鹿児島県甑島	775	
					鹿児島県種子島	776	
					鹿児島県屋久島	777	
		奄美(群島)	9952	奄美(群島)	9462	鹿児島県奄美北部	778
						鹿児島県奄美南部	779
		沖縄	9960	沖縄本島	9471	沖縄県本島北部	800
沖縄県本島中南部	801						
沖縄県久米島	802						
大東島	9472			沖縄県大東島	803		
宮古島	9473			沖縄県宮古島	804		
八重山	9474				沖縄県石垣島	805	
					沖縄県西表島	807	
					沖縄県与那国島	806	

※ 緊急地震速報（警報）で用いる強い揺れが推定される地域（地方若しくは都道府県）の表現については、テロップの関係上、最大5文字としている。

## 2-3 東海地震関連電文

### ■ 目次

1. 東海地震に関連する情報	・・・東海-1
----------------	---------

### ■ 変更履歴

平成 17 年 11 月 22 日	全面改訂
平成 19 年 4 月 2 日	情報例文修正
平成 20 年 4 月 1 日	情報例文修正
平成 21 年 10 月 1 日	情報例文修正 (コードの修正)
平成 22 年 4 月 1 日	情報例文修正 (コードの説明文修正)
平成 23 年 3 月 24 日	情報例文修正 (コードの説明文修正)

## 1. 東海地震に関連する情報 (aa : 17、18、19)

### ■ コードの構成

aa bb nn y <sub>i</sub> y <sub>i</sub> m <sub>i</sub> m <sub>i</sub> d <sub>i</sub> d <sub>i</sub> h <sub>i</sub> h <sub>i</sub> m <sub>i</sub> m <sub>i</sub> s <sub>i</sub> s <sub>i</sub> Cnf yymmddhhmm n <sub>1</sub> n <sub>1</sub> n <sub>1</sub> n <sub>2</sub> n <sub>2</sub> n <sub>2</sub> 9999
--

### ■ 各コードの説明

① aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

② yymmddhhmm    情報発表時刻

yymmddhhmm : 情報発表時刻

③ n<sub>1</sub>n<sub>1</sub>n<sub>1</sub>    情報発表番号

n<sub>1</sub>n<sub>1</sub>n<sub>1</sub> : 情報発表番号

例えば4号の場合は 004 となる。

④ n<sub>2</sub>n<sub>2</sub>n<sub>2</sub>    情報の内容

n<sub>2</sub>n<sub>2</sub>n<sub>2</sub> : 情報の内容

000 : デフォルト (続報であることを示す。)

001 : 各電文種別コード内での第1報 (900の場合を除く。)

900 : 終了 (各情報の終了を示す。)

注) 定例の「東海地震に関連する調査情報」(電文種別コード:19)については、東海地震に関連する情報ではなく、地震情報(地震の活動状況等に関する情報)(ゼンコクサイスモ1電文)で発表する。

⑤ 9999    コード部の終了

9999 : コード部の終了を示す。

## ■ 東海地震に関連する情報の例

### ①東海地震に関連する調査情報（臨時発表時）

トカイカンク1 キヨク

(STX) ← 制御コード(02)H

19 03 00 110408230000 C11 1104082300 001 001 9999

平成23年4月8日

23時00分

気象庁地震火山部

#### 東海地震観測情報

\*\* 見出し \*\*

これは、東海地震に関連する調査情報（臨時）です。

平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を東海地震に関連する調査情報に変更しています。

東海地域の地殻変動データに通常と異なる変化を観測しています。  
気象庁では、想定される東海地震との関連性など、この変化の原因について調査しています。

東海地震との関連性を調査中です。

カラーレベルは青です。

\*\* 本文 \*\*

#### 1. 観測データの状況等

東海地域の歪（ひずみ）観測点のうち、浜松市の宮口（みやぐち）観測点で、本日（8日）09時00分頃から有意な変化を観測しています。このほか、蒲郡市の清田（せいだ）、田原市の福江（ふくえ）、川根本町の東藤川（ひがしふじかわ）、島田市の川根（かわね）、浜松市の佐久間（さくま）観測点でも、若干の変化を観測しています。

現在、東海地域の地震活動には特段の変化は見られません。

気象庁では、通常と異なる地殻変動データの変化の原因について、東海地震との関連性を調査するため、23時45分から臨時の地震防災対策強化地域判定会を開催することとしています。

#### 2. 防災上の留意事項

防災上、特段の対応はありませんが、テレビ・ラジオ等の情報に注意して下さい。

次の情報は、明日（9日）01時頃に発表予定です。

なお、新たな変化を観測した場合には随時発表します。

（補足：平成23年3月24日から従来の東海地震観測情報を東海地震に関連する調査情報に変更しています。東海地域の観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を、東海地震に関連する調査情報（臨時）で発表します。また、毎月開催する定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を、東海地震に関連する調査情報（定例）で発表します）

（東海地震に関連する調査情報 第1号）

\*\* （参考） 東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等 \*\*

#### 【東海地震予知情報】

東海地震が発生するおそれがあると判断した場合に、「警戒宣言」に伴って発表。



(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」及び自治体等の防災計画に従って行動。

【東海地震注意情報】

東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表。

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動。

【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

東海地域の観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表。

(防災対応)

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を発表。

(防災対応)

特になし。

(東海地震に関連する情報 第1号)

=

(ETX) ← 制御コード(03)H

## ②東海地震注意情報（1回目の注意情報）

トカ仔1キヨ

(STX) ← 制御コード(02)H

18 03 00 110331120000 C11 1103311200 003 001 9999

平成23年03月31日

12時00分

気象庁地震火山部

### 東海地震注意情報

\*\* 見出し \*\*

東海地震に関連する調査情報（臨時）から東海地震注意情報に切り替えました。

東海地域のひずみ観測点のうち、浜松市の宮口（みやぐち）および蒲郡市の清田（せいだ）観測点で有意な変化を観測しています。想定される東海地震の前兆である可能性が高まっています。

地元の防災機関の呼びかけに従い、適切に行動して下さい。

カラーレベルは黄です。

\*\* 本文 \*\*

#### 1. 観測データの状況等

東海地域のひずみ観測点のうち、浜松市の宮口（みやぐち）観測点で本日（31日）09時00分頃から、蒲郡市の清田（せいだ）観測点で10時00分頃から、それぞれ有意な変化を観測しています。また、田原市の福江（ふくえ）、川根本町の東藤川（ひがしふじかわ）、島田市の川根（かわね）観測点でも若干の変化を観測しています。これらの変化は次第に大きくなる傾向にあります。

東海地域のひずみ観測点で有意な変化を観測している地点は、1カ所から2カ所となりました。

気象庁では、10時40分に臨時の地震防災対策強化地域判定会を開催し、想定される東海地震のおそれについて詳細な検討を開始しました。

東海地域のひずみ観測点で観測している有意な変化は、想定される東海地震の前兆である可能性が高まりました。

この情報は東海地震注意情報です。東海地震予知情報ではありません。

## 2. 防災上の留意事項

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動して下さい。

次の情報は、本日（31日）14時頃に発表予定です。

なお、新たな変化を観測した場合には随時発表します。

（東海地震注意情報 第1号）

＊ ＊ （参考） 東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等 ＊ ＊

### 【東海地震予知情報】

東海地震が発生するおそれがあると判断した場合に、「警戒宣言」に伴って発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」及び自治体等の防災計画に従って行動。

### 【東海地震注意情報】

東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動。

### 【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

東海地震に通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

### 【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を発表。

（防災対応）

特になし。

（東海地震に関連する情報 第3号）

=

(ETX) ← 制御コード(03)H

## ③東海地震予知情報

（1回目の予知情報：東海地震のおそれありの内閣総理大臣報告）

トカイ予1キヨ

(STX) ← 制御コード(02)H

17 03 00 110331130000 C11 1103311300 004 001 9999

平成23年03月31日

13時00分

気象庁地震火山部

## 東海地震予知情報

### \*\* 見出し \*\*

今から2、3日間の内に、駿河湾周辺から静岡県内陸域を震源域とするマグニチュード8前後の大規模な地震、想定される東海地震が発生するおそれがあります。

内閣総理大臣から警戒宣言が発せられています。東海地域及びその周辺地域では、激しい揺れと津波に厳重な警戒が必要です。

カラーレベルは赤です。

### \*\* 本文 \*\*

気象庁では、本日（31日）10時40分から臨時の地震防災対策強化地域判定会において、想定される東海地震発生のおそれについて検討しました。

その結果を踏まえ、次の内容を内閣総理大臣に報告しました。

#### 1. 報告内容

今から2、3日間の内に、駿河湾周辺から静岡県内陸域を震源域とする、マグニチュード8前後の大規模な地震、想定される東海地震が発生するおそれがあります。

震度は、静岡県、山梨県の一部で震度7、静岡県のほぼ全域、山梨県、愛知県、神奈川県、長野県、岐阜県の一部を含む広い地域で震度6強または6弱になると予想されます。

また、太平洋沿岸の広い地域に津波が予想され、特に、伊豆半島南部から渥美半島の太平洋沿岸及び伊豆諸島の一部では、5～10m、ところによってはそれ以上の大津波となるおそれがあります。

#### 2. 理由

東海地域のひずみ観測点のうち、浜松市の宮口（みやぐち）、蒲郡市の清田（せいだ）、田原市の福江（ふくえ）および島田市の川根（かわね）観測点の4カ所の地殻変動データが大きく変化しています。その他、川根本町の東藤川（ひがしふじかわ）、浜松市の佐久間（さくま）、掛川市の富部（とんべ）、藤枝市の花倉（はなぐら）観測点でも若干の変化を観測しています。

気象庁では、臨時の地震防災対策強化地域判定会において、想定される東海地震発生のおそれについて検討しました。その結果、これらの現象は、想定震源域内の静岡県内陸側のプレート境界面での前兆すべり（想定震源域の断層の一部が徐々にゆっくりとすべり始める現象）によるものと判断しました。

今後、この前兆すべりが拡大し、今から2、3日間の内に、駿河湾周辺から静岡県内陸域を震源とする大規模な地震、想定される東海地震が発生するおそれがあります。

#### 3. 予想される地震の震源、規模、震度および津波の高さ

震源：駿河湾周辺から静岡県内陸域

規模：マグニチュード8前後

震度：震度7 静岡県および山梨県の一部  
震度6強6弱 静岡県のほぼ全域、山梨県・愛知県・  
神奈川県・長野県・岐阜県の一部  
震度5強 上記に隣接する周辺の地域

津波の高さ：

5～10m 伊豆半島南部から渥美半島の太平洋沿岸  
及び伊豆諸島の一部（ところによっては10m以上）  
3m以上 相模湾と房総半島の一部  
1m以上 その他、太平洋沿岸の広い地域

#### 4. 警戒事項

内閣総理大臣から警戒宣言が発せられています。東海地域及びその周辺地域では、激しい揺れと津波に嚴重な警戒が必要です。

次の情報は、本日（31日）15時頃に発表予定です。

なお、新たな変化を観測した場合には随時発表します。

（東海地震予知情報 第1号）

**\*\* （参考） 東海地震に関連する情報の種類とその防災対応等 \*\***

##### 【東海地震予知情報】

東海地震が発生するおそれがあると判断した場合に、「警戒宣言」に伴って発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」及び自治体等の防災計画に従って行動。

##### 【東海地震注意情報】

東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼び掛けや、自治体等の防災計画に従って行動。

##### 【東海地震に関連する調査情報（臨時）】

東海地震に通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表。

（防災対応）

テレビ・ラジオ等の情報に注意し、平常どおりの生活。

##### 【東海地震に関連する調査情報（定例）】

毎月の定例の地震防災対策強化地域判定会で評価した調査結果を発表。

（防災対応）

特になし。

（東海地震に関連する情報 第4号）

= (ETX) ← 制御コード(03)H

## 2-4 火山関連電文

### ■ 目次

1. 噴火警報・噴火予報 及び 火山の状況に関する解説情報	・・・火山-1
2. 噴火に関する火山観測報	・・・火山-10
3. 降灰予報	・・・火山-13
4. 火山ガス予報	・・・火山-15
別表1 火山名コード	・・・火山-17

### ■ 変更履歴

平成17年11月22日	全面改訂
平成19年4月2日	一部改訂
平成19年12月1日	全面改訂
	噴火警報・噴火予報、火山の状況に関する解説情報導入
平成20年3月31日	噴火に関する火山観測報、降灰予報、火山ガス予報を追加
平成20年5月15日	噴火警戒レベル未導入火山の噴火警報・噴火予報を識別するためのコードを追加
平成20年9月19日	一部改訂
平成20年10月1日	一部改訂
平成22年8月1日	一部改訂
平成23年5月12日	別表1の更新
平成24年3月31日	別表1の更新

# 1. 噴火警報・噴火予報 (aa : 40) 及び 火山の状況に関する解説情報 (aa:43)

## ■ コードの構成

aa bb nn y <sub>i</sub> y <sub>i</sub> m <sub>i</sub> m <sub>i</sub> d <sub>i</sub> d <sub>i</sub> h <sub>i</sub> h <sub>i</sub> m <sub>i</sub> s <sub>i</sub> s <sub>i</sub> Cnf y <sub>2</sub> y <sub>2</sub> m <sub>2</sub> m <sub>2</sub> d <sub>2</sub> d <sub>2</sub> h <sub>2</sub> h <sub>2</sub> m <sub>2</sub> m <sub>2</sub> Nnnnn Fx Sd <sub>1</sub> d <sub>1</sub> d <sub>1</sub> d <sub>1</sub> Meee Lp <sub>1</sub> p <sub>2</sub> p <sub>3</sub> p <sub>4</sub> 9999
--

## ■ 各コードの説明

① aa bb nn y<sub>i</sub>y<sub>i</sub>m<sub>i</sub>m<sub>i</sub>d<sub>i</sub>d<sub>i</sub>h<sub>i</sub>h<sub>i</sub>m<sub>i</sub>s<sub>i</sub>s<sub>i</sub> Cnf                      基本コード部

基本コード部。共通事項を参照のこと。

② y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>                                      発表時刻

y<sub>2</sub>y<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub>d<sub>2</sub>d<sub>2</sub>h<sub>2</sub>h<sub>2</sub>m<sub>2</sub>m<sub>2</sub> : 噴火警報等の発表時刻。  
発信のタイミングによっては、発信時刻と分の値が異なることもあり得る。

③ Nnnnn    番号

N : 火山電文の番号を示す部分の識別子。  
nnnn : 番号 (通番 : nnnn=0001~9999;/////=省略)  
右詰4桁で示す。空いている桁は0 (零) で示す。  
(ア) 噴火警報及び噴火予報  
番号は、噴火警報及び噴火予報の発表回数を山毎に年単位の通し番号で示したものである。ただし、訓練電文等の場合は、発表回数から除外する。  
(イ) 火山の状況に関する解説情報  
番号は情報番号で山毎に年単位の通し番号である。ただし、訓練電文等の場合は通し番号から除外する。

(凡例) 第45号 : N0045

④ Fx    噴火の発生と噴火警報・噴火予報及び火山情報発表のタイミング等

F : 噴火の発生と噴火警報、噴火予報及び火山情報発表のタイミング等を示す部分の識別子。

x : 現在は未使用のため/で示す。

/=設定無し

- 1=噴火前
- 2=噴火後
- 3=現地確認・現地報告を受けて
- 9=不明

⑤ Sd<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>2</sub>

発表官署

S : 情報発表官署を示す部分の識別子。

d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub> : 情報発表官署コードを示す。

- 412 : 札幌管区气象台
- 590 : 仙台管区气象台
- 662 : 気象庁地震火山部
- 807 : 福岡管区气象台

気象庁地震火山部は東京管区气象台 (662) を使用。

d<sub>2</sub> : 連名による情報発表の有無を示す。

- 0: 連名なし
- 1: 連名発表 (主たる発表官署は d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>d<sub>1</sub>)

大阪管区气象台、鹿児島地方气象台及び沖縄气象台は連名発表を行う場合がある。大阪及び沖縄は気象庁地震火山部が、鹿児島は福岡管区气象台が主たる発表官署である。(別表1)

⑥ Meee

火山名

M : 火山名を示す部分の識別子。

eee : 火山名コード (別表1) を示す。

コード=900 は以下の場合に使用するものとし、冒頭の火山名に記述する名称との対応は以下のとおりとする。

- (ア) 複数の火山について噴火予報を行う場合及び火山情報を発表する場合
  - ・全国の活火山 : 全国の活火山を対象とする。
  - ・その他の活火山 : 全ての活火山について噴火警報及び噴火予報を発表する際に個別に噴火警報及び噴火予報を発表した活火山以外の活火山を対象とする。
- (イ) 現在認定されている活火山以外の新たな火山等について噴火警報及び噴火予報を行う場合及び火山情報を発表する場合
  - ・新たな活火山<sup>(注)</sup> : コード番号の設定がない火山等を対象とする。なお、続けて場所等を括弧書きで記述することができる。

(注) コード番号を設定、周知するまでの間、暫定的に利用する。火山名は本文から参照する。

⑦ Lp<sub>1</sub>p<sub>2</sub>p<sub>3</sub>p<sub>4</sub>

噴火警戒レベル

- L：噴火警戒レベルを示す部分の識別子。  
 p<sub>1</sub>：現在の噴火警戒レベル（1～5）を示す。  
     レベル導入火山以外の火山においては/とする。  
 p<sub>2</sub>：前回の発表時の噴火警戒レベル（1～5）を示す。  
     レベル導入火山以外の火山においては/とする。  
 p<sub>3</sub>：噴火警戒レベルを導入していない火山、または海域を対象とする噴火警報等の  
     「現在」の状態を示す。  
     レベル導入火山においては/とする。  
 p<sub>4</sub>：噴火警戒レベルを導入していない火山、または海域を対象とする噴火警報等の  
     「前回」の状態を示す。  
     レベル導入火山においては/とする。

- 例)      レベル導入火山                                      L32//  
             (噴火警戒レベルをレベル2からレベル3に引上げ)  
             レベル未導入火山                                    L//61  
             (噴火予報(平常)から火口周辺警報(火口周辺危険)に引上げ)

噴火警戒レベル導入火山			
噴火警報・噴火予報の種別	噴火警戒レベル	キーワード	数値
噴火警報	レベル5	避難	<b>5</b>
	レベル4	避難準備	<b>4</b>
火口周辺警報	レベル3	入山規制	<b>3</b>
	レベル2	火口周辺規制	<b>2</b>
噴火予報	レベル1	平常	<b>1</b>

噴火警戒レベル未導入火山			海底火山		
噴火警報 噴火予報の種別	警戒事項(キーワード)	数値	噴火警報・噴火予報の種別	警戒事項 キーワード)	数値
噴火警報	居住地域嚴重警戒	<b>8</b>	噴火警報	周辺海域警戒	<b>9</b>
火口周辺警報	入山危険	<b>7</b>			
	火口周辺危険	<b>6</b>			
噴火予報	平常	<b>1</b>	噴火予報	平常	<b>1</b>

⑧ 9999

コード部の終了

9999：コード部の終了を示す。



例1 噴火警報の例（レベル導入火山の場合）

ガジヨウホウ1 フカ  
(STX)  
40 05 00 080203161007 C11 0802031610 N0001 F/ S8071 M506 L32// 9999

火山名 桜島 噴火警報(火口周辺)  
平成20年2月3日16時10分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

\*(見出し)\*

<桜島に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を公表>  
火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺で警戒が必要。  
<噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引上げ>

\*(本文)\*

1. 火山活動の状況及び予報警報事項  
桜島の昭和火口で、本日(3日)10時18分と15時54分に爆発的噴火が発生しました。  
桜島昭和火口の噴火は昨年6月21日以来であり、今後も噴石や火砕流を伴う噴火を繰り返すことが予想されます。噴石等の影響する領域は現在よりさらに拡大することが予想されるため、火口から居住地域近くまでの広い範囲で噴石や火砕流に対する警戒が必要です。

2. 対象市町村等  
〇〇県: △△市

3. 防災上の警戒事項等  
噴火に伴う噴石、火砕流に警戒が必要  
風下側では降灰等に注意が必要

<噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引上げ>

\*(参考: 噴火警戒レベルの説明)\*

【レベル5(避難)】: 危険な居住地域からの避難等が必要。  
【レベル4(避難準備)】: 警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。  
【レベル3(入山規制)】: 登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。  
【レベル2(火口周辺規制)】: 火口周辺への立入規制等。  
【レベル1(平常)】: 特になし(状況に応じて火口内への立入規制等)。  
(注: 避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる)

=  
(ETX)

例2 噴火警報の例（レベル未導入の火山（海底火山を除く。）の場合）

ガジヨウホウ1 キョウ  
(STX)  
40 03 00 080401101000 C11 0804011010 N0001 F/ S6620 M311 L//61 9999

火山名 乗鞍岳 噴火警報(火口周辺)  
平成20年4月1日10時10分 気象庁地震火山部

\*\* (見出し) \*\*

<乗鞍岳に火口周辺警報(火口周辺危険)を発表>

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想。

<噴火予報(平常)から火口周辺警報(火口周辺危険)に引上げ>

\*\* (本文) \*\*

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

本日10時00分頃、乗鞍岳××斜面で小規模な噴火が発生しました。

この噴火に伴う噴煙が火口縁上800メートルまで上がり、大きな噴石(風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きさのもの)が火口から1キロメートル程度の範囲で飛散した可能性があります。

今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口周辺では大きな噴石の飛散等に警戒が必要です。

2. 対象市町村等

〇〇県: △△町

3. 防災上の警戒事項等

火口周辺では大きな噴石の飛散等に警戒

風下側で降灰及び小さな噴石(風に影響を受けない大きさのもの)に注意

<噴火予報(平常)から火口周辺警報(火口周辺危険)に引上げ>

=

(ETX)

例3 噴火予報の例(複数の火山について噴火予報を行う場合)

ガザンヨウウ1 キヨウ

(STX)

40 03 00 071201102000 C11 0712011020 N0001 F/ S6620 M900 L//// 9999

火山名 その他の活火山 噴火予報

平成19年12月1日10時20分

気象庁地震火山部

気象庁では、本日から、噴火予報及び警報の発表を開始しました。

全活火山(108火山)のうち、噴火警戒レベル導入火山については、4火山に火口周辺警報を、12火山に噴火予報を発表しました。また、噴火警戒レベル未導入火山については、2火山に火口周辺警報を、1火山に噴火警報(周辺海域)を発表しました。

噴火警戒レベル未導入火山のその他の89火山については、火山活動はこれまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られず、噴火予報・警報は、噴火予報(平常)となります。

これらの89火山について、札幌管区气象台、仙台管区气象台、気象庁地震火山部、大阪管区气象台、福岡管区气象台、沖縄气象台発表の噴火予報をとりまとめて発表します。

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

いずれの火山も、火山活動はこれまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺

に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

噴火予報の発表官署、発表時刻及び対象火山は以下のとおり。

札幌管区气象台(10時20分発表): 27火山

知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、雌阿寒岳、丸山、大雪山、十勝岳、利尻山、恵庭岳、倶多楽、有珠山、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

仙台管区气象台(10時20分発表): 16火山

恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、烏海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、安達太良山、磐梯山、沼沢、燧ヶ岳

気象庁地震火山部(10時20分発表): 33火山

那須岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、御嶽山、白山、箱根山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

気象庁地震火山部・大阪管区气象台発表(10時20分発表): 1火山  
三瓶山

気象庁地震火山部・沖縄气象台発表(10時20分発表): 2火山  
硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

福岡管区气象台発表(10時20分発表): 10火山

阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島

## 2. 防災上の警戒事項等

火山によっては、火口内等で噴気、火山ガスの噴出等(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)が見られることがあります。このような火山では、火口内等での警戒が必要です。

火山ガスの噴出が見られる火山では、周辺の窪地や谷地形などの低い場所で高濃度の有毒な火山ガスが滞留することがありますので注意が必要です。

=

(ETX)

## 例4 火山の状況に関する解説情報の例(レベル導入火山の場合)

ガザンカイセツ1フカ

(STX)

43 05 00 080410160013 C11 0804101600 N0017 F/ S8071 M506 L33// 9999

火山名 桜島 火山の状況に関する解説情報 第17号

平成20年4月10日16時00分 福岡管区气象台・鹿児島地方气象台

\*(本文)\*

<火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)が継続>

1. 火山活動の状況(9日15時~10日15時)

昭和火口では、8日00時29分の爆発的噴火以降、噴火の発生はありません。

昭和火口及び南岳山頂火口の噴煙の状況は、山頂付近が雲に覆われ不明です。

火山性地震及び火山性微動は発生していません。また、山体の膨張を示すような地殻変動は観測されていません。

2. 防災上の警戒事項等

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意して下さい。

降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

3. 桜島上空(高度約1500m)の風の予想

今夜	21時	北西の風	17メートル
明日	09時	北の風	8メートル

次の火山の状況に関する解説情報は、11日(金)16時頃に発表の予定です。

なお、火山活動の状況に変化があった場合には、随時お知らせします。

<火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)が継続>

=

(ETX)

例5 火山の状況に関する解説情報の例(レベル未導入の火山(海底火山を除く。)の場合)

ガザンイセツ1キヨウ

(STX)

43 03 01 080402160000 C11 0804021600 N0001 F/ S6620 M311 L//66 9999

火山名 乗鞍岳 火山の状況に関する解説情報 第1号

平成20年4月2日16時00分 気象庁地震火山部

\*(本文)\*

<火口周辺警報(火口周辺危険)が継続>

乗鞍岳の1日15時から本日15時までの火山活動は次のとおりです。

この期間、噴火は観測されませんでした。

15時現在、噴煙の状況は雲のため不明です。

火山性地震の回数は次のとおりで、地震の規模はいずれも小さく、体に感じる地震は発生していません。

1日 ××回

2日 ○○回(15時まで)

火山性微動は1日12時55分頃に発生して以降、観測されていません。

GPSによる観測では地殻変動に特段の変化は認められません。

次の火山の状況に関する解説情報は3日16時発表の予定です。

<火口周辺警報(火口周辺危険)が継続>

=

(ETX)

例6 火山の状況に関する解説情報の例(全国月間火山概況発表時に、全国の活火山について発表する場合)

ガザンカイセツ1 キヨウ

(STX)

43 03 00 090511160000 C11 0905111600 N0006 F/ S6620 M900 L//// 9999

火山名 全国の活火山 火山の状況に関する解説情報 第6号

平成21年5月11日16時00分 気象庁地震火山部

\*\* (本文) \*\*

本日、全国の活火山の活動状況や警戒事項を取りまとめた月間火山概況を発表しました。その概要は以下のとおりです。詳しくは月間火山概況及び火山活動解説資料を参照ください。

#### 1. 火山活動の状況及び予報警報事項

浅間山では、4月7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引き下げました。

桜島では、4月24日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引き下げました。

雌阿寒岳では、4月10日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引き下げました。

草津白根山では、4月10日に噴火予報を切り替えました(噴火警戒レベル1(平常)継続)。

その他の火山では、火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。現在の噴火警報、噴火予報の発表状況は以下のとおりです。

## 噴火警報発表火山

浅間山 : 火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)  
桜島 : 火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)  
三宅島 : 火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)  
硫黄島 : 火口周辺警報(火口周辺危険)  
福徳岡ノ場 : 噴火警報(周辺海域) (周辺海域警戒)  
薩摩硫黄島 : 火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)  
口永良部島 : 火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)  
諏訪之瀬島 : 火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)

## 噴火予報発表火山(噴火警戒レベル導入火山)

以下の活火山 [ 噴火予報(噴火警戒レベル1、平常) ]

雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(新燃岳)、霧島山(御鉢)

## 噴火予報発表火山(噴火警戒レベル未導入火山)

以下の活火山[ 噴火予報(平常) ]

知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

## 2. 防災上の警戒事項等

浅間山の火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

桜島の昭和火口及び南岳山頂火口から1 km程度の範囲では、噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

口永良部島の火口から1 km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

その他の火山では警戒事項等に変更はありません。

=

(ETX)

## 2. 噴火に関する火山観測報

噴火に関する火山観測報の通報形式及び電文形式

カヅンゲンシヨウ 1 発信官署名 (サツホロ/センダイ/キシヨウ/フクカ/カゴシマ)

火 山：火山名

日 時：発現年月日時分 (発現日時分 UTC) [頃] [付加文]

現 象：噴火、爆発、噴火開始、噴火継続、噴火終了 [したもよう]  
(その他、地震多発、異常な地殻変動等)

有色噴煙：火口上 有色噴煙高度 m (海拔 海拔有色噴煙高度 FT) [付加文]

白色噴煙：火口上 白色噴煙高度 m (海拔 海拔白色噴煙高度 FT) [付加文]

流 向：流向

〔以下、付加文〕

- ・噴出物の状況 (噴石・火山灰・溶岩・火砕流・泥流など)
- ・音響・発光現象等その他の異常現象
- ・火山性地震および火山性微動の状況 (時刻・回数・最大振幅・P～S時間など)
- ・著しい山体の変動等
- ・高層風

例1 三宅島で遠望カメラにより噴火を確認した場合（1000m より上は雲で見えないと想定）

カザンゲンヨウ1 キヨウ  
(STX)  
火 山: 三宅島  
日 時: 2007年01月09日12時00分( 090300UTC)  
現 象: 噴火  
有色噴煙: 火口上1000m( 海拔5800FT) で雲に入る  
白色噴煙: 火口上1000m( 海拔5800FT) で雲に入る  
流 向: 南東  
---  
神着、坪田で震度1  
微動振幅 A点、レスタハウス、阿古中: 振り切れ  
坪田: 400  $\mu$  m/s  
空振 神着: 5Pa  
=  
(ETX)

例2 北海道駒ヶ岳で降灰確認の発見者通報があった場合（噴煙は天候不良で不明）

カザンゲンヨウ1 サホロ  
(STX)  
火 山: 北海道駒ヶ岳  
日 時: 2007年01月09日12時00分( 090300UTC) 頃  
現 象: 噴火したもよう  
有色噴煙: 不明  
白色噴煙: 不明  
流 向:  
---  
鹿部警察署からの連絡によると、鹿部駅( 東5km) で少量の降灰を確認  
=  
(ETX)

例3 桜島で爆発が発生した場合

カザンゲンヨウ1 カシマ  
(STX)  
火 山: 桜島  
日 時: 2007年01月09日12時30分( 090330UTC)  
現 象: 爆発  
有色噴煙: 火口上2400m( 海拔11400FT)  
白色噴煙:  
流 向: 南東  
---  
A点最大振幅: 4.2  $\mu$  m



爆発音：小

体感空振：小

O点空振計：19.0Pa

A点空振計：50.7Pa

噴石：少量 9合目

噴煙：やや多量

火口：南岳山頂火口

=

(ETX)

### 3. 降灰予報

#### ■ 提供形式

pdf 形式

#### ■ 提供ファイル名

Z\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_EQV\_CHT\_JCIashfallf\_JRvvvv\_Nn\_image.pdf

#### ■ ファイル名の説明

冒頭の Z の次は、2つの \_ (アンダースコア) が続く。

yyyy : 西暦年、MM : 月、dd : 日、hh : 時、mm : 分、ss : 秒 (時刻は UTC)

JRvvvv : vvvv は 4 文字英数字で 1 文字目から 3 文字目は火山名コード (別表 1)。

4 文字目は予備 (当面は X で埋める)。例 : 506X 桜島。

Nn : n は通番で枚数を示す。

#### ■ 内容の説明

降灰予報は、以下に示す図情報により頒布される。

(表題) 火山名 ○○ 降灰予報

発表日時  
発表官署

(本文)

火山および噴火時刻、噴煙高度

降灰が予想される都道府県 (発表官署別)

予報有効期間

《図》

左上～右上、左下～右下の順に、噴火発生時刻後の毎正時における、降灰が予想される地域を地図上に網掛けで示す。噴火発生時刻より概ね 6 時間後までの予想図が表示される。

# 降灰予報の例

## 火山名 桜島 降灰予報

平成20年7月28日 07時30分


福岡管区気象台・鹿児島地方気象台・気象庁地震火山部

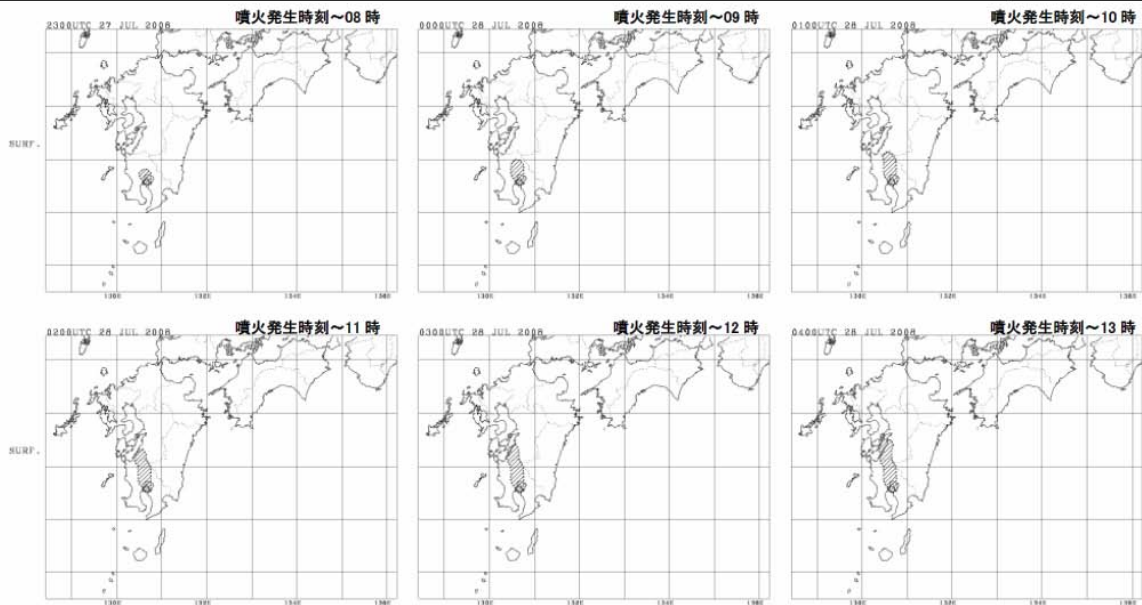
28日07時05分に桜島で噴火が発生し、噴煙は火口縁上3300mまで上がりました。  
以下の地域では、降灰が予想されます。

鹿児島県 熊本県 [福岡管区気象台・鹿児島地方気象台 発表]

この予報は、28日13時までを対象としています。

### ■図の見方

各図には、噴火発生時刻から各図に示す当該時刻までに降灰が予想される領域を  で示しています。



## 4. 火山ガス予報

### ■ 提供形式

pdf 形式

### ■ 提供ファイル名

Z\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_EQV\_INF\_JC1volgasf\_JRvvvv\_Nn\_image.pdf

### ■ ファイル名の説明

冒頭の Z の次は、2つの \_ (アンダースコア) が続く。

yyyy : 西暦年、MM : 月、dd : 日、hh : 時、mm : 分、ss : 秒 (時刻は UTC)

JRvvvv : vvvv は 4 文字英数字で 1 文字目から 3 文字目は火山名コード (別表 1)。

4 文字目は予備 (当面は X で埋める)。例 : 506X 桜島。

Nn : n は通番で枚数を示す。

### ■ 内容の説明

火山ガス予報は、以下に示す表情報により頒布される。

表題 : 火山名 ○○○ 火山ガス予報

発表日時 発表官署

(見出し)

火山ガスの濃度が高くなる可能性のある地域等の情報

(本文)

#### 1. 予報事項

ガスの放出の状況、火山ガスの濃度が高くなる可能性のある地域等の情報

《表》

各日時 (3 時間毎) における、火山ガスの濃度の高くなる可能性のある地域

必要に応じ火山上空及び地上における風向風速、予想される雨量等の気象情報を参考情報として掲載

#### 2. 対象市町村等

#### 3. 防災上の留意事項等

## 火山ガス予報の例

火山名 三宅島 火山ガス予報		平成23年X月X日 17時00分		気象庁地震火山部			
** (見出し) **							
今夜から明日の朝までに、三宅島島内で火山ガスの濃度が高くなる可能性のある地域は、御子敷、坪田高濃度の見込みです。							
** (本文) **							
1. 予報事項							
三宅島では、一日あたり500～1500トンの多量の火山ガス（二酸化硫黄SO <sub>2</sub> ）の放出が継続しています。							
今夜から明日の朝までに、三宅島島内で火山ガスの濃度が高くなる可能性のある地域は、御子敷、坪田高濃度の見込みです。							
雄山上空1000mの風の時系列予報に基づく24時間先までの三宅島島内（9地区）の火山ガス分布は以下のとおりと予想されます。							
		火山ガスの濃度が高くなる可能性のある地域 <sup>*1</sup>	(参考)				
			雄山上空 (高度約1000m)		地上 <sup>*2</sup>		
			風向 (8方位)	風速 (m/秒)	風向 (8方位)	風速 (m/秒)	最大1時間 雨量(ミリ)
7日	18時	坪田高濃度、坪田、御子敷	北西	5	西	10	0
	21時	坪田高濃度、坪田、御子敷	北西	0	南西	10	0
	24時	坪田高濃度、坪田、御子敷	南東	2	北東	9	0
8日	3時	坪田高濃度、坪田、御子敷	南東	3	北東	8	0
	6時	坪田高濃度、坪田、御子敷	南東	3	北東	8	0
	9時	坪田高濃度、坪田、御子敷	南	3	北東	8	0
	12時	坪田高濃度、坪田、御子敷	西	5	北東	8	0
	15時	坪田高濃度、坪田、御子敷	西	8	北東	7	0
	18時	薄木・栗辺、立根、坪田	南西	8	西	6	0
<p>*1 三宅村は、平成22年8月1日に坪田高濃度の一部の規制を解除し、当該地区名を「御子敷」に変更</p> <p>*2 地上の風向・風速及び最大1時間雨量は当該時刻の前3時間で最大の値</p> <p>注) 火山ガス分布の予想は、雄山上空の風速が3m/秒以上のときに行います。 風速が3m/秒より弱くても、場所によっては火山ガスの濃度が高くなる場合があります。</p>							
2. 対象市町村等							
東京都 : 三宅村							
3. 防災上の留意事項等							
風下側の地域では火山ガスの濃度が高くなる可能性があります。 風速が弱くても、場所によっては火山ガス濃度が高くなる場合があります。 窪地や谷地形などでは火山ガスが滞留することがあります。							

別表1 火山名コード

札幌管区気象台管内

- 101：知床硫黄山
- 102：羅臼岳
- 103：摩周
- 104：アトサヌプリ
- 105：雌阿寒岳
- 106：丸山
- 107：大雪山
- 108：十勝岳
- 109：樽前山
- 110：恵庭岳
- 111：倶多楽
- 112：有珠山
- 113：北海道駒ヶ岳
- 114：恵山
- 115：渡島大島
- 116：利尻山
- 117：羊蹄山
- 118：ニセコ
- 119：天頂山
- 120：雄阿寒岳
- 151：茂世路岳
- 152：散布山
- 153：指臼岳
- 154：小田萌山
- 155：択捉焼山
- 156：択捉阿登佐岳
- 157：ベルタルベ山
- 158：爺爺岳
- 159：羅臼山
- 160：泊山
- 161：ルルイ岳

仙台管区気象台管内

- 201：恐山
- 202：岩木山
- 203：八甲田山
- 204：十和田
- 205：秋田焼山
- 206：八幡平
- 207：岩手山

- 208：秋田駒ヶ岳
- 209：鳥海山
- 210：栗駒山
- 211：鳴子
- 212：蔵王山
- 213：吾妻山
- 214：安達太良山
- 215：磐梯山
- 216：燧ヶ岳
- 217：肘折
- 218：沼沢

東京管区気象台管内\*\*

- 301：那須岳
- 302：日光白根山
- 303：赤城山
- 304：榛名山
- 305：草津白根山
- 306：浅間山
- 307：新瀧焼山
- 308：妙高山
- 309：弥陀ヶ原
- 310：焼岳
- 311：乗鞍岳
- 312：御嶽山
- 313：白山
- 314：富士山
- 315：箱根山
- 316：伊豆東部火山群
- 317：伊豆大島
- 318：新島
- 319：神津島
- 320：三宅島
- 321：八丈島
- 322：青ヶ島
- 323：ベヨネース列岩
- 324：須美寿島
- 325：伊豆鳥島
- 326：西之島
- 327：海徳海山
- 328：噴火浅根
- 329：硫黄島
- 330：北福徳堆
- 331：福徳岡ノ場

- 333：高原山
- 334：横岳
- 335：アカンダナ山
- 336：利島
- 337：御蔵島
- 338：孀婦岩
- 339：海形海山
- 340：南日吉海山
- 341：日光海山

大阪管区気象台管内\*

- 401：三瓶山

福岡管区気象台管内

- 502：九重山
- 503：阿蘇山
- 504：雲仙岳
- 506：桜島\*\*\*
- 507：開聞岳\*\*\*
- 508：薩摩硫黄島\*\*\*
- 509：口永良部島\*\*\*
- 510：中之島\*\*\*
- 511：諏訪之瀬島\*\*\*
- 512：阿武火山群
- 513：鶴見岳・伽藍岳
- 514：由布岳
- 515：福江火山群
- 516：米丸・住吉池\*\*\*
- 517：若尊\*\*\*
- 518：池田・山川\*\*\*
- 519：口之島\*\*\*
- 550：霧島山（御鉢）\*\*\*
- 551：霧島山（新燃岳）\*\*\*

沖縄気象台管内\*

- 601：硫黄島
- 602：西表島北北東海底火山

その他\*\*\*\*

- 900：全国の活火山、その他の活火山あるいは新たな活火山

（補足）噴火予報、噴火警報及び火山情報の発表官署

- \* : 大阪管区気象台管内及び沖縄気象台管内の火山については、気象庁地震火山部と大阪管区気象台もしくは沖縄気象台が連名で発表（気象庁地震火山部が発信官署）。
- \*\* : 東京管区気象台管内の火山については気象庁地震火山部が発表。
- \*\*\* : 鹿児島県内の火山については、福岡管区気象台及び鹿児島地方気象台が連名で発表（福岡管区気象台が発信官署）。
- \*\*\*\* : 本コードを使用するのは、全国の活火山、その他の活火山あるいは新たな活火山について発表する場合とし、火山名及び発表官署は本文参照。